

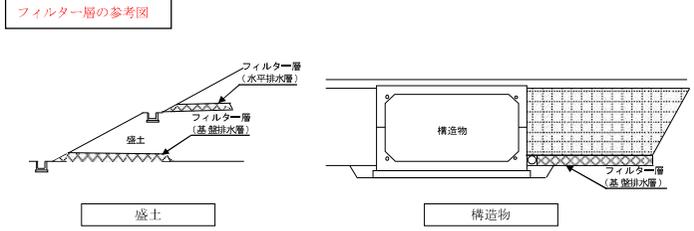
改正理由	一部改正	改正	
		現行	

現 行	改 正	備 考																																																																																							
	<p>4. 単 価 表</p> <p>(1) 排水材設置 (水平排水材) 10m当り単価表</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">施工歩掛コード</td> <td colspan="2">WB228610</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>排水材</td> <td></td> <td>m</td> <td></td> <td>〃 10× (1+ロス率)</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) フィルター層敷設 10m3 当り単価表</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">施工歩掛コード</td> <td colspan="2">WB228710</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型) 運転</td> <td>後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (2014年規制)・山積0.5m³ (半積0.4m³)・吊能力2.9t</td> <td>h</td> <td></td> <td>〃 機械損料</td> </tr> <tr> <td>フィルター材</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>表3.2 10× (1+ロス率)</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(3) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (2014年規制)・山積0.5m³ (半積0.4m³)・吊能力2.9t</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> </table> <p>5. 参考図</p> <table border="1"> <tr> <td>水平排水材の参考図</td> </tr> </table>	施工歩掛コード		WB228610		名 称	規 格	単位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表3.1	普通作業員		人		〃	排水材		m		〃 10× (1+ロス率)	諸雑費		式	1	〃	計					施工歩掛コード		WB228710		名 称	規 格	単位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表3.2	特殊作業員		人		〃	普通作業員		人		〃	バックホウ (クローラ型) 運転	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (2014年規制)・山積0.5m ³ (半積0.4m ³)・吊能力2.9t	h		〃 機械損料	フィルター材		m ³		表3.2 10× (1+ロス率)	諸雑費		式	1	〃	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (2014年規制)・山積0.5m ³ (半積0.4m ³)・吊能力2.9t	機-1		水平排水材の参考図	<p>記載の追加 (歩掛改定に伴う)</p>
施工歩掛コード		WB228610																																																																																							
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																					
土木一般世話役		人		表3.1																																																																																					
普通作業員		人		〃																																																																																					
排水材		m		〃 10× (1+ロス率)																																																																																					
諸雑費		式	1	〃																																																																																					
計																																																																																									
施工歩掛コード		WB228710																																																																																							
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																					
土木一般世話役		人		表3.2																																																																																					
特殊作業員		人		〃																																																																																					
普通作業員		人		〃																																																																																					
バックホウ (クローラ型) 運転	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (2014年規制)・山積0.5m ³ (半積0.4m ³)・吊能力2.9t	h		〃 機械損料																																																																																					
フィルター材		m ³		表3.2 10× (1+ロス率)																																																																																					
諸雑費		式	1	〃																																																																																					
計																																																																																									
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																						
バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (2014年規制)・山積0.5m ³ (半積0.4m ³)・吊能力2.9t	機-1																																																																																							
水平排水材の参考図																																																																																									

現行なし →

積算上の注意事項		(控え頁) 5/6
----------	--	--------------

工 種	排水材設置工
-----	--------

改正理由	一部改正	改正 現行								
現 行	改 正	備 考								
	<p>フィルター層の参考図</p>  <p>6. 施工単価入力基準表</p> <p>(1) 排水材設置 (水平排水材)</p> <table border="1" data-bbox="1120 710 1523 742"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB228610</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 本コードは、水平排水材の材料ロスを含んでいるため、施工数量は、ロス率を含まない数量を入力すること。 2. 排水材材料費 (Y=1230000) [円/m] を単価登録すること。</p> <p>(2) フィルター層敷設</p> <table border="1" data-bbox="1120 821 1523 853"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB228710</td> <td>施工単位</td> <td>m³</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 本コードは、フィルター材の材料ロスを含んでいるため、施工数量は、ロス率を含まない数量を入力すること。 2. 碎石単価 (Y=0241000) [円/m³] を単価登録すること。</p> <p>→ 現行なし</p>	施工歩掛コード	WB228610	施工単位	m	施工歩掛コード	WB228710	施工単位	m ³	記載の追加 (歩掛改定に伴う)
施工歩掛コード	WB228610	施工単位	m							
施工歩掛コード	WB228710	施工単位	m ³							
積算上の注意事項		(控え頁) 6/6								

改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考																																																									
	<p>5-2 杭頭処理</p> <p>5-2-1 鋼管杭杭頭処理 鋼管杭と鉄筋及び鋼管杭とずれ止め及びストッパー等の現場溶接工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.5 鋼管杭杭頭処理溶接工歩掛 (溶接長10m当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>鋼管杭板厚 (mm)</th> <th>単位</th> <th>8~10</th> <th>12</th> <th>14・16</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>溶 接 工 人</td> <td></td> <td>0.35</td> <td>0.68</td> <td>1.11</td> </tr> <tr> <td>電 気 溶 接 機</td> <td>日</td> <td>0.39</td> <td>0.65</td> <td>1.12</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td colspan="3">14</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 鉄筋加工・組立費は、「第VI編第2章市場単価①-1鉄筋工(太径鉄筋含む)」により別途計上する。 2. 電気溶接機は、ディーゼルエンジン駆動・直流アーク式・排出ガス対策型(第1次基準値) 最大溶接電流300Aを標準とする。 3. 諸雑費は、溶接棒の材料費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 鋼管杭とずれ止め及びストッパーの溶接長(Ly)は、ずれ止め1箇所当り、$L_y = \pi \times D$ D: 杭径(m)を標準とする。</p> <p>5-2-2 コンクリート杭の杭頭処理 コンクリート杭の杭頭処理(カットオフ工等)が必要な場合には、別途計上する。</p> <p>5-3 中詰コンクリート打設 中詰コンクリート打設は、「第II編第4章①コンクリート工」により別途計上する。</p> <p>6. 諸 雑 費 諸雑費は、労務費、機械損料、機械賃料及び運転経費の合計額に表6.1、表6.2の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>(1) 鋼管杭 鋼管杭打設による諸雑費は、裏当てリング及びストッパー、銅バンド、ずれ止め、ずれ止め用ストッパー、鋼管吊具、吊ワイヤー、先端補強バンド、ヤットコ、溶接機の損料、足場材(敷鉄板)賃料及び設置・撤去・移設、電力に関する経費、溶接ワイヤー等の費用である。なお、ヤットコの有無及びずれ止め、ずれ止め用ストッパーの有無にかかわらず本諸雑費率を使用出来る。</p> <p style="text-align: center;">表6.1 諸雑費率(鋼管杭) (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>継 杭 の 有 無</th> <th>諸 雑 費 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>継 杭 無 し</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>継 杭 有 り</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 既製コンクリート杭 既製コンクリート杭打設による諸雑費は、吊ワイヤー、ヤットコ、溶接機の損料、足場材(敷鉄板)賃料及び設置・撤去・移設、電力に関する経費、溶接ワイヤー等の費用である。なお、ヤットコの有無及び溶接機の有無にかかわらず本諸雑費率を使用出来る。</p> <p style="text-align: center;">表6.2 諸雑費率(既製コンクリート杭) (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>諸 雑 費 率</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">II-3-①-5</p>	鋼管杭板厚 (mm)	単位	8~10	12	14・16	溶 接 工 人		0.35	0.68	1.11	電 気 溶 接 機	日	0.39	0.65	1.12	諸 雑 費 率	%	14			継 杭 の 有 無	諸 雑 費 率	継 杭 無 し	34	継 杭 有 り	15	諸 雑 費 率		諸 雑 費 率	3	<p>現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表5.5 鋼管杭杭頭処理溶接工歩掛 (溶接長10m当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">規格</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">鋼管杭板厚 (mm)</th> </tr> <tr> <th>8~10</th> <th>12</th> <th>14・16</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.35</td> <td>0.68</td> <td>1.11</td> </tr> <tr> <td>電 気 溶 接 機</td> <td>ディーゼルエンジン駆動・直流アーク式・排出ガス対策型(第3次基準値) 最大溶接電流300A</td> <td>日</td> <td>0.39</td> <td>0.65</td> <td>1.12</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="3">14</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 鉄筋加工・組立費は、「第VI編第2章市場単価①-1鉄筋工(太径鉄筋含む)」により別途計上する。 2. 電気溶接機は、ディーゼルエンジン駆動・直流アーク式・排出ガス対策型(第1次基準値) 最大溶接電流300Aを標準とする。 2. 諸雑費は、溶接棒の材料費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 鋼管杭とずれ止め及びストッパーの溶接長(Ly)は、ずれ止め1箇所当り、$L_y = \pi \times D$ D: 杭径(m)を標準とする。</p> <p>現行どおり</p>	名称	規格	単位	鋼管杭板厚 (mm)			8~10	12	14・16	溶 接 工		人	0.35	0.68	1.11	電 気 溶 接 機	ディーゼルエンジン駆動・直流アーク式・排出ガス対策型(第3次基準値) 最大溶接電流300A	日	0.39	0.65	1.12	諸 雑 費 率		%	14			<p>記載の修正</p>
鋼管杭板厚 (mm)	単位	8~10	12	14・16																																																								
溶 接 工 人		0.35	0.68	1.11																																																								
電 気 溶 接 機	日	0.39	0.65	1.12																																																								
諸 雑 費 率	%	14																																																										
継 杭 の 有 無	諸 雑 費 率																																																											
継 杭 無 し	34																																																											
継 杭 有 り	15																																																											
諸 雑 費 率																																																												
諸 雑 費 率	3																																																											
名称	規格	単位	鋼管杭板厚 (mm)																																																									
			8~10	12	14・16																																																							
溶 接 工		人	0.35	0.68	1.11																																																							
電 気 溶 接 機	ディーゼルエンジン駆動・直流アーク式・排出ガス対策型(第3次基準値) 最大溶接電流300A	日	0.39	0.65	1.12																																																							
諸 雑 費 率		%	14																																																									
積算上の注意事項			(控え頁) 1/3																																																									

改 正 理 由	一部改正	改 正	備 考
		現 行	

現		行		
7. 単 価 表				
(1) 鋼管・既製コンクリート杭打工10本当り単価表				
		施工歩掛コード	WB230010	
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
土木一般世話役		人	T _d ×1	表4.1
とび工		"	T _d ×2	"
溶接工		"	T _d ×1(2)	表4.1 ※()内は鋼管杭径800mm以上
杭		本	10	
クローラ式杭打機運	油圧ハンマ・直結三点支持式ラム質量〇〇t	日	T _d	表3.1、図3-1、図3-2 機械損料
バックホウ(クローラ型)運	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	"	T _d	表3.1 アットコ使用時計上 機械損料
クローラクレーン運	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型排出ガス対策型(第2次基準値)50~55t吊	"	T _d	表3.1 必要に応じて計上 機械損料
諸 雑 費		式	1	表6.1、表6.2
計				
(注) T _d : 杭10本当りの施工日数(日/10本)				
(2) 鋼管杭頭処理溶接工10m当り単価表				
		施工歩掛コード	WB230050	
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
溶接工		人		表5.5
電気溶接機運	ディーゼルエンジン駆動・直流アーク式・排出ガス対策型(第1次基準値)最大溶接電流300A	日		表5.5 機械損料
諸 雑 費		式	1	表5.5
計				

改		正		
現行どおり				
(2) 鋼管杭頭処理溶接工10m当り単価表				
		施工歩掛コード	WB230050	
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
溶接工		人		表5.5
電気溶接機運	ディーゼルエンジン駆動・直流アーク式・排出ガス対策型(第3次基準値)最大溶接電流300A	日		表5.5 機械損料
諸 雑 費		式	1	表5.5
計				

備 考
記載の修正

II-3-①-6

積算上の注意事項

(控え頁)
2/3

改正理由	一部改正	改正 現行																																														
現 行		改 正																																														
<p>(3) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">クローラ式杭打機</td> <td rowspan="5">油圧ハンマ 直結三点支持式</td> <td rowspan="5">機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 機械損料数量→1.77 燃料消費量 →下記のとおりとする。</td> </tr> <tr> <td>ラム質量</td> <td>燃料消費量 (ℓ/日)</td> </tr> <tr> <td>2 t</td> <td>87</td> </tr> <tr> <td>4~4.5 t</td> <td>129</td> </tr> <tr> <td>6.5~8 t</td> <td>125</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10~12.5 t</td> <td>177</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.28㎡(平積0.2㎡)</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量 →3.5 機械賃料数量→1.6</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型(第2次基準値) 50~55 t吊</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量 →27 機械損料数量→1.13</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 鋼管杭杭頭処理用機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気溶接機</td> <td>ディーゼルエンジン駆動・ 直流アーク式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 最大溶接電流300A</td> <td>機-12</td> <td>燃料消費量→27</td> </tr> </tbody> </table>		機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	クローラ式杭打機	油圧ハンマ 直結三点支持式	機-18	運転労務数量→1.00 機械損料数量→1.77 燃料消費量 →下記のとおりとする。	ラム質量	燃料消費量 (ℓ/日)	2 t	87	4~4.5 t	129	6.5~8 t	125				10~12.5 t	177	バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.28㎡(平積0.2㎡)	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →3.5 機械賃料数量→1.6	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型(第2次基準値) 50~55 t吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →27 機械損料数量→1.13	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	電気溶接機	ディーゼルエンジン駆動・ 直流アーク式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 最大溶接電流300A	機-12	燃料消費量→27	<p>現行どおり</p> <p>(4) 鋼管杭杭頭処理用機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気溶接機</td> <td>ディーゼルエンジン駆動・ 直流アーク式・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 最大溶接電流300A</td> <td>機-12</td> <td>燃料消費量→24</td> </tr> </tbody> </table>		機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	電気溶接機	ディーゼルエンジン駆動・ 直流アーク式・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 最大溶接電流300A	機-12	燃料消費量→24
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																													
クローラ式杭打機	油圧ハンマ 直結三点支持式	機-18	運転労務数量→1.00 機械損料数量→1.77 燃料消費量 →下記のとおりとする。																																													
			ラム質量	燃料消費量 (ℓ/日)																																												
			2 t	87																																												
			4~4.5 t	129																																												
			6.5~8 t	125																																												
			10~12.5 t	177																																												
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.28㎡(平積0.2㎡)	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →3.5 機械賃料数量→1.6																																													
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型(第2次基準値) 50~55 t吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →27 機械損料数量→1.13																																													
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																													
電気溶接機	ディーゼルエンジン駆動・ 直流アーク式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 最大溶接電流300A	機-12	燃料消費量→27																																													
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																													
電気溶接機	ディーゼルエンジン駆動・ 直流アーク式・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 最大溶接電流300A	機-12	燃料消費量→24																																													
II-3-①-7		記載の修正																																														
積算上の注意事項			(控え頁) 3/3																																													

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現	行	改	正	備	考
---	---	---	---	---	---

② 場所打杭工

②-1 全回転式オールケーシング工

1. 適用範囲

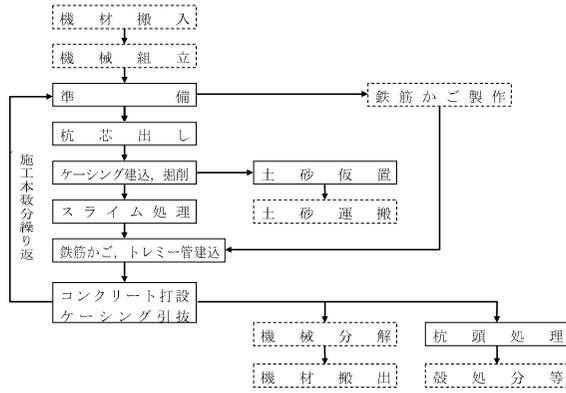
本資料は、設計杭径1,000~1,200mmは掘削長60m以下、設計杭径1,500, 2,000mmは掘削長50m以下の全回転式オールケーシング工法による場所打杭の施工に適用する。

2. 施工概要

オールケーシング工法は、打込準備（敷鉄板の設置・撤去含む）を行ったのち、杭芯出しを行い、ケーシングチューブを建込み、ケーシングチューブを押し込みながらハンマグラブによって土砂及び岩砕の搬出を行う。支持層に達したことを確認した後、孔内清掃（スライム処理）、鉄筋建込を行い、さらにトレミー管によりコンクリートを打設しながらケーシングチューブを引抜くことによって杭を施工する。

2-1 施工フロー

施工フローは、下記を標準とする。



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

図2-1 施工フロー

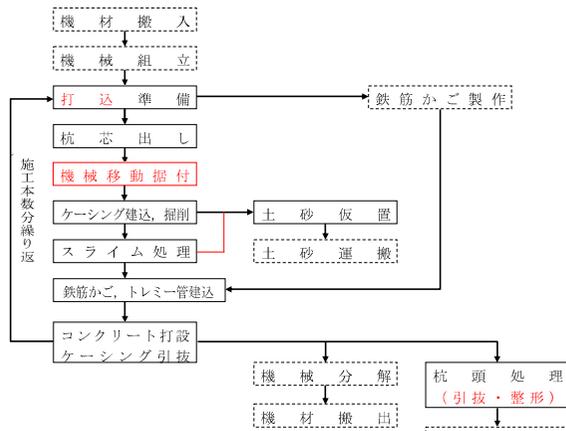
II-3-②-1

現行どおり

現行どおり

2. 施工概要

オールケーシング工法は、打込準備（敷鉄板の設置・撤去含む）及び杭芯出しの後に、掘削機を据付ける。その後、ケーシングチューブを建込み、ケーシングチューブを押し込みながらハンマグラブによって土砂及び岩砕の搬出を行う。



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

図2-1 施工フロー

記載の修正

記載の修正

積算上の注意事項

(控え頁)

改正理由	一部改正	改 正	
		現 行	

現	行	改	正	備 考																																																																																									
<p>3. 機種 の 選 定</p> <p>3-1 機種 の 選 定</p> <p>機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種 の 選 定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>全回転式オールケーシング掘削機</td> <td>ケーシングドライブ (スキッド式・ディーゼル/油圧駆動) 最大掘削径φ1,500mm 又は 最大掘削径φ2,000mm</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>図3-1</td> </tr> <tr> <td>掘削機設置・撤去、 鉄筋コンクリートケーシング、 トレンチ掘削機・撤去、 敷設板設置・撤去、 掘削作業</td> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 排出ガス対策型(第3次基準値) 70t吊 又は 油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 排出ガス対策型(2011年規制) 100t吊</td> <td>"</td> <td>1</td> <td>図3-2</td> </tr> <tr> <td>抗周り・機械周り 整地、 杭穴の埋戻整地、 掘削土集土</td> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.45 m³(平積 0.35 m³)</td> <td>"</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 掘削土砂は、掘削機よりベッセルに排土し、クローラクレーンで旋回範囲内に仮置きし、水切りした後に運搬するものを標準とする。 2. 掘削土処理については、「第Ⅱ編第1章②土工」により、別途計上する。 3. バックホウは、賃料とする。</p> <p>3-2 掘削機の規格</p> <p>掘削機の規格は、設計杭径及び掘削長により次図を標準とする。また、現場条件により次図により難い場合は、別途考慮する。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;"> <p>全回転式オールケーシング掘削機</p> <p>φ1,500 mm級の選定基準 掘削長 : 40m以下 設計杭径 : 1,000 mm, 1,100 mm, 1,200 mm, 1,500 mm</p> <p>φ2,000 mm級の選定基準 掘削長 : 40mを超え60m以下 設計杭径 : 1,000 mm, 1,100 mm, 1,200 mm 又は 掘削長 : 40mを超え50m以下 設計杭径 : 1,500 mm 又は 掘削長 : 50m以下 設計杭径 : 2,000 mm</p> <p style="text-align: center;">図3-1 掘削機別選定</p> <p style="text-align: center;">II-3-②-2</p> </div> <div style="flex: 1; margin-left: 20px;"> <p>→</p> </div> </div>		作業種別	機械名	規 格	単 位	数 量	摘 要		全回転式オールケーシング掘削機	ケーシングドライブ (スキッド式・ディーゼル/油圧駆動) 最大掘削径φ1,500mm 又は 最大掘削径φ2,000mm	台	1	図3-1	掘削機設置・撤去、 鉄筋コンクリートケーシング、 トレンチ掘削機・撤去、 敷設板設置・撤去、 掘削作業	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 排出ガス対策型(第3次基準値) 70t吊 又は 油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 排出ガス対策型(2011年規制) 100t吊	"	1	図3-2	抗周り・機械周り 整地、 杭穴の埋戻整地、 掘削土集土	バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	"	1		<p>3. 機種 の 選 定</p> <p>機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種 の 選 定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">機 械 名</th> <th rowspan="3">規 格</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="5">設計杭径</th> <th rowspan="3">摘 要</th> </tr> <tr> <th colspan="2">1,000mm</th> <th colspan="2">1,500mm</th> <th>2,000mm</th> </tr> <tr> <th>掘削長 40m以下</th> <th>掘削長 40mを超え 60m以下</th> <th>掘削長 20m以下</th> <th>掘削長 20mを超え 50m以下</th> <th>掘削長 50m以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全回転式オールケーシング掘削機</td> <td>ケーシングドライブ (スキッド式・ディーゼル/油圧駆動) 最大掘削径φ1,500mm</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>ケーシングドライブ (スキッド式・ディーゼル/油圧駆動) 最大掘削径φ2,000mm</td> <td>"</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・基礎工専用 排出ガス対策型(2014年規制) 70~90t吊</td> <td>"</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・基礎工専用 排出ガス対策型(2014年規制) 100t吊</td> <td>"</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>後方超小旋回型・ 超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.5m³(平積0.4m³)</td> <td>"</td> <td colspan="5" style="text-align: center;">1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 掘削土砂は、掘削機よりベッセルに排土し、クローラクレーンで旋回範囲内に仮置きし、水切りした後に運搬するものを標準とする。 2. 土砂運搬については、「第Ⅱ編第1章②土工」により、別途計上する。 3. バックホウは、賃料とする。 4. 現場条件等により、上表により難い場合は、別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">削除</p>			機 械 名	規 格	単 位	設計杭径					摘 要	1,000mm		1,500mm		2,000mm	掘削長 40m以下	掘削長 40mを超え 60m以下	掘削長 20m以下	掘削長 20mを超え 50m以下	掘削長 50m以下	全回転式オールケーシング掘削機	ケーシングドライブ (スキッド式・ディーゼル/油圧駆動) 最大掘削径φ1,500mm	台	1	-	1	-	-		クローラクレーン	ケーシングドライブ (スキッド式・ディーゼル/油圧駆動) 最大掘削径φ2,000mm	"	-	1	-	1	1		クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・基礎工専用 排出ガス対策型(2014年規制) 70~90t吊	"	1	-	1	-	-		クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・基礎工専用 排出ガス対策型(2014年規制) 100t吊	"	-	1	-	1	1		バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・ 超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	"	1						記載の修正
作業種別	機械名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																								
	全回転式オールケーシング掘削機	ケーシングドライブ (スキッド式・ディーゼル/油圧駆動) 最大掘削径φ1,500mm 又は 最大掘削径φ2,000mm	台	1	図3-1																																																																																								
掘削機設置・撤去、 鉄筋コンクリートケーシング、 トレンチ掘削機・撤去、 敷設板設置・撤去、 掘削作業	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 排出ガス対策型(第3次基準値) 70t吊 又は 油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 排出ガス対策型(2011年規制) 100t吊	"	1	図3-2																																																																																								
抗周り・機械周り 整地、 杭穴の埋戻整地、 掘削土集土	バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	"	1																																																																																									
機 械 名	規 格	単 位	設計杭径					摘 要																																																																																					
			1,000mm		1,500mm		2,000mm																																																																																						
			掘削長 40m以下	掘削長 40mを超え 60m以下	掘削長 20m以下	掘削長 20mを超え 50m以下	掘削長 50m以下																																																																																						
全回転式オールケーシング掘削機	ケーシングドライブ (スキッド式・ディーゼル/油圧駆動) 最大掘削径φ1,500mm	台	1	-	1	-	-																																																																																						
クローラクレーン	ケーシングドライブ (スキッド式・ディーゼル/油圧駆動) 最大掘削径φ2,000mm	"	-	1	-	1	1																																																																																						
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・基礎工専用 排出ガス対策型(2014年規制) 70~90t吊	"	1	-	1	-	-																																																																																						
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・基礎工専用 排出ガス対策型(2014年規制) 100t吊	"	-	1	-	1	1																																																																																						
バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・ 超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	"	1																																																																																										

積算上の注意事項			(控え頁) 2/9
----------	--	--	--------------

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考																																
<p>②杭1本当りのコンクリート打設等の施工日数 (D₁₂)</p> <p>杭1本当りのコンクリート打設等の施工日数 (D₁₂) には芯出し、機械移動据付、検尺、注水、スライム処理、鉄筋かご運込、鉄筋かご搬入、トレミー管運込、コンクリート打設・ケーシング引抜、トレミー管引抜を含む。</p> <p>表5.2 杭1本当りのコンクリート打設等の施工日数 (日/本)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>掘削長</th> <th>杭1本当りのコンクリート打設等の施工日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0 < ℓ ≤ 10</td><td>0.45</td></tr> <tr><td>10 < ℓ ≤ 20</td><td>0.70</td></tr> <tr><td>20 < ℓ ≤ 30</td><td>0.97</td></tr> <tr><td>30 < ℓ ≤ 40</td><td>1.24</td></tr> <tr><td>40 < ℓ ≤ 50</td><td>1.50</td></tr> <tr><td>50 < ℓ ≤ 60</td><td>1.76</td></tr> </tbody> </table> <p>図5-1 施工図</p> <p>5-2 材料の使用数量</p> <p>杭1本に必要なコンクリート使用数量は、次式による。</p> $Q = \frac{\pi}{4} \times D^2 \times L \times (1 + K)$ <p>Q: 杭1本当りのコンクリート使用数量 (m³/本) D: 設計杭径 (m) L: 杭長 (m) K: ロス率</p> <p>コンクリート使用数量のロス率 (損失+杭頭処理分を含む) は、次表とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">表5.3 ロス率(K)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロス率</td> <td>+0.09</td> </tr> </tbody> </table> <p>II-3-②-4</p>	掘削長	杭1本当りのコンクリート打設等の施工日数	0 < ℓ ≤ 10	0.45	10 < ℓ ≤ 20	0.70	20 < ℓ ≤ 30	0.97	30 < ℓ ≤ 40	1.24	40 < ℓ ≤ 50	1.50	50 < ℓ ≤ 60	1.76	表5.3 ロス率(K)		ロス率	+0.09	<p>②杭1本当りのコンクリート打設等の施工日数 (D₁₂)</p> <p>杭1本当りのコンクリート打設等の施工日数 (D₁₂) には打込準備 (敷鉄板の設置・撤去含む)、芯出し、機械移動据付、検尺、注水、スライム処理、鉄筋かご運込、鉄筋かご搬入、トレミー管運込、コンクリート打設・ケーシング引抜、トレミー管引抜を含む。</p> <p>表5.2 杭1本当りのコンクリート打設等の施工日数 (日/本)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>掘削長 (m)</th> <th>杭1本当りのコンクリート打設等の施工日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0 < ℓ ≤ 10</td><td>0.45</td></tr> <tr><td>10 < ℓ ≤ 20</td><td>0.70</td></tr> <tr><td>20 < ℓ ≤ 30</td><td>0.97</td></tr> <tr><td>30 < ℓ ≤ 40</td><td>1.24</td></tr> <tr><td>40 < ℓ ≤ 50</td><td>1.50</td></tr> <tr><td>50 < ℓ ≤ 60</td><td>1.76</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) コンクリート打設はアダプタとコンクリート打込スロープを使用した施工を標準とする。なお、現場条件等により、コンクリート打込スロープが使用出来ない場合には、別途考慮する。</p> <p>現行どおり</p>	掘削長 (m)	杭1本当りのコンクリート打設等の施工日数	0 < ℓ ≤ 10	0.45	10 < ℓ ≤ 20	0.70	20 < ℓ ≤ 30	0.97	30 < ℓ ≤ 40	1.24	40 < ℓ ≤ 50	1.50	50 < ℓ ≤ 60	1.76	<p>記載の修正</p>
掘削長	杭1本当りのコンクリート打設等の施工日数																																	
0 < ℓ ≤ 10	0.45																																	
10 < ℓ ≤ 20	0.70																																	
20 < ℓ ≤ 30	0.97																																	
30 < ℓ ≤ 40	1.24																																	
40 < ℓ ≤ 50	1.50																																	
50 < ℓ ≤ 60	1.76																																	
表5.3 ロス率(K)																																		
ロス率	+0.09																																	
掘削長 (m)	杭1本当りのコンクリート打設等の施工日数																																	
0 < ℓ ≤ 10	0.45																																	
10 < ℓ ≤ 20	0.70																																	
20 < ℓ ≤ 30	0.97																																	
30 < ℓ ≤ 40	1.24																																	
40 < ℓ ≤ 50	1.50																																	
50 < ℓ ≤ 60	1.76																																	

積算上の注意事項		(控え頁) 4/9
----------	--	--------------

改正理由	一部改正	改正	
		現行	

現	行	改	正	備	考
---	---	---	---	---	---

5-3 杭頭処理
杭1本当たり杭頭処理歩掛は、次表とする。

表5.4 杭頭処理歩掛 (1本当たり)

名 称	規 格	単 位	設計杭径(mm)				
			1,000	1,100	1,200	1,500	2,000
土木一般世話役		人	0.09	0.10	0.11	0.14	0.18
特殊作業員		#	0.31	0.34	0.37	0.46	0.62
ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)50t吊	日	0.09	0.10	0.11	0.14	0.18
諸 雑 費		%	19				

(注) 1. ラフテレーンクレーンは賃料とする。
2. 諸雑費は、空気圧縮機運転(排出ガス対策型)、コンクリートブレーカ損料、付着防止材等の費用であり、労務費、運転経費及び賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
3. 敷処分費が必要な場合は、別途計上する。
4. 敷積込については、「第II編第2章⑩構造物とりこわし工」により、別途計上する。
5. 般運搬については、「第II編第2章⑨般運搬」により、別途計上する。

5-4 鉄筋工

鉄筋工は、「第VI編第2章①-1鉄筋工(太径鉄筋含む)」により別途計上する。

5-5 諸雑費

諸雑費は、施工機械足場用の足場材(敷鉄板)賃料及び設置・撤去・移設、ハンマグラブ、ケーシングチューブ、ハンマクラウン、ブランジャ、ベッセル、スラッシュタンク、トレミー管、コンクリート打込スロープ、吊金具、吊ワイヤ、工事用水中モータポンプの損料、副バンド装置の損料、ビット等の損耗費、電力に関する経費等の費用であり、労務費、運転経費、機械損料及び機械賃料の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する(杭頭処理の労務費、機械賃料及び運転経費は含まない)。

表5.5 諸雑费率 (%)

諸雑费率	29
------	----

II-3-②-5

5-3 杭頭処理
杭1本当たり杭頭処理歩掛は、次表とする。なお、杭頭処理長は3m以下を標準とし、3mを超える場合は、別途考慮する。

表5.4 杭頭処理歩掛 (1本当たり)

名 称	規 格	単 位	設計杭径(mm)				
			1,000mm	1,100mm	1,200mm	1,500mm	2,000mm
土木一般世話役		人	0.10	0.11	0.12	0.15	0.20
特殊作業員		#	0.34	0.38	0.41	0.51	0.69
ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2011年規制)50t吊	日	0.10	0.11	0.12	0.15	0.20
諸 雑 費		%	6				

(注) 1. 上表は、余盛コンクリートの切断、吊上げ及び杭天端の整形を含む。
2. ラフテレーンクレーンは賃料とする。
3. 諸雑費は、空気圧縮機の損料及び運転経費、コンクリートブレーカ損料、コンクリートカット損料、吊金具、吊ワイヤの費用であり、労務費、運転経費及び賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
4. 敷処分費が必要な場合は、別途計上する。
5. 引抜いた余盛部の小割及び敷積込については、「第II編第2章⑩構造物とりこわし工」により、別途計上する。
6. 般運搬については、「第II編第2章⑨般運搬」により、別途計上する。

5-4 鉄筋工

鉄筋工は、「第VI編第2章①-1鉄筋工(太径鉄筋含む)」により別途計上する。なお、鉄筋加工場と施工現場が異なるなど、積込・荷卸・運搬等が必要な場合には、必要な費用を別途計上する。

次頁へ移動

記載の修正

積算上の注意事項		(控え頁)
		5/9

改正理由	一部改正	改正 現行																																																	
現 行	改 正		備 考																																																
現行なし	<p>6. ビット等損耗費</p> <p>杭1本あたりビット等損耗費は、ケーシングチューブに取付けるビットの費用であり、労務費、運転経費、機械損料及び機械賃料の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する（杭頭処理の労務費、機械賃料及び運転経費は含まない）。</p> <p>なお、ビット等損耗費については、杭1本あたりで算出する。</p> <p style="text-align: center;">表6.1 ビット等損耗費率(P) (1m当り損耗費率)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>土質</th> <th>レキ質土 粘性土 砂及び砂質土</th> <th>岩塊・玉石</th> <th>軟岩 I</th> <th>軟岩 II</th> <th>中硬岩</th> <th>硬岩 I</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計杭径</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1,000mm</td> <td>0.3%</td> <td>31%</td> <td>13%</td> <td>10%</td> <td>35%</td> <td>65%</td> </tr> <tr> <td>1,100mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1,200mm</td> <td>0.4%</td> <td>37%</td> <td>15%</td> <td>12%</td> <td>41%</td> <td>75%</td> </tr> <tr> <td>1,500mm</td> <td>0.5%</td> <td>53%</td> <td>22%</td> <td>18%</td> <td>59%</td> <td>110%</td> </tr> <tr> <td>2,000mm</td> <td>0.7%</td> <td>67%</td> <td>28%</td> <td>22%</td> <td>74%</td> <td>138%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ビット損耗費率は、掘削する土質毎に損耗費率を加重平均して算出する。</p> $\text{損耗費率} P = \frac{P_1 \times \theta_1 + P_2 \times \theta_2 + \dots}{\theta_1 + \theta_2 + \dots}$ <p>ここで、P_n:各土質のビット損耗費率 θ_n:各土質の掘削長 (m)</p> <p>2. Pは小数点以下1桁とし、小数第2位を四捨五入する。</p> <p>(例) 設計杭径1,000mm、砂質土5m、レキ質土15m、岩塊・玉石3m、軟岩II 3mの場合</p> $P = \frac{0.3\% \times 5m + 0.3\% \times 15m + 31\% \times 3m + 10\% \times 3m}{5m + 15m + 3m + 3m} = 4.96\% \approx 5.0\%$	土質	レキ質土 粘性土 砂及び砂質土	岩塊・玉石	軟岩 I	軟岩 II	中硬岩	硬岩 I	設計杭径							1,000mm	0.3%	31%	13%	10%	35%	65%	1,100mm							1,200mm	0.4%	37%	15%	12%	41%	75%	1,500mm	0.5%	53%	22%	18%	59%	110%	2,000mm	0.7%	67%	28%	22%	74%	138%	記載の修正
土質	レキ質土 粘性土 砂及び砂質土	岩塊・玉石	軟岩 I	軟岩 II	中硬岩	硬岩 I																																													
設計杭径																																																			
1,000mm	0.3%	31%	13%	10%	35%	65%																																													
1,100mm																																																			
1,200mm	0.4%	37%	15%	12%	41%	75%																																													
1,500mm	0.5%	53%	22%	18%	59%	110%																																													
2,000mm	0.7%	67%	28%	22%	74%	138%																																													
前頁から移動	<p>7. 諸 雑 費</p> <p>諸雑費は、施工機械足場用の足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去、ハンマグラフ、ケーシングチューブ、ハンマクラウン、スライムバケット、プランジャ、ベッセル、スラッシュタンク、トレミー管、コンクリート打込スロープ、吊金具、吊ワイヤ、付着防止材、口径変更器具、工事用水中モータポンプの賃料、副バンド装置の損料、ビット等の損耗費、電力に関する経費等の費用であり、労務費、運転経費、機械損料及び機械賃料の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する（杭頭処理の労務費、機械賃料及び運転経費は含まない）。</p> <p style="text-align: center;">表6.5 諸雑費率 (%)</p> <table border="1"> <tr> <td>諸雑費率</td> <td>29</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">表7.1 諸雑費率 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設 計 杭 径</th> <th>1,000mm</th> <th>1,100mm</th> <th>1,200mm</th> <th>1,500mm</th> <th>2,000mm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>24</td> <td>25</td> <td>27</td> <td>34</td> <td>41</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ビット等損耗費は、諸雑費対象額としない。</p>	諸雑費率	29	設 計 杭 径	1,000mm	1,100mm	1,200mm	1,500mm	2,000mm	諸 雑 費 率	24	25	27	34	41	記載の修正																																			
諸雑費率	29																																																		
設 計 杭 径	1,000mm	1,100mm	1,200mm	1,500mm	2,000mm																																														
諸 雑 費 率	24	25	27	34	41																																														
積算上の注意事項			(控え頁) 6/9																																																

改正理由	一部改正	改正 現 行	
------	------	-----------	--

現 行	改 正	備 考																																																																																																																																																																																																	
<p>6. 単 価 表</p> <p>(1) 基礎杭工1本当り単価表</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB230310</td> </tr> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×D_c</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>#</td> <td>1×D_c</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>#</td> <td>1×D_c</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>#</td> <td>1×D_c</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>掘 削 機 運 転</td> <td></td> <td>日</td> <td>D_c</td> <td>機械損料</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運転</td> <td></td> <td>#</td> <td>D_c</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>パ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転</td> <td></td> <td>#</td> <td>D_c</td> <td>機械賃料</td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄 筋 工</td> <td></td> <td>t</td> <td></td> <td>別途計上する</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D_c: 杭1本当り施工日数 (日/本)</p> <p>(2) 杭頭処理1本当り単価表</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB230350</td> </tr> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表5.4</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>#</td> <td></td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>ラフテレンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)50t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表5.4 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工歩掛コード	WB230310	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	1×D _c	表4.1	と び 工		#	1×D _c	#	特 殊 作 業 員		#	1×D _c	#	普 通 作 業 員		#	1×D _c	#	掘 削 機 運 転		日	D _c	機械損料	クローラクレーン運転		#	D _c	#	パ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転		#	D _c	機械賃料	コ ン ク リ ー ト		m ³			鉄 筋 工		t		別途計上する	諸 雑 費		式	1	表5.5	計					施工歩掛コード	WB230350	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表5.4	特 殊 作 業 員		#		#	ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)50t吊	日		表5.4 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表5.4	計					<p>8. 単 価 表</p> <p>(1) 基礎杭工1本当り単価表</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB230310</td> </tr> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×D_c</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>#</td> <td>1×D_c</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>#</td> <td>1×D_c</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>#</td> <td>1×D_c</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>全回転式オールケーシング掘削機運転</td> <td></td> <td>日</td> <td>D_c</td> <td>機械損料</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運転</td> <td></td> <td>#</td> <td>D_c</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>パ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転</td> <td></td> <td>#</td> <td>D_c</td> <td>機械賃料</td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄 筋 工</td> <td></td> <td>t</td> <td></td> <td>別途計上する</td> </tr> <tr> <td>ピ ッ ト 等 損 耗 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表6.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>#</td> <td>1</td> <td>表7.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D_c: 杭1本当り施工日数 (日/本)</p> <p>(2) 杭頭処理1本当り単価表</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB230350</td> </tr> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表5.4</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>#</td> <td></td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>ラフテレンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2011年規制)50t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表5.4 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工歩掛コード	WB230310	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	1×D _c	表4.1	と び 工		#	1×D _c	#	特 殊 作 業 員		#	1×D _c	#	普 通 作 業 員		#	1×D _c	#	全回転式オールケーシング掘削機運転		日	D _c	機械損料	クローラクレーン運転		#	D _c	#	パ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転		#	D _c	機械賃料	コ ン ク リ ー ト		m ³			鉄 筋 工		t		別途計上する	ピ ッ ト 等 損 耗 費		式	1	表6.1	諸 雑 費		#	1	表7.1	計					施工歩掛コード	WB230350	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表5.4	特 殊 作 業 員		#		#	ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2011年規制)50t吊	日		表5.4 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表5.4	計					<p>記載の修正</p> <p>記載の修正</p>
施工歩掛コード	WB230310																																																																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																															
土 木 一 般 世 話 役		人	1×D _c	表4.1																																																																																																																																																																																															
と び 工		#	1×D _c	#																																																																																																																																																																																															
特 殊 作 業 員		#	1×D _c	#																																																																																																																																																																																															
普 通 作 業 員		#	1×D _c	#																																																																																																																																																																																															
掘 削 機 運 転		日	D _c	機械損料																																																																																																																																																																																															
クローラクレーン運転		#	D _c	#																																																																																																																																																																																															
パ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転		#	D _c	機械賃料																																																																																																																																																																																															
コ ン ク リ ー ト		m ³																																																																																																																																																																																																	
鉄 筋 工		t		別途計上する																																																																																																																																																																																															
諸 雑 費		式	1	表5.5																																																																																																																																																																																															
計																																																																																																																																																																																																			
施工歩掛コード	WB230350																																																																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																															
土 木 一 般 世 話 役		人		表5.4																																																																																																																																																																																															
特 殊 作 業 員		#		#																																																																																																																																																																																															
ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)50t吊	日		表5.4 機械賃料																																																																																																																																																																																															
諸 雑 費		式	1	表5.4																																																																																																																																																																																															
計																																																																																																																																																																																																			
施工歩掛コード	WB230310																																																																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																															
土 木 一 般 世 話 役		人	1×D _c	表4.1																																																																																																																																																																																															
と び 工		#	1×D _c	#																																																																																																																																																																																															
特 殊 作 業 員		#	1×D _c	#																																																																																																																																																																																															
普 通 作 業 員		#	1×D _c	#																																																																																																																																																																																															
全回転式オールケーシング掘削機運転		日	D _c	機械損料																																																																																																																																																																																															
クローラクレーン運転		#	D _c	#																																																																																																																																																																																															
パ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転		#	D _c	機械賃料																																																																																																																																																																																															
コ ン ク リ ー ト		m ³																																																																																																																																																																																																	
鉄 筋 工		t		別途計上する																																																																																																																																																																																															
ピ ッ ト 等 損 耗 費		式	1	表6.1																																																																																																																																																																																															
諸 雑 費		#	1	表7.1																																																																																																																																																																																															
計																																																																																																																																																																																																			
施工歩掛コード	WB230350																																																																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																															
土 木 一 般 世 話 役		人		表5.4																																																																																																																																																																																															
特 殊 作 業 員		#		#																																																																																																																																																																																															
ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2011年規制)50t吊	日		表5.4 機械賃料																																																																																																																																																																																															
諸 雑 費		式	1	表5.4																																																																																																																																																																																															
計																																																																																																																																																																																																			

II-3-②-6

積算上の注意事項		(控え頁) 7/9
----------	--	--------------

改正理由	一部改正	改正	
		現行	

現	行	改	正	備	考
---	---	---	---	---	---

(3) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項
全 回 転 型 オ ー ル ケ ー シ ン グ 掘 削 機	ケーシングドライバ (スキッド式・ディーゼル/油圧 駆動) 最大掘削径φ1,500mm	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 → 88 機械損料数量→ 1.46
	ケーシングドライバ (スキッド式・ディーゼル/油圧 駆動) 最大掘削径φ2,000mm	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 → 145 機械損料数量→ 1.46
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 70t吊	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →106 機械損料数量→ 1.39
	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ 型・ 排出ガス対策型(2011年規制) 100t吊	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →119 機械損料数量→ 1.39
バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-28	運転労務数量→ 0.80 燃料消費量 → 28 機械賃料数量→ 1.60



(3) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項
全 回 転 型 オ ー ル ケ ー シ ン グ 掘 削 機	ケーシングドライバ (スキッド式・ディーゼル /油圧駆動) 最大掘削径φ1,500mm	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 → 88 機械損料数量→ 1.46
	ケーシングドライバ (スキッド式・ディーゼル /油圧駆動) 最大掘削径φ2,000mm	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →145 機械損料数量→ 1.46
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 基礎工事用・ 排出ガス対策型(2014年規制) 70~90t吊	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →106 機械損料数量→ 1.39
	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 基礎工事用・ 排出ガス対策型(2014年規制) 100t吊	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →119 機械損料数量→ 1.39
バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	後方超小旋回型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 山積 0.5m³ (平積 0.4m³)	機-28	運転労務数量→ 0.80 燃料消費量 → 35 機械賃料数量→ 1.60

記載の修正

II-3-②-7

積算上の注意事項		(控え頁)
		8/9

改 正 理 由	一部改正	改 正	
		現 行	

現	行	改	正	備 考
---	---	---	---	-----

7. 施工単価入力基準表

(1) 全回転式オールケーシング工

施工歩掛コード	WB230310	施工単位	本			
施工区分	入 力 条 件					
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6
	設計杭径 D (mm)	レキ質土、粘性土、砂 及び砂質土の掘削長 ℓ (m)	岩塊・玉石、軟 岩Ⅰの掘削長 ℓ (m)	軟岩Ⅱの掘 削長 ℓ (m)	硬岩Ⅰ、中硬 岩の掘削長 ℓ (m)	杭長 L (m)
	(表7. 1)	(実数入力)	(実数入力)	(実数入力)	(実数入力)	(実数入力)

J 7
コンクリート規格
(表7. 2)

- (注) 1. 本コードは、コンクリートの材料ロスを含んでいる。
 2. J 7条件で③を選択した場合は、生コンクリート単価 (Y-0210000) [円/㎡] を単価登録すること。
 3. 鉄筋工は、第VI編第2章市場単価①-1「鉄筋工 (太径鉄筋含む) (WB810010)」を適用し、別途計上すること。

表7. 1 設計杭径

設計杭径 (D)	入力番号
1,000mm	①
1,100mm	②
1,200mm	③
1,500mm	④
2,000mm	⑤

表7. 2 コンクリート規格

コンクリート規格	入力番号
30-18-40 普通	①
30-18-40 高炉B	②
生コンクリート各種 (Y-0210000)	③

(2) 杭頭処理

施工歩掛コード	WB230350	施工単位	本
施工区分	入 力 条 件		
各 種	J 1		
	設計杭径 D (mm)	(表7. 1)	

- (注) 1. 杭頭処理に伴う費種達は、第II編第2章共通工④「構造物とりこわし工 (CB224260)」を適用し、別途計上すること。
 2. 杭頭処理に伴う搬運費は、第II編第2章共通工⑤「搬運機 (CB227010)」を適用し、別途計上すること。
 3. 杭頭処理に伴う処分費 (WB020051) が必要な場合は、別途計上すること。

II-3-②-8

9. 施工単価入力基準表

(1) 全回転式オールケーシング工

施工歩掛コード	WB230310	施工単位	本		
施工区分	入 力 条 件				
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5
	設計杭径 D (mm)	レキ質土、粘性土、砂 及び砂質土の掘削長 ℓ (m)	岩塊・玉石、 軟 岩Ⅰの掘削長 ℓ (m)	軟岩Ⅰの掘削長 ℓ (m)	軟岩Ⅱの掘削長 ℓ (m)
	(表9. 1)	(実数入力)	(実数入力)	(実数入力)	(実数入力)

J 6	J 7	J 8	J 9
中硬岩の掘削長 ℓ (m)	硬岩Ⅰの掘削長 ℓ (m)	杭長 L (m)	コンクリート規格 (表9. 2)
(実数入力)	(実数入力)	(実数入力)	

- (注) 1. 本コードは、コンクリートの材料ロスを含んでいる。
 2. J 9条件で③を選択した場合は、生コンクリート単価 (Y-0210000) [円/㎡] を単価登録すること。
 3. 鉄筋工は、第VI編第2章市場単価①-1「鉄筋工 (太径鉄筋含む) (WB810010)」を適用し、別途計上すること。

表9. 1 設計杭径

設計杭径 (D)	入力番号
1,000mm	①
1,100mm	②
1,200mm	③
1,500mm	④
2,000mm	⑤

表9. 2 コンクリート規格

コンクリート規格	入力番号
30-18-40 普通	①
30-18-40 高炉B	②
生コンクリート各種 (Y-0210000)	③

(2) 杭頭処理

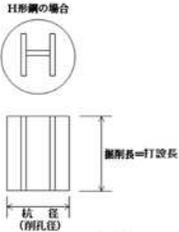
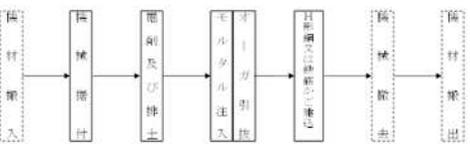
施工歩掛コード	WB230350	施工単位	本
施工区分	入 力 条 件		
各 種	J 1		
	設計杭径 D (mm)	(表9. 1)	

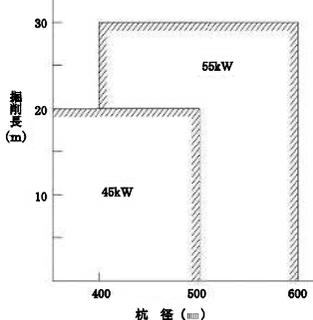
- (注) 1. 杭頭処理に伴う小割・殺積込・運搬・処分は、機械施工の場合、第VI編第1章④「構造物とりこわし工 (WB824020)」を適用し、別途計上すること。

~~2. 杭頭処理に伴う搬運費は、第II編第2章共通工⑤「搬運機 (CB227010)」を適用し、別途計上すること。~~
~~3. 杭頭処理に伴う処分費 (WB020051) が必要な場合は、別途計上すること。~~

積算上の注意事項

(控え頁)

改正理由	廃止	改正 現行																			
現 行		改 正																			
	<p>②-2 アースオーガ工・硬質地盤用アースオーガ工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、掘削長30m以下、杭径300mm～600mmのアースオーガにより掘削注入を行うモルタル橋脚打杭の施工に適用する。 なお、適用土質は、レキ質土、砂及び砂質土、粘性土、岩塊・玉石、軟岩（Ⅰ）及び軟岩（Ⅱ）とする。</p> <p>H形鋼の場合</p>  <p>図1-1 施工図</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 本手順で対応しているのは、実線部分のみである。 図2-1 施工フロー</p> <p>3. 機種の選定 3-1 機種を選定 機種・規格の選定は、次表を標準とする。</p> <table border="1" data-bbox="190 1173 817 1332"> <caption>表3-1 機種を選定</caption> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機種名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>クローラ式アースオーガ</td> <td>[単軸式・連続3点支持式] アースオーガ出力 掘削径 200mm～600mm リーダ長 18～21m</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>アースオーガ出力は 図3-11による</td> </tr> <tr> <td>H形鋼又は鉄筋 かごの選定</td> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式クレーン・ アースオーガ兼 掘削機対応型(第2次 標準機) 30～35t吊</td> <td>#</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>II-3-②-9</p>	作業種別	機種名	規格	単位	数量	備 考		クローラ式アースオーガ	[単軸式・連続3点支持式] アースオーガ出力 掘削径 200mm～600mm リーダ長 18～21m	台	1	アースオーガ出力は 図3-11による	H形鋼又は鉄筋 かごの選定	クローラクレーン	油圧駆動式クレーン・ アースオーガ兼 掘削機対応型(第2次 標準機) 30～35t吊	#	1		<p>削除</p>	<p>歩掛廃止</p>
作業種別	機種名	規格	単位	数量	備 考																
	クローラ式アースオーガ	[単軸式・連続3点支持式] アースオーガ出力 掘削径 200mm～600mm リーダ長 18～21m	台	1	アースオーガ出力は 図3-11による																
H形鋼又は鉄筋 かごの選定	クローラクレーン	油圧駆動式クレーン・ アースオーガ兼 掘削機対応型(第2次 標準機) 30～35t吊	#	1																	
積算上の注意事項			<p>(控え頁)</p> <p>1/9</p>																		

改正理由	廃止	改正 現行									
現 行		改 正									
<p>3-2 アースオーガ アースオーガの選定は、次図を標準とするが、現場条件により次図により難い場合は別途考慮する。</p>  <p>(注) 杭径400mm以上で岩塊・玉石、軟岩(Ⅰ)、軟岩(Ⅱ)を連続して2m以上含む場合は、杭径掘削長にかかわらず、オーガ出力は90kWとする。</p> <p>図3-1 アースオーガの選定</p> <p>4. 編 成 人 員 掘削機1台に対する編成人員は、次表を標準とする。</p> <table border="1" data-bbox="280 981 817 1045"> <caption>表4.1 編成人員 (人/台)</caption> <thead> <tr> <th>土木一般世話役</th> <th>とび工</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 掘削機、クレーンの運転労務は、「第1編第6章①建設機械運転労務」により別途計上する。</p> <p>5. 施 工 歩 掛 5-1 杭10本当り施工日数(d) 杭10本当り施工日数は、次式による。</p> $d = \frac{\alpha \cdot d_s}{F} \quad (\text{日}/10\text{本})$ <p>d : 杭10本当り施工日数 (日/10本) α : 土質係数 d_s : 杭径掘削長別杭10本当り施工日数 (日/10本) F : 作業係数</p> <p style="text-align: center;">II-3-②-10</p>		土木一般世話役	とび工	特殊作業員	普通作業員	1	2	1	1	削除	歩掛廃止
土木一般世話役	とび工	特殊作業員	普通作業員								
1	2	1	1								
積算上の注意事項			(控え頁) 2/9								

改正理由	廃止	改正 現行																																																														
現 行		改 正																																																														
<p>(1) 土質係数(α) 土質係数は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 土質係数(α)</p> <table border="1" data-bbox="271 448 748 523"> <tr> <th>N値</th> <th>土質</th> <th>土</th> <th>岩塊・玉石</th> <th>軟岩(Ⅰ) 軟岩(Ⅱ)</th> </tr> <tr> <td>20 未 満</td> <td></td> <td>1.0</td> <td rowspan="2">3.2</td> <td rowspan="2">1.8</td> </tr> <tr> <td>20 以 上</td> <td></td> <td>1.1</td> </tr> </table> <p>(注) 1. ここでいう「土」とは、レキ質土、粘性土、砂及び砂質土をいう。 2. 土質係数αは、掘削する土質毎の係数を下記のとおり加重平均して算出する。</p> $\alpha = \frac{\alpha_1 \times l_1 + \alpha_2 \times l_2 \dots}{l_1 + l_2 \dots}$ <p>ここで、α_i：各土質の土質係数 l_i：各土質の掘削長(m)</p> <p>(例) 土N値20以上の層5m、岩塊層5mの場合</p> $\alpha = \frac{1.1 \times 5 + 3.2 \times 5}{5 + 5} = 2.15 \approx 2.2$ <p>(2) 杭径掘削長別杭10本当り施工日数(d_s) 杭径掘削長別杭10本当り施工日数は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.2 杭径掘削長別杭10本当り施工日数(d_s) (日/10本)</p> <table border="1" data-bbox="331 874 689 1023"> <tr> <th rowspan="2">掘削長(m)</th> <th colspan="3">杭径(mm)</th> </tr> <tr> <th>350以上 500以下</th> <th>500を超え 600以下</th> <th></th> </tr> <tr> <td>10以下</td> <td>1.3</td> <td>1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10を超え14以下</td> <td>1.7</td> <td>1.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14を超え18以下</td> <td>2.0</td> <td>2.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>18を超え22以下</td> <td>2.8</td> <td>2.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>22を超え26以下</td> <td>3.1</td> <td>3.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>26を超え30以下</td> <td>3.4</td> <td>3.7</td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 杭径掘削長別杭10本当り施工日数には、準備時間、掘削時間、モルタル注入時間、鉄筋かご又はH形鋼建込及び継ぎし時間等を含む。</p> <p>(3) 作業係数(F) 作業係数は、次表を標準とする。 作業係数は、基準値を0.9とし、次式により補正する。 F = 0.9 + f F：作業係数 f：作業条件による補正係数</p> <p style="text-align: center;">表5.3 作業条件による補正係数(f)</p> <table border="1" data-bbox="224 1251 779 1334"> <tr> <th>条件</th> <th>補正係数(f)</th> <th>-0.05</th> <th>0</th> <th>+0.05</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">施 工 規 模 (1 工 事 当 り)</td> <td>1,000本未満</td> <td>1,000本以上 2,000本未満</td> <td>2,000本以上</td> <td></td> <td>連続地中壁工の場合</td> </tr> <tr> <td>100本未満</td> <td>100本以上 200本未満</td> <td>200本以上</td> <td></td> <td>連続地中壁工以外の場合</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">II-3-②-11</p>		N値	土質	土	岩塊・玉石	軟岩(Ⅰ) 軟岩(Ⅱ)	20 未 満		1.0	3.2	1.8	20 以 上		1.1	掘削長(m)	杭径(mm)			350以上 500以下	500を超え 600以下		10以下	1.3	1.4		10を超え14以下	1.7	1.8		14を超え18以下	2.0	2.2		18を超え22以下	2.8	2.9		22を超え26以下	3.1	3.3		26を超え30以下	3.4	3.7		条件	補正係数(f)	-0.05	0	+0.05	摘 要	施 工 規 模 (1 工 事 当 り)	1,000本未満	1,000本以上 2,000本未満	2,000本以上		連続地中壁工の場合	100本未満	100本以上 200本未満	200本以上		連続地中壁工以外の場合	削除	歩掛廃止
N値	土質	土	岩塊・玉石	軟岩(Ⅰ) 軟岩(Ⅱ)																																																												
20 未 満		1.0	3.2	1.8																																																												
20 以 上		1.1																																																														
掘削長(m)	杭径(mm)																																																															
	350以上 500以下	500を超え 600以下																																																														
10以下	1.3	1.4																																																														
10を超え14以下	1.7	1.8																																																														
14を超え18以下	2.0	2.2																																																														
18を超え22以下	2.8	2.9																																																														
22を超え26以下	3.1	3.3																																																														
26を超え30以下	3.4	3.7																																																														
条件	補正係数(f)	-0.05	0	+0.05	摘 要																																																											
施 工 規 模 (1 工 事 当 り)	1,000本未満	1,000本以上 2,000本未満	2,000本以上		連続地中壁工の場合																																																											
	100本未満	100本以上 200本未満	200本以上		連続地中壁工以外の場合																																																											
積算上の注意事項			(控え頁) 3/9																																																													

改正理由	廃止	改正 現行																				
現 行		改 正		備 考																		
	<p>6. 材 料 使 用 量 杭10本当りモルタル使用量は、次式による。</p> $Q = \frac{\pi}{4} \times D^2 \times L \times (1 + K) \times 10 \quad (\text{m}^3 / 10 \text{本})$ <p>Q : 杭10本当りモルタル使用量 (m³/10本) D : 杭径 (m) L : 打設長 (m) K : ロス率</p> <p style="text-align: center;">表6.1 ロス率(K)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>杭 径 (mm)</td> <td>350以上600以下</td> </tr> <tr> <td>ロ ス 率</td> <td>+0.18</td> </tr> </table> <p>7. 鉄 筋 工 鉄筋工は、「第VI編第2章①-1鉄筋工(太径鉄筋含む)」により別途計上する。</p> <p>8. 諸 雑 費 諸雑費は、オーガスクリュー、オーガヘッド、モルタルプラント(25kW)の損料及び電力に関する経費の費用等であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に、次表の率を乗じた金額を上限として計上する。 なお、次表の上段の値は上のみの場合に適用し、下段の値は岩塊、玉石、軟岩(Ⅰ)・(Ⅱ)を連続して2m以上施工する場合に適用する。</p> <p style="text-align: center;">表8.1 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削長 モルタル区分</th> <th colspan="2">杭径</th> <th>500mmを超え 600mm以下</th> </tr> <tr> <th>350mm以上 500mm以下</th> <th>20mを超え 30m以下</th> <th>30m以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>モルタルプラント使用</td> <td>20 28</td> <td></td> <td>27 31</td> </tr> <tr> <td>モルタルプラント不使用</td> <td>10 18</td> <td></td> <td>18 22</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">II-3-②-12</p>	杭 径 (mm)	350以上600以下	ロ ス 率	+0.18	掘削長 モルタル区分	杭径		500mmを超え 600mm以下	350mm以上 500mm以下	20mを超え 30m以下	30m以下	モルタルプラント使用	20 28		27 31	モルタルプラント不使用	10 18		18 22	削除	歩掛廃止
杭 径 (mm)	350以上600以下																					
ロ ス 率	+0.18																					
掘削長 モルタル区分	杭径		500mmを超え 600mm以下																			
	350mm以上 500mm以下	20mを超え 30m以下	30m以下																			
モルタルプラント使用	20 28		27 31																			
モルタルプラント不使用	10 18		18 22																			
積算上の注意事項			(控え頁) 4/9																			

改正理由	廃止	改正	備考
		現行	

現	行	改	正	備	考
---	---	---	---	---	---

9. 単 価 表

(1) 杭10本当り単価表

施工歩掛コード WB230510

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人	1×d	表4.1
と び 工		〃	2×d	〃
特 殊 作 業 員		〃	1×d	〃
普 通 作 業 員		〃	1×d	〃
モ ル タ ル		m ³	Q	
鋼材 (H形鋼又は鉄筋かご)		t		
クローラ式アースオーガ運 転	[単軸式・道端三点支持式] オーガ出力○○○kw 掘削径○○○～○○○mm リーダ長18～21m	日	d	表3.1、図3-1 機械損料
クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ ラチェンジブーム 排吐ガス対策型(第2次基 準値) 30～35t吊	〃	1 —×d 2	機械損料
諸 雑 費		式	1	表8.1
計				

(注) 1. d : 杭10本当り施工日数 (日/10本)

2. Q : 杭10本当りモルタル使用量 (m³/10本)

名 称	WB230510	WB230520	WB230530	WB230540
土 木 一 般 世 話 役	○			
と び 工	○			
特 殊 作 業 員	○			
普 通 作 業 員	○			
モ ル タ ル		○		
鋼材 (H形鋼又は鉄筋かご)			○	○
クローラ式アースオーガ運 転	○			
クローラクレーン運転	○			
諸 雑 費	○	○	○	○
計				

(2) モルタル10本当り単価表

施工歩掛コード WB230520

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
モ ル タ ル		m ³	10×Q	
諸 雑 費		式	1	
計				

(注) Q : 杭1本当りモルタル使用量 (m³/本)

(3) H形鋼10本当り単価表

施工歩掛コード WB230530

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
H 形 鋼		t		
諸 雑 費		式	1	
計				

II-3-②-13

削除	歩掛廃止

積算上の注意事項	(控え頁) 5/9
----------	--------------

改正理由	廃止	改正	備考
		現行	

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

(4) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	
クローラ式 アースオーガ	表3.1	機-18	運転労務数量→ 1.00 機械損料数量→ 1.60 燃料消費量→ 下記のとおりとする	
			規 格	燃 料 消 費 量 (ℓ/日)
			45kW	63
			55kW	63
90kW	62			
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ 排ガス対策型(第2次基 準値) 30～35t吊	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 54 機械損料数量→ 1.60	

(注)クローラ式アースオーガで、作業専用の油圧ユニットにディーゼルエンジンを使用する場合、排ガス対策型とする。

10. 施工単価入力基準表

(1) 場所打杭工 (アースオーガ)

施工歩掛コード	WB230510		施工単位	本		
施工区分	入 力 条 件					
	J 1	J 2・J 3	J 4	J 5	J 6	J 7
各種	杭径 (mm)	掘削長 (m)	岩塊・玉石・軟岩ⅠⅡ を連続2m以上施工する 場合の有無	工種種別	アースオーガ 出力	土の掘削長 (m) N値2.0未満
	①350以上 400未満 ②400以上 500以下 ③500を超え 600以下	(実数入力)	①有 ②無	①連続地中壁工 ②連続地中壁工 以外	(表10・1)	(実数入力)

J 8	J 9	J 10	J 11	J 12
土の掘削長 (m) N値2.0以上	岩塊・玉石 の掘削長 (m)	軟岩(Ⅰ)・ 軟岩(Ⅱ) の掘削長 (m)	施工規模 (1工事あたり)	モルタルプラント の有無
(実数入力)	(実数入力)	(実数入力)	(表10・2)	①有 ②無

- (注) 1. J 1条件で①を選択した場合は、J 4条件は②及びJ 6条件は①で固定される。
 2. J 1条件で②及び③を選択し、J 4条件で①を選択した場合は、J 6条件は③で固定される。
 3. J 1条件で②を選択し、J 3条件で20m以下を入力し、J 4条件で②を選択した場合は、J 6条件は①で固定される。
 4. J 1条件で②を選択し、J 3条件で20mを超えを入力し、J 4条件で②を選択し場合は、J 6条件は②で固定される。

II-3-②-14

削除

歩掛廃止

積算上の注意事項	(控え頁) 6/9
----------	--------------

工 種	アースオーガ工、硬質地盤用アースオーガ工
-----	----------------------

改正理由	廃止	改正 現行																																																															
現 行		改 正																																																															
<p>5. J 1条件で③を選択し、J 4条件で②を選択した場合は、J 6条件は②で固定される。</p> <p>6. J 5条件で①を選択した場合は、J11条件は④～⑥は選択出来ない。</p> <p>7. J 5条件で②を選択した場合は、J11条件は①～③は選択出来ない。</p> <p>表10.1 アースオーガ出力</p> <table border="1"> <tr> <th>アースオーガ出力 (kW)</th> <th>入力番号</th> </tr> <tr> <td>45</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>55</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>90</td> <td>③</td> </tr> </table> <p>表10.2 施工規模</p> <table border="1"> <tr> <th>工種種別</th> <th>施工規模</th> <th>入力番号</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">連続地中壁工</td> <td>1,000本未満</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>1,000本以上2,000本未満</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>2,000本以上</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">連続地中壁工以外</td> <td>100本未満</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>100本以上200本未満</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>200本以上</td> <td>⑥</td> </tr> </table> <p>(2) 材料費 (モルタル)</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB230520</td> <td>施工単位</td> <td>本</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入力条件</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">各種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>杭径 (m)</td> <td colspan="2">打設長 (m)</td> </tr> <tr> <td>(実数入力)</td> <td colspan="2">(実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. モルタルの材料補正を含む。 2. 生モルタル単価 (Y-0221000) [円/m³]を単価登録すること。</p> <p>(3) 材料費 (H形鋼)</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB230530</td> <td>施工単位</td> <td>本</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入力条件</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">各種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>杭1本当りH鋼質量 (kg/本)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>(実数入力)</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>(注) H形鋼単価 (Y-0008000) [円/t]を単価登録すること。</p> <p style="text-align: center;">II-3-②-15</p>		アースオーガ出力 (kW)	入力番号	45	①	55	②	90	③	工種種別	施工規模	入力番号	連続地中壁工	1,000本未満	①	1,000本以上2,000本未満	②	2,000本以上	③	連続地中壁工以外	100本未満	④	100本以上200本未満	⑤	200本以上	⑥	施工歩掛コード	WB230520	施工単位	本	施工区分	入力条件			各種	J 1	J 2		杭径 (m)	打設長 (m)		(実数入力)	(実数入力)		施工歩掛コード	WB230530	施工単位	本	施工区分	入力条件			各種	J 1			杭1本当りH鋼質量 (kg/本)			(実数入力)			<p style="text-align: center;">削除</p>		備考
アースオーガ出力 (kW)	入力番号																																																																
45	①																																																																
55	②																																																																
90	③																																																																
工種種別	施工規模	入力番号																																																															
連続地中壁工	1,000本未満	①																																																															
	1,000本以上2,000本未満	②																																																															
	2,000本以上	③																																																															
連続地中壁工以外	100本未満	④																																																															
	100本以上200本未満	⑤																																																															
	200本以上	⑥																																																															
施工歩掛コード	WB230520	施工単位	本																																																														
施工区分	入力条件																																																																
各種	J 1	J 2																																																															
	杭径 (m)	打設長 (m)																																																															
	(実数入力)	(実数入力)																																																															
施工歩掛コード	WB230530	施工単位	本																																																														
施工区分	入力条件																																																																
各種	J 1																																																																
	杭1本当りH鋼質量 (kg/本)																																																																
	(実数入力)																																																																
積算上の注意事項			<p>(控え頁)</p> <p>7/9</p>																																																														

改 正 理 由	廃止	改 正	備 考
		現 行	

現 行		改 正		備 考																																																																												
<p>(4) 鉄筋かご</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB230540</td> <td>施工単位</td> <td>本</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> <td>J 6</td> <td>J 7</td> <td>J 8</td> <td>J 9</td> <td>J 10</td> </tr> <tr> <td>異形棒鋼 種類 ① S D 295 ② S D 345 ③ S D 390 ④ S D 490</td> <td>杭一本当り鉄筋量 (t) D 13</td> <td>杭一本当り鉄筋量 (t) D 16</td> <td>杭一本当り鉄筋量 (t) D 16</td> <td>杭一本当り鉄筋量 (t) D 25</td> <td>杭一本当り鉄筋量 (t) D 29</td> <td>杭一本当り鉄筋量 (t) D 29</td> <td>杭一本当り鉄筋量 (t) D 32</td> <td>杭一本当り鉄筋量 (t) D 35</td> <td>杭一本当り鉄筋量 (t) D 38</td> <td>杭一本当り鉄筋量 (t) D 38</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J11</td> <td>J12</td> <td>J13</td> <td>J14</td> <td>J15</td> <td>J16</td> <td>J17</td> <td>J18</td> <td>J19</td> <td>J20</td> <td>J21</td> </tr> <tr> <td>杭一本当り鉄筋量 (t) D 41</td> <td>杭一本当り鉄筋量 (t) D 51</td> <td>杭一本当り鉄筋量 (t) D 13</td> <td>杭一本当り鉄筋量 (t) D 16</td> <td>杭一本当り鉄筋量 (t) D 19</td> <td>杭一本当り鉄筋量 (t) D 22</td> <td>杭一本当り鉄筋量 (t) D 25</td> <td>杭一本当り鉄筋量 (t) D 29</td> <td>杭一本当り鉄筋量 (t) D 32</td> <td>杭一本当り鉄筋量 (t) D 35</td> <td>杭一本当り鉄筋量 (t) D 38</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J22</td> <td>J23</td> <td>J24</td> <td>J25</td> <td>J26</td> <td>J27</td> <td>J28</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>杭一本当り鉄筋量 (t) D 41</td> <td>杭一本当り鉄筋量 (t) D 51</td> <td>杭一本当り鉄筋量 (t) 金種</td> <td>施工規模</td> <td>時間的制約を受ける場合の補正</td> <td>夜間作業補正</td> <td>太径鉄筋補正</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table>		施工歩掛コード	WB230540		施工単位	本	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7	J 8	J 9	J 10	異形棒鋼 種類 ① S D 295 ② S D 345 ③ S D 390 ④ S D 490	杭一本当り鉄筋量 (t) D 13	杭一本当り鉄筋量 (t) D 16	杭一本当り鉄筋量 (t) D 16	杭一本当り鉄筋量 (t) D 25	杭一本当り鉄筋量 (t) D 29	杭一本当り鉄筋量 (t) D 29	杭一本当り鉄筋量 (t) D 32	杭一本当り鉄筋量 (t) D 35	杭一本当り鉄筋量 (t) D 38	杭一本当り鉄筋量 (t) D 38	各 種	J11	J12	J13	J14	J15	J16	J17	J18	J19	J20	J21	杭一本当り鉄筋量 (t) D 41	杭一本当り鉄筋量 (t) D 51	杭一本当り鉄筋量 (t) D 13	杭一本当り鉄筋量 (t) D 16	杭一本当り鉄筋量 (t) D 19	杭一本当り鉄筋量 (t) D 22	杭一本当り鉄筋量 (t) D 25	杭一本当り鉄筋量 (t) D 29	杭一本当り鉄筋量 (t) D 32	杭一本当り鉄筋量 (t) D 35	杭一本当り鉄筋量 (t) D 38	各 種	J22	J23	J24	J25	J26	J27	J28					杭一本当り鉄筋量 (t) D 41	杭一本当り鉄筋量 (t) D 51	杭一本当り鉄筋量 (t) 金種	施工規模	時間的制約を受ける場合の補正	夜間作業補正	太径鉄筋補正					<p>削除</p>	
施工歩掛コード	WB230540	施工単位	本																																																																													
施工区分	入 力 条 件																																																																															
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7	J 8	J 9	J 10																																																																						
	異形棒鋼 種類 ① S D 295 ② S D 345 ③ S D 390 ④ S D 490	杭一本当り鉄筋量 (t) D 13	杭一本当り鉄筋量 (t) D 16	杭一本当り鉄筋量 (t) D 16	杭一本当り鉄筋量 (t) D 25	杭一本当り鉄筋量 (t) D 29	杭一本当り鉄筋量 (t) D 29	杭一本当り鉄筋量 (t) D 32	杭一本当り鉄筋量 (t) D 35	杭一本当り鉄筋量 (t) D 38	杭一本当り鉄筋量 (t) D 38																																																																					
各 種	J11	J12	J13	J14	J15	J16	J17	J18	J19	J20	J21																																																																					
	杭一本当り鉄筋量 (t) D 41	杭一本当り鉄筋量 (t) D 51	杭一本当り鉄筋量 (t) D 13	杭一本当り鉄筋量 (t) D 16	杭一本当り鉄筋量 (t) D 19	杭一本当り鉄筋量 (t) D 22	杭一本当り鉄筋量 (t) D 25	杭一本当り鉄筋量 (t) D 29	杭一本当り鉄筋量 (t) D 32	杭一本当り鉄筋量 (t) D 35	杭一本当り鉄筋量 (t) D 38																																																																					
各 種	J22	J23	J24	J25	J26	J27	J28																																																																									
	杭一本当り鉄筋量 (t) D 41	杭一本当り鉄筋量 (t) D 51	杭一本当り鉄筋量 (t) 金種	施工規模	時間的制約を受ける場合の補正	夜間作業補正	太径鉄筋補正																																																																									
<p>(注) 1. 本コードは、鉄筋工 (W810010) の規格・仕様区分を場所打杭用かご路で設定している。 2. J 1条件で①～④以外の異形棒鋼種類を使用する場合は、別途考慮すること。 3. J 1条件で①を選択した場合、J 4～J 23条件は入力出来ない。 4. J 1条件で②を選択した場合、J 3、J 5、J 6、J 8条件は入力出来ない。 5. J 1条件で③を選択した場合、J 2～J 4、J 7、J 12～J 16、J 23条件は入力出来ない。 6. J 1条件で④を選択した場合、J 2～J 8、J 12～J 19、J 23条件は入力出来ない。 7. J 24条件を入力した場合は、鉄筋コンクリート用棒鋼単価 (V-0004000) [円/t] を単価登録すること。 8. J 25条件で②を選択した場合、J 26条件は②で固定される。 9. J 28条件の補正を行う場合は、1単位当り構造物に使用する全ての鉄筋規格において、同じ補正をすること。</p>																																																																																
積算上の注意事項				<p>(控え頁)</p> <p>8/9</p>																																																																												

II-3-②-16

工 種	アースオーガ工、硬質地盤用アースオーガ工
-----	----------------------

改正理由	廃止	改正 現行											
現 行		改 正											
<table border="1"> <caption>表10.3 太径鉄筋補正</caption> <thead> <tr> <th>太径鉄筋の割合</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10%未満(補正無)</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>10%以上20%未満</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>20%以上40%未満</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>40%以上</td> <td>④</td> </tr> </tbody> </table>		太径鉄筋の割合	入力番号	10%未満(補正無)	①	10%以上20%未満	②	20%以上40%未満	③	40%以上	④	削除	
太径鉄筋の割合	入力番号												
10%未満(補正無)	①												
10%以上20%未満	②												
20%以上40%未満	③												
40%以上	④												
		備考											
		歩掛廃止											
積算上の注意事項		(控え頁) 9/9											

II-3-②-17

工 種	コンクリート工
-----	---------

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行		改 正		備 考
-----	--	-----	--	-----

構造物 種別	打設工法	コンク リート	設計日 打設量	養生工の 種類	圧送管 延長距離区分	現場内小 運搬の有無	打設高さ、 水平打設距離								
小型 構造物	クレーン車 打設	(表 4.3)	-	養生無し	-	-	(表 4.4)								
				一般養生											
				特殊養生 (練炭)											
				特殊養生 (ｼﾝｸﾞﾙｰｸ)											
	バックホウ (クレーン 機能付) 打設			養生無し				-	-	-	-				
				一般養生											
				特殊養生 (練炭)											
				特殊養生 (ｼﾝｸﾞﾙｰｸ)											
	人力打設			養生無し								-	-	有り	-
				一般養生										無し	
				特殊養生 (練炭)										有り	
				特殊養生 (ｼﾝｸﾞﾙｰｸ)										無し	
				有り											
				無し											
				有り											
				無し											
				有り											
				無し											

(注) 1. 上表は、一般的な構造物（無筋構造物、鉄筋構造物、小型構造物）のコンクリート打設、締固め、表面仕上、養生、15m以下の人力運搬車による現場内小運搬（人力打設で、現場内小運搬「有り」の場合）、シュート、コンクリートバイブレータ、コンクリートバケット損料、電力に関する経費、ホースの筒先作業等を行う機械付補助作業（コンクリートポンプ車打設の場合）、コンクリートバケットへのコンクリート積込及び玉掛作業等を行う機械付補助作業（クレーン車打設及びバックホウ（クレーン機能付）打設の場合）等、その施工に要する全ての費用を含む。
 2. コンクリートの材料ロスを含む。標準ロス率は、無筋構造物が+0.07、鉄筋構造物が+0.03、小型構造物が+0.06とする。
 3. 無筋・鉄筋構造物コンクリートポンプ車打設において、コンクリートポンプ車圧送のコンクリートのスランプ値及び粗骨材の最大寸法は、次表のとおりとする。

表 4.2 無筋・鉄筋構造物コンクリートポンプ車圧送のコンクリートの標準範囲

スランプ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)
8 ~ 12	40 以下

4. 無筋・鉄筋構造物コンクリートポンプ車打設において、コンクリートポンプ車から作業範囲 30mを超える場合は、超えた部分について圧送管延長距離を積算条件区分から選択する。この場合、圧送管の日々の組立・撤去費用を含む。なお、圧送管の固定足場（受枠）を必要とする場合は、別途計上する。
 5. 無筋・鉄筋構造物バックホウ（クレーン機能付）打設及び小型構造物バックホウ（クレーン機能付）打設のバケット容量は、V=0.3m³を標準とする。
 6. 小型構造物クレーン車打設において、クローラクレーンを使用する場合は、現場条件から打設高さを検討し、適当なブーム長さを設定する。
 7. 小型構造物クレーン車打設のバケット容量は、V=0.6m³を標準とする。
 8. 特殊養生は、河川・海岸・道路工事等における寒中コンクリートの養生に適用する。なお、養生方法は給熱養生を標準とし、異形ブロック製作における養生は適用しない。養生のための足場は別途計上とする。

II-4-①-5

現行どおり

(注) 1. 上表は、一般的な構造物（無筋構造物、鉄筋構造物、小型構造物）のコンクリート打設、締固め、**打継ぎ目処理**、表面仕上、養生、15m以下の人力運搬車による現場内小運搬（人力打設で、現場内小運搬「有り」の場合）、シュート、コンクリートバイブレータ、コンクリートバケット損料、電力に関する経費、ホースの筒先作業等を行う機械付補助作業（コンクリートポンプ車打設の場合）、コンクリートバケットへのコンクリート積込及び玉掛作業等を行う機械付補助作業（クレーン車打設及びバックホウ（クレーン機能付）打設の場合）等、その施工に要する全ての費用を含む。
 2. コンクリートの材料ロスを含む。標準ロス率は、無筋構造物が+0.07、鉄筋構造物が+0.03、小型構造物が+0.06とする。
 3. 無筋・鉄筋構造物コンクリートポンプ車打設において、コンクリートポンプ車圧送のコンクリートのスランプ値及び粗骨材の最大寸法は、次表のとおりとする。

現行どおり

記載の変更

積算上の注意事項		(控え頁) 1/1
----------	--	--------------

改正理由	一部改正	改 正 — 現 行	
------	------	-----------------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

7) 鋼矢板、H形鋼1枚(本)当り継施工箇所数による補正

表3.32 補正係数(F)[鋼矢板(H形鋼)1枚(本)当り2箇所以上継施工を行う場合]

適 用		鋼矢板 II、III、IV、V ₁ 、IIw、IIIw、IVw、10H、25H											
最大 N 値		単独施工 (Nmax<50)				ウォータージェット併用施工 (50≦Nmax<100)				ウォータージェット併用施工 (100≦Nmax≦180)			
継施工箇所数		2箇所	3箇所	4箇所	5箇所	2箇所	3箇所	4箇所	5箇所	2箇所	3箇所	4箇所	5箇所
補正係数(F)	陸上施工	0.63	0.46	0.37	0.30	0.70 (0.67)	0.54 (0.51)	0.44 (0.42)	0.38 (0.35)	0.74	0.60	0.50	0.43
	水上施工	0.67	0.51	0.41	0.34	0.72 (0.70)	0.57 (0.55)	0.48 (0.45)	0.41 (0.38)	0.76	0.62	0.53	0.46

適 用		H形鋼 H250、H300、H350、H400											
最大 N 値		単 独 施 工 (Nmax<50)				ウォータージェット併用施工 (50≦Nmax<100)				ウォータージェット併用施工 (100≦Nmax≦180)			
継施工箇所数		2箇所	3箇所	4箇所	5箇所	2箇所	3箇所	4箇所	5箇所	2箇所	3箇所	4箇所	5箇所
補正係数(F)	陸上施工	0.66	0.49	0.39	0.33	0.72 (0.69)	0.57 (0.54)	0.48 (0.44)	0.41 (0.37)	0.77	0.63	0.54	0.48
	水上施工	0.69	0.53	0.43	0.36	0.75 (0.72)	0.60 (0.57)	0.51 (0.47)	0.44 (0.40)	0.79	0.66	0.57	0.50

(注) ウォータージェット併用施工における () 書きは、Nmax<50の場合で、転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合。

(3) 継施工費

継施工が必要な場合の費用は、次表を標準とする。

表3.33 継施工費

鋼矢板・H形鋼型式		継施工費(円/箇所)
鋼 矢 板	II型	8,160
	III型	8,580
	IV型	8,880
	V ₁ 型	12,200
	VI ₁ 型	12,500
	II w型	9,760
	III w型	10,000
	IV w型	10,600
	10H型(ハット)	15,800
	25H型(ハット)	16,900
H 形 鋼	H250	28,800
	H300	36,300
	H350	50,900
	H400	73,400

(注) 継施工費に含まれる費用は、次のとおりである。
 鋼矢板継施工費：溶接棒費用、補強板材料費、開先加工費
 H形鋼継施工費：補強板材料費、接続用ボルト・ナット材料費、
 H形鋼孔明け加工費

II-5-②-18

現行どおり

→ 次頁へ移動

積算上の注意事項		(控え頁)	1/4
----------	--	-------	-----

改正理由	一部改正	改正 現行																																					
現 行	改 正	備 考																																					
	<p>(3) 継施工費 継施工が必要な場合の費用は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.33 継施工費</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>鋼矢板・H形鋼型式</th> <th>継施工費(円/箇所)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>II型</td><td>8,200</td></tr> <tr><td>III型</td><td>8,650</td></tr> <tr><td>IV型</td><td>8,970</td></tr> <tr><td>V_L型</td><td>12,400</td></tr> <tr><td>VI_L型</td><td>12,700</td></tr> <tr><td>IIw型</td><td>9,800</td></tr> <tr><td>IIIw型</td><td>10,100</td></tr> <tr><td>IVw型</td><td>10,800</td></tr> <tr><td>10H型(ハット)</td><td>16,000</td></tr> <tr><td>25H型(ハット)</td><td>17,100</td></tr> <tr><td>45H型(ハット)</td><td>17,700</td></tr> <tr><td>50H型(ハット)</td><td>18,100</td></tr> <tr><td>H形鋼</td><td></td></tr> <tr><td>H250</td><td>29,400</td></tr> <tr><td>H300</td><td>36,900</td></tr> <tr><td>H350</td><td>51,700</td></tr> <tr><td>H400</td><td>74,500</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 継施工費に含まれる費用は、次のとおりである。 鋼矢板継施工費：溶接棒費用、補強板材料費、開先加工費 H形鋼継施工費：補強板材料費、接続用ボルト・ナット材料費、 H形鋼孔明け加工費</p>	鋼矢板・H形鋼型式	継施工費(円/箇所)	II型	8,200	III型	8,650	IV型	8,970	V _L 型	12,400	VI _L 型	12,700	IIw型	9,800	IIIw型	10,100	IVw型	10,800	10H型(ハット)	16,000	25H型(ハット)	17,100	45H型(ハット)	17,700	50H型(ハット)	18,100	H形鋼		H250	29,400	H300	36,900	H350	51,700	H400	74,500	記載の修正 (歩掛改定に伴う)	
鋼矢板・H形鋼型式	継施工費(円/箇所)																																						
II型	8,200																																						
III型	8,650																																						
IV型	8,970																																						
V _L 型	12,400																																						
VI _L 型	12,700																																						
IIw型	9,800																																						
IIIw型	10,100																																						
IVw型	10,800																																						
10H型(ハット)	16,000																																						
25H型(ハット)	17,100																																						
45H型(ハット)	17,700																																						
50H型(ハット)	18,100																																						
H形鋼																																							
H250	29,400																																						
H300	36,900																																						
H350	51,700																																						
H400	74,500																																						
積算上の注意事項	前頁から移動 →		(控え頁) 2/4																																				

改正理由	一部改正	改正 <hr/> 現行																																																																													
現	行	改 正	備 考																																																																												
<p>3-4 諸雑費 諸雑費は、共下がり防止及び導材（ガイド）用の溶接棒及び電気溶接機損料、導材（ガイド）賃料、施工機械足場用の敷鉄板賃料、ウォータージェット併用施工用付属機器に関する経費（配管バンド及び溶接棒、電気溶接機損料、工事中水モータポンプ損料、水槽及び配管損料）、陸上部での現場内小運搬に関する経費、電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に下表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表3.35 諸雑费率 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">施工区分</th> <th colspan="2" rowspan="3">パイプロハンマ規格</th> <th colspan="5">諸雑费率</th> </tr> <tr> <th colspan="2">継施工無し</th> <th colspan="3">継施工有り</th> </tr> <tr> <th>普通・広幅鋼矢板 H形鋼</th> <th>ハット形鋼矢板</th> <th>普通・広幅鋼矢板</th> <th>ハット形鋼矢板</th> <th>H形鋼</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">パイプロハンマ 単独施工・打込み</td> <td rowspan="2">電動式</td> <td>60kW</td> <td>19 13</td> <td>16 11</td> <td>17 12</td> <td>15 11</td> <td>17 12</td> </tr> <tr> <td>90kW</td> <td>22 15</td> <td>18 13</td> <td>20 14</td> <td>17 12</td> <td>20 14</td> </tr> <tr> <td>油圧式</td> <td>242kW</td> <td>1 1</td> <td>1 1</td> <td>2 1</td> <td>2 1</td> <td>1 1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ウォータージェット 併用施工・打込み</td> <td rowspan="2">電動式</td> <td>60kW</td> <td>18(22) 14(16) (注)2</td> <td>16(19) 13(15) (注)2</td> <td>18(21) 14(16) (注)2</td> <td>16(19) 13(15) (注)2</td> <td>17(20) 13(15) (注)2</td> </tr> <tr> <td>90kW</td> <td>20(24) 15(18) (注)2</td> <td>18(21) 14(16) (注)2</td> <td>20(23) 15(18) (注)2</td> <td>17(20) 14(16) (注)2</td> <td>19(22) 15(17) (注)2</td> </tr> <tr> <td>油圧式</td> <td>242kW</td> <td>6(7) 5(5) (注)2</td> <td>5(6) 5(5) (注)2</td> <td>6(7) 5(6) (注)2</td> <td>6(6) 5(5) (注)2</td> <td>5(6) 5(5) (注)2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">引抜き</td> <td>電動式</td> <td>60kW</td> <td>18 12 (注)3</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>油圧式</td> <td>242kW</td> <td>0.2 — (注)3</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 凡例 上段：陸上施工の場合 下段：水上施工の場合 2. ウォータージェット併用施工・打込みにおける（ ）書きは、Nmax<50の場合で、転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合に計上する。 3. 引抜きの諸雑费率は、広幅鋼矢板には適用しない。</p> <p>3-5 その他 (1) ウォータージェット併用施工時に用いる水道等が必要な場合は、別途計上する。 (2) ウォータージェット併用施工時に発生する濁水の運搬・処理が必要な場合は、別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">II-5-②-20</p>		施工区分	パイプロハンマ規格		諸雑费率					継施工無し		継施工有り			普通・広幅鋼矢板 H形鋼	ハット形鋼矢板	普通・広幅鋼矢板	ハット形鋼矢板	H形鋼	パイプロハンマ 単独施工・打込み	電動式	60kW	19 13	16 11	17 12	15 11	17 12	90kW	22 15	18 13	20 14	17 12	20 14	油圧式	242kW	1 1	1 1	2 1	2 1	1 1	ウォータージェット 併用施工・打込み	電動式	60kW	18(22) 14(16) (注)2	16(19) 13(15) (注)2	18(21) 14(16) (注)2	16(19) 13(15) (注)2	17(20) 13(15) (注)2	90kW	20(24) 15(18) (注)2	18(21) 14(16) (注)2	20(23) 15(18) (注)2	17(20) 14(16) (注)2	19(22) 15(17) (注)2	油圧式	242kW	6(7) 5(5) (注)2	5(6) 5(5) (注)2	6(7) 5(6) (注)2	6(6) 5(5) (注)2	5(6) 5(5) (注)2	引抜き	電動式	60kW	18 12 (注)3	—	—	—	—	油圧式	242kW	0.2 — (注)3	—	—	—	—	<p>3-4 諸雑費 諸雑費は、共下がり防止及び導材（ガイド）用の溶接棒及び電気溶接機損料、導材（ガイド）賃料、施工機械足場用の敷鉄板賃料、ウォータージェット併用施工用付属機器に関する経費（配管バンド及び溶接棒、電気溶接機損料、工事中水モータポンプ損料、水槽及び配管損料）、陸上部での付属機材等の現場内小運搬に関する経費、電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に下表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>		<p>記載の修正</p>
施工区分	パイプロハンマ規格				諸雑费率																																																																										
					継施工無し		継施工有り																																																																								
			普通・広幅鋼矢板 H形鋼	ハット形鋼矢板	普通・広幅鋼矢板	ハット形鋼矢板	H形鋼																																																																								
パイプロハンマ 単独施工・打込み	電動式	60kW	19 13	16 11	17 12	15 11	17 12																																																																								
		90kW	22 15	18 13	20 14	17 12	20 14																																																																								
	油圧式	242kW	1 1	1 1	2 1	2 1	1 1																																																																								
ウォータージェット 併用施工・打込み	電動式	60kW	18(22) 14(16) (注)2	16(19) 13(15) (注)2	18(21) 14(16) (注)2	16(19) 13(15) (注)2	17(20) 13(15) (注)2																																																																								
		90kW	20(24) 15(18) (注)2	18(21) 14(16) (注)2	20(23) 15(18) (注)2	17(20) 14(16) (注)2	19(22) 15(17) (注)2																																																																								
	油圧式	242kW	6(7) 5(5) (注)2	5(6) 5(5) (注)2	6(7) 5(6) (注)2	6(6) 5(5) (注)2	5(6) 5(5) (注)2																																																																								
引抜き	電動式	60kW	18 12 (注)3	—	—	—	—																																																																								
	油圧式	242kW	0.2 — (注)3	—	—	—	—																																																																								
積算上の注意事項			(控え頁) 3/4																																																																												

改正理由	一部改正	改正 ----- 現行	
------	------	-------------------	--

現 行	改 正	備 考																																																																																				
<p>(11) H形鋼賃料</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="width: 15%;">施工歩掛コード</td> <td style="width: 15%;">WB251760</td> <td style="width: 15%;">施工単位</td> <td style="width: 15%;">本</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">施工区分</td> <td colspan="9" style="text-align: center;">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center; vertical-align: middle;">各 種</td> <td style="text-align: center;">J 1</td> <td style="text-align: center;">J 2</td> <td style="text-align: center;">J 3</td> <td style="text-align: center;">J 4</td> <td style="text-align: center;">J 5</td> <td style="text-align: center;">J 6</td> <td style="text-align: center;">J 7</td> <td style="text-align: center;">J 8</td> <td style="text-align: center;">J 9</td> </tr> <tr> <td>H形鋼の種類</td> <td>H形鋼1本当り長さ</td> <td>供用日数</td> <td>継続工事の有無</td> <td>総供用日数</td> <td>修理費及び損耗費の有無</td> <td>H形鋼の整備費</td> <td>補助工法の有無</td> <td>一現場での使用回数</td> </tr> <tr> <td>①H200</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②H250</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③H300</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④H350</td> <td>(m/本)</td> <td>(日)</td> <td>①無</td> <td>(日)</td> <td>①無</td> <td>(円)</td> <td>①無</td> <td>(回)</td> </tr> <tr> <td>⑤H400</td> <td>(実数入力)</td> <td>(実数入力)</td> <td>②有</td> <td>(実数入力)</td> <td>②有</td> <td>(実数入力)</td> <td>②有</td> <td>(実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 継続工事となる場合は J 3 条件に当該工事の供用日数を入力し、J 5 条件で総供用日数（賃料単価決定のため）を入力する。なお、供用日数または総供用日数が1080日（36ヶ月）を超える場合は別途考慮する。 2. 継続工事以外（J 4 条件で①を選択）は J 3 条件に供用日数を入力し、J 5 条件は入力する必要はない。 3. J 3 条件の供用日数（継続工事の場合は J 5 条件の総供用日数）は、賃料計上限度額（1現場当り修理費及び損耗費を含む）である施工業者が入手可能な購入価格（市中価格）の80%を超えないように調整のうえ入力すること。また、本コードは賃料の減額補正のための比較検討を考慮している。 4. J 6 条件で①を選択した場合は、J 7～J 9 条件は入力する必要はない。 5. J 7 条件は、J 1 条件で選択したH形鋼の種類を整備費を入力すること。 6. J 8 条件の補助工法の有無は、「第Ⅱ編第5章①仮設工（仮設材賃料に係る修理費及び損耗費の取扱いについて）」による。 7. 使用回数による修理費及び損耗費の補正をしない場合は、J 9 条件に「1」を入力する。</p>	施工歩掛コード	WB251760	施工単位	本							施工区分	入 力 条 件									各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7	J 8	J 9	H形鋼の種類	H形鋼1本当り長さ	供用日数	継続工事の有無	総供用日数	修理費及び損耗費の有無	H形鋼の整備費	補助工法の有無	一現場での使用回数	①H200									②H250									③H300									④H350	(m/本)	(日)	①無	(日)	①無	(円)	①無	(回)	⑤H400	(実数入力)	(実数入力)	②有	(実数入力)	②有	(実数入力)	②有	(実数入力)	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(注) 1. 継続工事となる場合は J 3 条件に当該工事の供用日数を入力し、J 5 条件で総供用日数（賃料単価決定のため）を入力する。なお、供用日数または総供用日数が720日（24ヵ月）を超える場合は別途考慮する。</p>	<p style="text-align: center;">記載の修正</p>
施工歩掛コード	WB251760	施工単位	本																																																																																			
施工区分	入 力 条 件																																																																																					
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7	J 8	J 9																																																																													
	H形鋼の種類	H形鋼1本当り長さ	供用日数	継続工事の有無	総供用日数	修理費及び損耗費の有無	H形鋼の整備費	補助工法の有無	一現場での使用回数																																																																													
	①H200																																																																																					
	②H250																																																																																					
	③H300																																																																																					
	④H350	(m/本)	(日)	①無	(日)	①無	(円)	①無	(回)																																																																													
⑤H400	(実数入力)	(実数入力)	②有	(実数入力)	②有	(実数入力)	②有	(実数入力)																																																																														
II-5-②-31																																																																																						

積算上の注意事項		(控え頁)	4/4
----------	--	-------	-----

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現	行	改	正	備	考
---	---	---	---	---	---

②-3 油圧圧入引抜き

1. 適用範囲

本資料は、油圧式杭圧入引抜き機による鋼矢板の圧入（ $N_{max} \leq 600$ ）及び引抜き施工に適用する。
 なお、継矢板の施工法は、先行する鋼矢板を圧入後、それに接続する鋼矢板を鉛直に建込んだ状態で継手部を溶接するものである。なお、可撓性鋼矢板については適用外とする。

$N_{max} \leq 50$ での施工における油圧式杭圧入引抜き機の反力チャックのつかみ代は次のとおりとする。

- ・ II, III, IV, V_L, VI_L, II w, III w, IV w 型の場合：500mmを標準とする。
- ・ ハット形鋼矢板（10H, 25H型）の場合：550mmを標準とする。

$N_{max} \leq 50$ での施工における布掘深さ（又は、地表面よりの余裕高さ）は反力チャックのつかみ代と同じ幅を標準とする。なお、 $50 < N_{max} \leq 600$ の施工における布掘深さ（又は、地表面よりの余裕高さ）は、1,000mmを標準とする。

また、鋼矢板型式毎の圧入長（引抜き長）の適用範囲は、次表を標準とし、これにより難しい場合は、別途考慮する。

表1.1 圧入長(引抜き長) (m)

鋼矢板の型式	圧入長(引抜き長)									
	II型	III型	IV型	V型	VI型	II w型	III w型	IV w型	10H型	25H型
圧入長	$N_{max} \leq 25$	10以下	15以下	20以下	25以下	12以下	25以下	25以下	12以下	25以下
	$N_{max} \leq 50$	12以下	18以下	20以下	25以下	14以下	25以下	25以下	14以下	25以下
	$50 < N_{max} \leq 600$	10以下	15以下	20以下	25以下	12以下	25以下	25以下	—	—
引抜き長	12以下	18以下	20以下	25以下	25以下	—	—	—	—	—

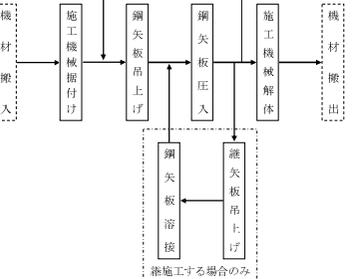
- (注) 1. 圧入長(引抜き長)とは、地表面よりの鋼矢板の圧入長(引抜き長)であり、鋼矢板長とは異なる。
 2. 圧入 ($N_{max} \leq 50$) は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用するものとし、 $N_{max} \leq 25$ においても転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する場合は適用出来る。
 3. 最小圧入長は、4.0m以上を標準とする。
 4. 圧入 ($600 < N_{max}$) は別途考慮する。

2. 施工概要

2-1 施工フロー

施工フローは、下記を標準とする。

(1) 圧入 ($N_{max} \leq 25$)



※ 施工機械足場用の敷鉄板の施工を含む。
 (注) 本歩掛で対応しているのは、実務部分である。
 図2-1 施工フロー(圧入($N_{max} \leq 25$))

II-5-②-38

②-3 油圧圧入引抜き

1. 適用範囲

本資料は、油圧式杭圧入引抜き機による鋼矢板の圧入（ $N_{max} \leq 600$ ）及び引抜き施工に適用する。
 なお、継矢板の施工法は、先行する鋼矢板を圧入後、それに接続する鋼矢板を鉛直に建込んだ状態で継手部を溶接するものである。なお、可撓性鋼矢板については適用外とする。

$N_{max} \leq 50$ での施工における油圧式杭圧入引抜き機の反力チャックのつかみ代は次のとおりとする。

- ・ II, III, IV, V_L, VI_L, II w, III w, IV w 型の場合：500mmを標準とする。
- ・ ~~ハット形鋼矢板(10H, 25H, 45H, 50H型)~~の場合：550mmを標準とする。

$N_{max} \leq 50$ での施工における布掘深さ（又は、地表面よりの余裕高さ）は反力チャックのつかみ代と同じ幅を標準とする。なお、 $50 < N_{max} \leq 600$ の施工における布掘深さ（又は、地表面よりの余裕高さ）は、1,000mmを標準とする。

また、鋼矢板型式毎の圧入長（引抜き長）の適用範囲は、次表を標準とし、これにより難しい場合は、別途考慮する。

表1.1 圧入長(引抜き長) (m)

鋼矢板の型式	圧入長(引抜き長)									
	II型	III型	IV型	V _L 型	VI _L 型	II w型	III w, IV w型	10H型	25H型	45H, 50H型
圧入長	$N_{max} \leq 25$	10以下	15以下	20以下	25以下	12以下	25以下	25以下	12以下	25以下
	$N_{max} \leq 50$	12以下	18以下	20以下	25以下	14以下	25以下	25以下	14以下	25以下
	$50 < N_{max} \leq 180$	10以下	15以下	20以下	25以下	12以下	25以下	25以下	12以下	25以下
$180 < N_{max} \leq 600$	10以下	15以下	20以下	25以下	12以下	25以下	25以下	—	—	—
引抜き長	12以下	18以下	20以下	25以下	25以下	—	—	—	—	—

- (注) 1. 圧入長(引抜き長)とは、地表面よりの鋼矢板の圧入長(引抜き長)であり、鋼矢板長とは異なる。
 2. 圧入 ($N_{max} \leq 50$) は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用するものとし、 $N_{max} \leq 25$ においても転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する場合は適用出来る。
 3. 最小圧入長は、4.0m以上を標準とする。
 4. 圧入 ($600 < N_{max}$) は別途考慮する。

現行どおり

記載の修正
(歩掛改定に伴う)

積算上の注意事項			(控え頁) 1/16
----------	--	--	---------------

改正理由	一部改正	改 正 現 行	
------	------	------------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

3. 施 工 歩 掛

3-1 機種を選定

(1) 油圧式杭圧入引抜き機

油圧式杭圧入引抜き機の規格は、次表を標準とする。

表3.1 機種を選定

作業の種類	圧 入			引 抜 き
	Nmax ≤ 25	Nmax ≤ 50	50 < Nmax ≤ 600	
最大 N 値				-
鋼 矢 板 型 式	II・III・IV型	エンジン式ユニット・ 排出ガス対策型(2014年規制) 圧入力 800kN 引抜き力 900kN	エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 普通鋼矢板用 圧入力 800kN 引抜き力 900kN	エンジン式ユニット・ 排出ガス対策型 (2014年規制) 圧入力 800kN 引抜き力 900kN
	VI・VII型	エンジン式ユニット・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 広幅鋼矢板用 圧入力 1,000kN 引抜き力 1,100kN	エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 広幅鋼矢板用 圧入力 800kN 引抜き力 1,000kN	エンジン式ユニット・ 排出ガス対策型 (第3次基準値) 広幅鋼矢板用 圧入力 1,000kN 引抜き力 1,100kN
	IIw・IIIw・IVw型			-
	10H・25H型	エンジン式ユニット・ 排出ガス対策型(2014年規制) ハット形鋼矢板900mm用 圧入力 1,000kN 引抜き力 1,200kN	-	-

(注) 圧入 (Nmax ≤ 50) は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用するものとし、Nmax ≤ 25においても転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する場合は適用できる。

3. 施 工 歩 掛

3-1 機種を選定

(1) 油圧式杭圧入引抜き機

油圧式杭圧入引抜き機の規格は、次表を標準とする。

表3.1 機種を選定

作業の種類	圧 入				引 抜 き
	Nmax ≤ 25	Nmax ≤ 50	50 < Nmax ≤ 180	180 < Nmax ≤ 600	
最大 N 値					-
鋼 矢 板 型 式	II・III・IV型	エンジン式ユニット・ 排出ガス対策型(2014年規制) 圧入力 800kN 引抜き力 900kN	エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 普通鋼矢板用 圧入力 800kN 引抜き力 900kN	エンジン式ユニット・ 排出ガス対策型 (2014年規制) 圧入力 800kN 引抜き力 900kN	エンジン式ユニット・ 排出ガス対策型 (2014年規制) 圧入力 800kN 引抜き力 900kN
	VI・VII型	エンジン式ユニット・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 広幅鋼矢板用 圧入力 1,000kN 引抜き力 1,100kN	エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 広幅鋼矢板用 圧入力 800kN 引抜き力 1,000kN	エンジン式ユニット・ 排出ガス対策型 (第3次基準値) 広幅鋼矢板用 圧入力 1,000kN 引抜き力 1,100kN	エンジン式ユニット・ 排出ガス対策型 (第3次基準値) 広幅鋼矢板用 圧入力 1,000kN 引抜き力 1,100kN
	IIw・IIIw・IVw型				-
	10H・25H型	エンジン式ユニット・ 排出ガス対策型(2014年規制) ハット形鋼矢板900mm用 圧入力 1,000kN 引抜き力 1,200kN		エンジン式ユニット (硬質地盤専用)・ 排出ガス対策型 (2014年規制) ハット形鋼矢板 900mm用 圧入力 800kN 引抜き力 900kN	-
45H・50H型			-	-	-

(注) 圧入 (Nmax ≤ 50) は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用するものとし、Nmax ≤ 25においても転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する場合は適用できる。

記載の修正
(歩掛改定に伴う)

II-5-②-40

積算上の注意事項		(控え頁)	2/16
----------	--	-------	------

改 正 理 由	一部改正	改 正	備 考
		現 行	

3-2 日当り編成人員
(1) 油圧圧入引抜き工の日当り編成人員は、次表を標準とする。

表3.3 日当り編成人員 (人/日)

作業の種類	土木一般世話役	特殊作業員	とび工	溶接工(注)2
圧入(Nmax≤25)	1	1	2	2
圧入(Nmax≤50)	1	1	2	2
圧入(50<Nmax≤600)	1	1	2	—
引抜き	1	1	2	—

(注) 1. 圧入(Nmax≤50)は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。
2. 溶接工は継ぎ板を施工する場合のみ計上する。

(2) 水上施工の1船団に対する船舶作業の日当り編成人員は、次表を標準とする。

表3.4 船舶作業の日当り編成人員 (人/日)

職 種	クレーン付台船	引 船
高級船員	1	1

(注) 1. 船員は、休日以外の休止日については、共通仮設費の準備費における繋船費として計上する。
2. 潜水士が必要な場合は、船員と同様な方法で別途計上する。
3. 海上及び港湾工事で、上表により難しい場合は別途考慮する。
4. 上表は、圧入又は引抜き作業の配置人員であり、搬入、搬出等の回航は共通仮設費の運搬費として計上する。

3-3 日当り施工枚数
(1) 圧入、引抜き(継施工なし)
鋼矢板の圧入及び引抜き作業における日当り施工枚数(N)は、表3.5～表3.12を標準とする。
1) 圧入(Nmax≤25)

表3.5 日当り施工枚数(N) (枚/日)

鋼矢板型式	圧入長							
	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下	
Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型	35	28	22	18	15	13	—	
V _L ・VI型	31	24	19	16	13	11	9.7	
Ⅱw・Ⅲw・Ⅳw型	31	24	19	15	13	11	9.5	
10H・25H型	28	21	17	14	11	9.3	8.3	

(注) 1. 圧入長とは、地表面よりの鋼矢板の圧入長であり、鋼矢板長とは異なる。
2. 鋼矢板型式毎の適用範囲は、表1.1による。
3. 最小圧入長は、4.0m以上を標準とする。
4. 日当り施工枚数には、敷鉄板の施工手間が含まれている。

Ⅱ-5-②-42

現行どおり

3-3 日当り施工枚数
(1) 圧入、引抜き(継施工なし)
鋼矢板の圧入及び引抜き作業における日当り施工枚数(N)は、表3.5～表3.12を標準とする。
1) 圧入(Nmax≤25)

表3.4 船舶作業の日当り編成人員 (人/日)

職 種	クレーン付台船	引 船
高級船員	1	1

(注) 1. 船員は、休日以外の休止日については、共通仮設費の準備費における繋船費として計上する。
2. 潜水士が必要な場合は、船員と同様な方法で別途計上する。
3. 海上及び港湾工事で、上表により難しい場合は別途考慮する。
4. 上表は、圧入又は引抜き作業の配置人員であり、搬入、搬出等の回航・えい航は共通仮設費の運搬費として計上する。

表3.5 日当り施工枚数(N) (枚/日)

鋼矢板型式	圧入長							
	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下	
Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型	34	27	21	18	15	12	—	
V _L ・VI型	30	23	18	15	13	11	9.4	
Ⅱw・Ⅲw・Ⅳw型	30	23	18	15	12	10	9.2	
10H・25H・45H・50H型	27	21	16	13	11	9.0	8.0	

(注) 1. 圧入長とは、地表面よりの鋼矢板の圧入長であり、鋼矢板長とは異なる。
2. 鋼矢板型式毎の適用範囲は、表1.1による。
3. 最小圧入長は、4.0m以上を標準とする。
4. 日当り施工枚数には、敷鉄板の施工手間が含まれている。

記載の修正
(歩掛改定に伴う)

(控え頁)

3/16

積算上の注意事項

改正理由	一部改正	改 正 — 現 行	
------	------	-----------------	--

現 行	改 正	備 考																																																																																																																																																																																								
<p>2) 圧入 (Nmax ≤ 50)</p> <p style="text-align: center;">表3.6 日当り施工枚数(N) (枚/日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>鋼矢板型式</th> <th>圧入長 6m 以下</th> <th>9m 以下</th> <th>12m 以下</th> <th>15m 以下</th> <th>19m 以下</th> <th>23m 以下</th> <th>25m 以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>II・III・IV型</td> <td>24 (27)</td> <td>19 (22)</td> <td>16 (18)</td> <td>13 (15)</td> <td>11 (13)</td> <td>9.3 (11)</td> <td>— (—)</td> </tr> <tr> <td>VI・VII型</td> <td>23 (25)</td> <td>18 (20)</td> <td>14 (16)</td> <td>12 (14)</td> <td>10 (12)</td> <td>8.4 (9.9)</td> <td>7.5 (8.9)</td> </tr> <tr> <td>IIw・IIIw・IVw型</td> <td>23 (25)</td> <td>18 (20)</td> <td>14 (16)</td> <td>12 (14)</td> <td>9.8 (11)</td> <td>8.3 (9.7)</td> <td>7.4 (8.7)</td> </tr> <tr> <td>10H・25H型</td> <td>21 (23)</td> <td>16 (19)</td> <td>13 (15)</td> <td>11 (12)</td> <td>8.7 (10)</td> <td>7.3 (8.8)</td> <td>6.5 (7.8)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 圧入 (Nmax ≤ 50) は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。 2. 圧入長とは、地表面よりの鋼矢板の圧入長であり、鋼矢板長とは異なる。 3. 鋼矢板型式毎の適用範囲は、表1. 1による。 4. 最小圧入長は、4. 0m以上を標準とする。 5. 上 段：25 < Nmax ≤ 50 下段()書き：Nmax ≤ 25で、転石等により、やむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合。 6. 日当り施工枚数には、敷鉄板の施工時間が含まれている。</p> <p>3) 圧入 (50 < Nmax ≤ 100)</p> <p style="text-align: center;">表3.7 日当り施工枚数(N) (枚/日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>鋼矢板型式</th> <th>圧入長 6m 以下</th> <th>9m 以下</th> <th>12m 以下</th> <th>15m 以下</th> <th>19m 以下</th> <th>23m 以下</th> <th>25m 以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>II・III・IV型</td> <td>13</td> <td>9.2</td> <td>6.9</td> <td>5.5</td> <td>4.4</td> <td>3.6</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>VI・VII型</td> <td>12</td> <td>8.2</td> <td>6.1</td> <td>4.8</td> <td>3.9</td> <td>3.2</td> <td>2.8</td> </tr> <tr> <td>IIw・IIIw・IVw型</td> <td>12</td> <td>8.2</td> <td>6.1</td> <td>4.8</td> <td>3.9</td> <td>3.2</td> <td>2.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 圧入長とは、地表面よりの鋼矢板の圧入長であり、鋼矢板長とは異なる。 2. 鋼矢板型式毎の適用範囲は、表1. 1による。 3. 最小圧入長は、4. 0m以上を標準とする。 4. 日当り施工枚数には、敷鉄板の施工時間が含まれている。 5. 本歩掛は、オーガによる先行掘削の有無にかかわらず適用出来る。</p> <p>4) 圧入 (100 < Nmax ≤ 180)</p> <p style="text-align: center;">表3.8 日当り施工枚数(N) (枚/日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>鋼矢板型式</th> <th>圧入長 6m 以下</th> <th>9m 以下</th> <th>12m 以下</th> <th>15m 以下</th> <th>19m 以下</th> <th>23m 以下</th> <th>25m 以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>II・III・IV型</td> <td>11</td> <td>7.8</td> <td>5.7</td> <td>4.6</td> <td>3.7</td> <td>3.0</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>VI・VII型</td> <td>9.7</td> <td>6.8</td> <td>5.0</td> <td>4.0</td> <td>3.2</td> <td>2.6</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td>IIw・IIIw・IVw型</td> <td>9.7</td> <td>6.8</td> <td>5.0</td> <td>4.0</td> <td>3.2</td> <td>2.6</td> <td>2.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 圧入長とは、地表面よりの鋼矢板の圧入長であり、鋼矢板長とは異なる。 2. 鋼矢板型式毎の適用範囲は、表1. 1による。 3. 最小圧入長は、4. 0m以上を標準とする。 4. 日当り施工枚数には、敷鉄板の施工時間が含まれている。 5. 本歩掛は、オーガによる先行掘削の有無にかかわらず適用出来る。</p> <p style="text-align: center;">II-5-②-43</p>	鋼矢板型式	圧入長 6m 以下	9m 以下	12m 以下	15m 以下	19m 以下	23m 以下	25m 以下	II・III・IV型	24 (27)	19 (22)	16 (18)	13 (15)	11 (13)	9.3 (11)	— (—)	VI・VII型	23 (25)	18 (20)	14 (16)	12 (14)	10 (12)	8.4 (9.9)	7.5 (8.9)	IIw・IIIw・IVw型	23 (25)	18 (20)	14 (16)	12 (14)	9.8 (11)	8.3 (9.7)	7.4 (8.7)	10H・25H型	21 (23)	16 (19)	13 (15)	11 (12)	8.7 (10)	7.3 (8.8)	6.5 (7.8)	鋼矢板型式	圧入長 6m 以下	9m 以下	12m 以下	15m 以下	19m 以下	23m 以下	25m 以下	II・III・IV型	13	9.2	6.9	5.5	4.4	3.6	—	VI・VII型	12	8.2	6.1	4.8	3.9	3.2	2.8	IIw・IIIw・IVw型	12	8.2	6.1	4.8	3.9	3.2	2.8	鋼矢板型式	圧入長 6m 以下	9m 以下	12m 以下	15m 以下	19m 以下	23m 以下	25m 以下	II・III・IV型	11	7.8	5.7	4.6	3.7	3.0	—	VI・VII型	9.7	6.8	5.0	4.0	3.2	2.6	2.3	IIw・IIIw・IVw型	9.7	6.8	5.0	4.0	3.2	2.6	2.3	<p>2) 圧入 (Nmax ≤ 50)</p> <p style="text-align: center;">表3.6 日当り施工枚数(N) (枚/日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>鋼矢板型式</th> <th>圧入長 6m 以下</th> <th>9m 以下</th> <th>12m 以下</th> <th>15m 以下</th> <th>19m 以下</th> <th>23m 以下</th> <th>25m 以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>II・III・IV型</td> <td>23 (26)</td> <td>19 (21)</td> <td>15 (17)</td> <td>13 (14)</td> <td>11 (12)</td> <td>9.0 (10)</td> <td>— (—)</td> </tr> <tr> <td>VI・VII型</td> <td>22 (24)</td> <td>17 (20)</td> <td>14 (16)</td> <td>12 (13)</td> <td>10 (11)</td> <td>9.7 (11)</td> <td>8.1 (9.6)</td> </tr> <tr> <td>IIw・IIIw・IVw型</td> <td>22 (24)</td> <td>17 (19)</td> <td>14 (16)</td> <td>11 (13)</td> <td>11 (11)</td> <td>9.5 (9.4)</td> <td>8.0 (8.5)</td> </tr> <tr> <td>10H・25H・45H・50H型</td> <td>20 (23)</td> <td>16 (18)</td> <td>12 (14)</td> <td>10 (12)</td> <td>8.5 (10)</td> <td>7.1 (8.5)</td> <td>6.3 (7.6)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 圧入 (Nmax ≤ 50) は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。 2. 圧入長とは、地表面よりの鋼矢板の圧入長であり、鋼矢板長とは異なる。 3. 鋼矢板型式毎の適用範囲は、表1. 1による。 4. 最小圧入長は、4. 0m以上を標準とする。 5. 上 段：25 < Nmax ≤ 50 下段()書き：Nmax ≤ 25で、転石等により、やむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合。 6. 日当り施工枚数には、敷鉄板の施工時間が含まれている。</p> <p>3) 圧入 (50 < Nmax ≤ 100)</p> <p style="text-align: center;">表3.7 日当り施工枚数(N) (枚/日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>鋼矢板型式</th> <th>圧入長 6m 以下</th> <th>9m 以下</th> <th>12m 以下</th> <th>15m 以下</th> <th>19m 以下</th> <th>23m 以下</th> <th>25m 以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>II・III・IV型</td> <td>13</td> <td>8.9</td> <td>6.7</td> <td>5.3</td> <td>4.3</td> <td>3.5</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>VI・VII型</td> <td>11</td> <td>7.9</td> <td>5.9</td> <td>4.7</td> <td>3.8</td> <td>3.1</td> <td>2.7</td> </tr> <tr> <td>IIw・IIIw・IVw型</td> <td>11</td> <td>7.9</td> <td>5.9</td> <td>4.7</td> <td>3.8</td> <td>3.1</td> <td>2.7</td> </tr> <tr> <td>10H・25H型</td> <td>9.7</td> <td>6.8</td> <td>5.0</td> <td>4.0</td> <td>3.2</td> <td>2.6</td> <td>2.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 圧入長とは、地表面よりの鋼矢板の圧入長であり、鋼矢板長とは異なる。 2. 鋼矢板型式毎の適用範囲は、表1. 1による。 3. 最小圧入長は、4. 0m以上を標準とする。 4. 日当り施工枚数には、敷鉄板の施工時間が含まれている。 5. 本歩掛は、オーガによる先行掘削の有無にかかわらず適用出来る。</p>	鋼矢板型式	圧入長 6m 以下	9m 以下	12m 以下	15m 以下	19m 以下	23m 以下	25m 以下	II・III・IV型	23 (26)	19 (21)	15 (17)	13 (14)	11 (12)	9.0 (10)	— (—)	VI・VII型	22 (24)	17 (20)	14 (16)	12 (13)	10 (11)	9.7 (11)	8.1 (9.6)	IIw・IIIw・IVw型	22 (24)	17 (19)	14 (16)	11 (13)	11 (11)	9.5 (9.4)	8.0 (8.5)	10H・25H・45H・50H型	20 (23)	16 (18)	12 (14)	10 (12)	8.5 (10)	7.1 (8.5)	6.3 (7.6)	鋼矢板型式	圧入長 6m 以下	9m 以下	12m 以下	15m 以下	19m 以下	23m 以下	25m 以下	II・III・IV型	13	8.9	6.7	5.3	4.3	3.5	—	VI・VII型	11	7.9	5.9	4.7	3.8	3.1	2.7	IIw・IIIw・IVw型	11	7.9	5.9	4.7	3.8	3.1	2.7	10H・25H型	9.7	6.8	5.0	4.0	3.2	2.6	2.3	<p style="text-align: center;">記載の修正 (歩掛改定に伴う)</p>
鋼矢板型式	圧入長 6m 以下	9m 以下	12m 以下	15m 以下	19m 以下	23m 以下	25m 以下																																																																																																																																																																																			
II・III・IV型	24 (27)	19 (22)	16 (18)	13 (15)	11 (13)	9.3 (11)	— (—)																																																																																																																																																																																			
VI・VII型	23 (25)	18 (20)	14 (16)	12 (14)	10 (12)	8.4 (9.9)	7.5 (8.9)																																																																																																																																																																																			
IIw・IIIw・IVw型	23 (25)	18 (20)	14 (16)	12 (14)	9.8 (11)	8.3 (9.7)	7.4 (8.7)																																																																																																																																																																																			
10H・25H型	21 (23)	16 (19)	13 (15)	11 (12)	8.7 (10)	7.3 (8.8)	6.5 (7.8)																																																																																																																																																																																			
鋼矢板型式	圧入長 6m 以下	9m 以下	12m 以下	15m 以下	19m 以下	23m 以下	25m 以下																																																																																																																																																																																			
II・III・IV型	13	9.2	6.9	5.5	4.4	3.6	—																																																																																																																																																																																			
VI・VII型	12	8.2	6.1	4.8	3.9	3.2	2.8																																																																																																																																																																																			
IIw・IIIw・IVw型	12	8.2	6.1	4.8	3.9	3.2	2.8																																																																																																																																																																																			
鋼矢板型式	圧入長 6m 以下	9m 以下	12m 以下	15m 以下	19m 以下	23m 以下	25m 以下																																																																																																																																																																																			
II・III・IV型	11	7.8	5.7	4.6	3.7	3.0	—																																																																																																																																																																																			
VI・VII型	9.7	6.8	5.0	4.0	3.2	2.6	2.3																																																																																																																																																																																			
IIw・IIIw・IVw型	9.7	6.8	5.0	4.0	3.2	2.6	2.3																																																																																																																																																																																			
鋼矢板型式	圧入長 6m 以下	9m 以下	12m 以下	15m 以下	19m 以下	23m 以下	25m 以下																																																																																																																																																																																			
II・III・IV型	23 (26)	19 (21)	15 (17)	13 (14)	11 (12)	9.0 (10)	— (—)																																																																																																																																																																																			
VI・VII型	22 (24)	17 (20)	14 (16)	12 (13)	10 (11)	9.7 (11)	8.1 (9.6)																																																																																																																																																																																			
IIw・IIIw・IVw型	22 (24)	17 (19)	14 (16)	11 (13)	11 (11)	9.5 (9.4)	8.0 (8.5)																																																																																																																																																																																			
10H・25H・45H・50H型	20 (23)	16 (18)	12 (14)	10 (12)	8.5 (10)	7.1 (8.5)	6.3 (7.6)																																																																																																																																																																																			
鋼矢板型式	圧入長 6m 以下	9m 以下	12m 以下	15m 以下	19m 以下	23m 以下	25m 以下																																																																																																																																																																																			
II・III・IV型	13	8.9	6.7	5.3	4.3	3.5	—																																																																																																																																																																																			
VI・VII型	11	7.9	5.9	4.7	3.8	3.1	2.7																																																																																																																																																																																			
IIw・IIIw・IVw型	11	7.9	5.9	4.7	3.8	3.1	2.7																																																																																																																																																																																			
10H・25H型	9.7	6.8	5.0	4.0	3.2	2.6	2.3																																																																																																																																																																																			
積算上の注意事項		<p style="text-align: center;">次頁へ移動</p>																																																																																																																																																																																								

改正理由	一部改正	改 正	
		現 行	

現	行	改	正	備 考
---	---	---	---	-----

5) 圧入 (180 < Nmax ≤ 250)

表3.9 日当り施工枚数(N) (枚/日)

鋼矢板型式	圧入長 6m 以下	9m 以下	12m 以下	15m 以下	19m 以下	23m 以下	25m 以下
II・III・IV型	11	7.4	5.4	4.3	3.5	2.8	—
V _L ・VI型	9.4	6.5	4.8	3.7	3.0	2.5	2.2
II w・III w・IV w型	9.4	6.5	4.8	3.7	3.0	2.5	2.2

- (注) 1. 圧入長とは、地表面よりの鋼矢板の圧入長であり、鋼矢板長とは異なる。
 2. 鋼矢板型式毎の適用範囲は、表1. 1による。
 3. 最小圧入長は、4. 0m以上を標準とする。
 4. 日当り施工枚数には、敷鉄板の施工時間が含まれている。
 5. 本歩掛は、オーガによる先行掘削の有無にかかわらず適用出来る。

6) 圧入 (250 < Nmax ≤ 375)

表3.10 日当り施工枚数(N) (枚/日)

鋼矢板型式	圧入長 6m 以下	9m 以下	12m 以下	15m 以下	19m 以下	23m 以下	25m 以下
II・III・IV型	9.3	6.4	4.7	3.7	3.0	2.4	—
V _L ・VI型	8.1	5.6	4.1	3.2	2.6	2.1	1.8
II w・III w・IV w型	8.1	5.6	4.1	3.2	2.6	2.1	1.8

- (注) 1. 圧入長とは、地表面よりの鋼矢板の圧入長であり、鋼矢板長とは異なる。
 2. 鋼矢板型式毎の適用範囲は、表1. 1による。
 3. 最小圧入長は、4. 0m以上を標準とする。
 4. 日当り施工枚数には、敷鉄板の施工時間が含まれている。
 5. 本歩掛は、オーガによる先行掘削の有無にかかわらず適用出来る。

7) 圧入 (375 < Nmax ≤ 600)

表3.11 日当り施工枚数(N) (枚/日)

鋼矢板型式	圧入長 6m 以下	9m 以下	12m 以下	15m 以下	19m 以下	23m 以下	25m 以下
II・III・IV型	7.6	5.2	3.8	3.0	2.4	1.9	—
V _L ・VI型	6.6	4.5	3.3	2.6	2.1	1.7	1.5
II w・III w・IV w型	6.6	4.5	3.3	2.6	2.1	1.7	1.5

- (注) 1. 圧入長とは、地表面よりの鋼矢板の圧入長であり、鋼矢板長とは異なる。
 2. 鋼矢板型式毎の適用範囲は、表1. 1による。
 3. 最小圧入長は、4. 0m以上を標準とする。
 4. 日当り施工枚数には、敷鉄板の施工時間が含まれている。
 5. 本歩掛は、オーガによる先行掘削の有無にかかわらず適用出来る。

II-5-②-44

前頁から移動

→

→次頁へ移動

4) 圧入 (100 < Nmax ≤ 180)

表3.8 日当り施工枚数(N) (枚/日)

鋼矢板型式	圧入長 6m 以下	9m 以下	12m 以下	15m 以下	19m 以下	23m 以下	25m 以下
II・III・IV型	11	7.5	5.6	4.4	3.6	2.9	—
V _L ・VI型	9.4	6.6	4.9	3.9	3.1	2.5	2.2
II w・III w・IV w型	9.4	6.6	4.9	3.9	3.1	2.5	2.2
10H・25H型	8.1	5.7	4.2	3.3	2.6	2.2	1.9

- (注) 1. 圧入長とは、地表面よりの鋼矢板の圧入長であり、鋼矢板長とは異なる。
 2. 鋼矢板型式毎の適用範囲は、表1. 1による。
 3. 最小圧入長は、4. 0m以上を標準とする。
 4. 日当り施工枚数には、敷鉄板の施工時間が含まれている。
 5. 本歩掛は、オーガによる先行掘削の有無にかかわらず適用出来る。

5) 圧入 (180 < Nmax ≤ 250)

表3.9 日当り施工枚数(N) (枚/日)

鋼矢板型式	圧入長 6m 以下	9m 以下	12m 以下	15m 以下	19m 以下	23m 以下	25m 以下
II・III・IV型	10	7.2	5.3	4.2	3.3	2.7	—
V _L ・VI型	9.1	6.3	4.6	3.6	2.9	2.4	2.1
II w・III w・IV w型	9.1	6.3	4.6	3.6	2.9	2.4	2.1

- (注) 1. 圧入長とは、地表面よりの鋼矢板の圧入長であり、鋼矢板長とは異なる。
 2. 鋼矢板型式毎の適用範囲は、表1. 1による。
 3. 最小圧入長は、4. 0m以上を標準とする。
 4. 日当り施工枚数には、敷鉄板の施工時間が含まれている。
 5. 本歩掛は、オーガによる先行掘削の有無にかかわらず適用出来る。

6) 圧入 (250 < Nmax ≤ 375)

表3.10 日当り施工枚数(N) (枚/日)

鋼矢板型式	圧入長 6m 以下	9m 以下	12m 以下	15m 以下	19m 以下	23m 以下	25m 以下
II・III・IV型	9.0	6.2	4.6	3.6	2.9	2.3	—
V _L ・VI型	7.9	5.4	4.0	3.1	2.5	2.0	1.8
II w・III w・IV w型	7.9	5.4	4.0	3.1	2.5	2.0	1.8

- (注) 1. 圧入長とは、地表面よりの鋼矢板の圧入長であり、鋼矢板長とは異なる。
 2. 鋼矢板型式毎の適用範囲は、表1. 1による。
 3. 最小圧入長は、4. 0m以上を標準とする。
 4. 日当り施工枚数には、敷鉄板の施工時間が含まれている。
 5. 本歩掛は、オーガによる先行掘削の有無にかかわらず適用出来る。

記載の修正
(歩掛改定に伴う)

積算上の注意事項		(控え頁)
		5/16

改 正 理 由	一部改正	改 正	
		現 行	

現 行	改 正	備 考																																																																																																																																																								
<p>8) 引抜き</p> <p style="text-align: center;">表3.12 日当り施工枚数(N) (枚/日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>引抜き式</th> <th>6m以下</th> <th>9m以下</th> <th>12m以下</th> <th>15m以下</th> <th>19m以下</th> <th>23m以下</th> <th>25m以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>II・III・IV・V_L・VI_L型</td> <td>58</td> <td>48</td> <td>40</td> <td>34</td> <td>30</td> <td>25</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 引抜きとは、地表面より鋼矢板の引抜きであり、鋼矢板長とは異なる。 2. 鋼矢板型式毎の適用範囲は、表1.1による。 3. 最小引抜き長は、4.0m以上を標準とする。 4. 日当り施工枚数には、敷鉄板の施工手間が含まれている。</p> <p>(2) 圧入（継施工あり） 鋼矢板1枚につき1箇所継施工（圧入）する場合の日当り施工枚数（N）は、表3.13～表3.14を標準とする。 鋼矢板1枚につき2箇所以上継施工を行う場合は、表3.15の補正係数を、表3.13～表3.14の枚数に乗じて、日当り施工枚数を求める。 (注) 鋼矢板1枚当りX箇所継ぐ場合の日当り施工枚数N' = N × F（F：補正係数） 日当り施工枚数N'が10以上の場合は、小数第1位を四捨五入し、整数とする。 日当り施工枚数N'が10未満の場合は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位とする。</p> <p>1) 圧入継施工（N_{max} ≤ 25）</p> <p style="text-align: center;">表3.13 日当り継施工枚数(N) (枚/日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>圧入式</th> <th>6m以下</th> <th>9m以下</th> <th>12m以下</th> <th>15m以下</th> <th>19m以下</th> <th>23m以下</th> <th>25m以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>II型</td> <td>17</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>III型</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>IV型</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>9.5</td> <td>8.6</td> <td>7.9</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>V_L型</td> <td>7.6</td> <td>7.1</td> <td>6.6</td> <td>6.2</td> <td>5.7</td> <td>5.2</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>VI_L型</td> <td>6.4</td> <td>6.0</td> <td>5.6</td> <td>5.3</td> <td>5.0</td> <td>4.6</td> <td>4.4</td> </tr> <tr> <td>IIw型</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>IIIw型</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>9.7</td> <td>8.6</td> <td>7.9</td> <td>7.1</td> <td>6.2</td> </tr> <tr> <td>IVw型</td> <td>9.2</td> <td>8.4</td> <td>7.7</td> <td>7.0</td> <td>6.5</td> <td>6.0</td> <td>5.3</td> </tr> <tr> <td>10H型</td> <td>8.4</td> <td>7.6</td> <td>7.0</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>25H型</td> <td>6.8</td> <td>6.3</td> <td>5.9</td> <td>5.5</td> <td>5.0</td> <td>4.5</td> <td>4.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 圧入長とは、地表面よりの鋼矢板の圧入長であり、鋼矢板長とは異なる。 2. 鋼矢板型式毎の適用範囲は、表1.1による。 3. 最小圧入長は、4.0m以上を標準とする。 4. 日当り継施工枚数には、敷鉄板の施工手間が含まれている。</p> <p style="text-align: center;">II-5-②-45</p>	引抜き式	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下	II・III・IV・V _L ・VI _L 型	58	48	40	34	30	25	23	圧入式	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下	II型	17	15	13	—	—	—	—	III型	14	13	11	10	—	—	—	IV型	13	12	10	9.5	8.6	7.9	—	V _L 型	7.6	7.1	6.6	6.2	5.7	5.2	5.0	VI _L 型	6.4	6.0	5.6	5.3	5.0	4.6	4.4	IIw型	15	13	11	—	—	—	—	IIIw型	12	11	9.7	8.6	7.9	7.1	6.2	IVw型	9.2	8.4	7.7	7.0	6.5	6.0	5.3	10H型	8.4	7.6	7.0	—	—	—	—	25H型	6.8	6.3	5.9	5.5	5.0	4.5	4.2	<p>7) 圧入（375 < N_{max} ≤ 600）</p> <p style="text-align: center;">表3.11 日当り施工枚数(N) (枚/日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>圧入式</th> <th>6m以下</th> <th>9m以下</th> <th>12m以下</th> <th>15m以下</th> <th>19m以下</th> <th>23m以下</th> <th>25m以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>II・III・IV型</td> <td>7.3</td> <td>5.0</td> <td>3.7</td> <td>2.9</td> <td>2.3</td> <td>1.9</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>V_L・VI_L型</td> <td>6.4</td> <td>4.4</td> <td>3.2</td> <td>2.5</td> <td>2.0</td> <td>1.6</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>IIw・IIIw・IVw型</td> <td>6.4</td> <td>4.4</td> <td>3.2</td> <td>2.5</td> <td>2.0</td> <td>1.6</td> <td>1.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 圧入長とは、地表面よりの鋼矢板の圧入長であり、鋼矢板長とは異なる。 2. 鋼矢板型式毎の適用範囲は、表1.1による。 3. 最小圧入長は、4.0m以上を標準とする。 4. 日当り施工枚数には、敷鉄板の施工手間が含まれている。 5. 本歩掛は、オーガによる先行掘削の有無にかかわらず適用出来る。</p> <p>8) 引抜き</p> <p style="text-align: center;">表3.12 日当り施工枚数(N) (枚/日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>引抜き式</th> <th>6m以下</th> <th>9m以下</th> <th>12m以下</th> <th>15m以下</th> <th>19m以下</th> <th>23m以下</th> <th>25m以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>II・III・IV・V_L・VI_L型</td> <td>56</td> <td>47</td> <td>39</td> <td>33</td> <td>29</td> <td>25</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 引抜きとは、地表面より鋼矢板の引抜きであり、鋼矢板長とは異なる。 2. 鋼矢板型式毎の適用範囲は、表1.1による。 3. 最小引抜き長は、4.0m以上を標準とする。 4. 日当り施工枚数には、敷鉄板の施工手間が含まれている。</p>	圧入式	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下	II・III・IV型	7.3	5.0	3.7	2.9	2.3	1.9	—	V _L ・VI _L 型	6.4	4.4	3.2	2.5	2.0	1.6	1.4	IIw・IIIw・IVw型	6.4	4.4	3.2	2.5	2.0	1.6	1.4	引抜き式	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下	II・III・IV・V _L ・VI _L 型	56	47	39	33	29	25	22	<p>記載の修正 (歩掛改定に伴う)</p>
引抜き式	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下																																																																																																																																																			
II・III・IV・V _L ・VI _L 型	58	48	40	34	30	25	23																																																																																																																																																			
圧入式	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下																																																																																																																																																			
II型	17	15	13	—	—	—	—																																																																																																																																																			
III型	14	13	11	10	—	—	—																																																																																																																																																			
IV型	13	12	10	9.5	8.6	7.9	—																																																																																																																																																			
V _L 型	7.6	7.1	6.6	6.2	5.7	5.2	5.0																																																																																																																																																			
VI _L 型	6.4	6.0	5.6	5.3	5.0	4.6	4.4																																																																																																																																																			
IIw型	15	13	11	—	—	—	—																																																																																																																																																			
IIIw型	12	11	9.7	8.6	7.9	7.1	6.2																																																																																																																																																			
IVw型	9.2	8.4	7.7	7.0	6.5	6.0	5.3																																																																																																																																																			
10H型	8.4	7.6	7.0	—	—	—	—																																																																																																																																																			
25H型	6.8	6.3	5.9	5.5	5.0	4.5	4.2																																																																																																																																																			
圧入式	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下																																																																																																																																																			
II・III・IV型	7.3	5.0	3.7	2.9	2.3	1.9	—																																																																																																																																																			
V _L ・VI _L 型	6.4	4.4	3.2	2.5	2.0	1.6	1.4																																																																																																																																																			
IIw・IIIw・IVw型	6.4	4.4	3.2	2.5	2.0	1.6	1.4																																																																																																																																																			
引抜き式	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下																																																																																																																																																			
II・III・IV・V _L ・VI _L 型	56	47	39	33	29	25	22																																																																																																																																																			

前頁から移動

→

次頁へ移動

積算上の注意事項

(控え頁)
6/16

工 種	油圧圧入引抜工
-----	---------

改正理由	一部改正	改 正 — 現 行																																																																																																																														
現 行	改 正		備 考																																																																																																																													
	前頁から移動 →	<p>(2) 圧入（継施工あり） 鋼矢板1枚につき1箇所継施工（圧入）する場合の日当り施工枚数（N）は、表3.13～表3.14を標準とする。</p> <p>鋼矢板1枚につき2箇所以上継施工を行う場合は、表3.15の補正係数を、表3.13～表3.14の枚数に乗じて、日当り継施工枚数を求める。</p> <p>（注）鋼矢板1枚当りX箇所継ぐ場合の日当り継施工枚数N' = N × F（F：補正係数） 日当り継施工枚数N' が10以上の場合は、小数第1位を四捨五入し、整数とする。 日当り継施工枚数N' が10未満の場合は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位とする。</p> <p>1) 圧入継施工（Nmax ≤ 25）</p> <p style="text-align: center;">表3.13 日当り継施工枚数(N) (枚/日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">鋼矢板型式</th> <th colspan="8">圧入長</th> </tr> <tr> <th>6m以下</th> <th>9m以下</th> <th>12m以下</th> <th>15m以下</th> <th>19m以下</th> <th>23m以下</th> <th>25m以下</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>II型</td> <td>16</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>III型</td> <td>14</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>IV型</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>9.2</td> <td>8.4</td> <td>7.4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>V_L型</td> <td>7.5</td> <td>7.0</td> <td>6.4</td> <td>6.0</td> <td>5.7</td> <td>5.2</td> <td>4.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>VI_L型</td> <td>6.3</td> <td>5.9</td> <td>5.5</td> <td>5.2</td> <td>5.0</td> <td>4.6</td> <td>4.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>II_w型</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>III_w型</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>9.2</td> <td>8.4</td> <td>7.4</td> <td>6.6</td> <td>6.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>IV_w型</td> <td>8.6</td> <td>7.9</td> <td>7.2</td> <td>6.7</td> <td>6.0</td> <td>5.5</td> <td>5.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10H型</td> <td>7.8</td> <td>7.2</td> <td>6.5</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>25H型</td> <td>6.2</td> <td>5.8</td> <td>5.3</td> <td>5.0</td> <td>4.6</td> <td>4.2</td> <td>4.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>45H型</td> <td>5.6</td> <td>5.3</td> <td>4.9</td> <td>4.6</td> <td>4.3</td> <td>3.9</td> <td>3.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>50H型</td> <td>4.9</td> <td>4.7</td> <td>4.4</td> <td>4.1</td> <td>3.9</td> <td>3.6</td> <td>3.4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>（注）1. 圧入長とは、地表面よりの鋼矢板の圧入長であり、鋼矢板長とは異なる。 2. 鋼矢板型式毎の適用範囲は、表1.1による。 3. 最小圧入長は、4.0m以上を標準とする。 4. 日当り継施工枚数には、敷設板の施工手間が含まれている。</p>	鋼矢板型式	圧入長								6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下		II型	16	15	13	—	—	—	—		III型	14	12	11	10	—	—	—		IV型	12	11	10	9.2	8.4	7.4	—		V _L 型	7.5	7.0	6.4	6.0	5.7	5.2	4.8		VI _L 型	6.3	5.9	5.5	5.2	5.0	4.6	4.3		II _w 型	14	13	11	—	—	—	—		III _w 型	12	10	9.2	8.4	7.4	6.6	6.2		IV _w 型	8.6	7.9	7.2	6.7	6.0	5.5	5.2		10H型	7.8	7.2	6.5	—	—	—	—		25H型	6.2	5.8	5.3	5.0	4.6	4.2	4.0		45H型	5.6	5.3	4.9	4.6	4.3	3.9	3.7		50H型	4.9	4.7	4.4	4.1	3.9	3.6	3.4		記載の修正 (歩掛改定に伴う)
鋼矢板型式	圧入長																																																																																																																															
	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下																																																																																																																									
II型	16	15	13	—	—	—	—																																																																																																																									
III型	14	12	11	10	—	—	—																																																																																																																									
IV型	12	11	10	9.2	8.4	7.4	—																																																																																																																									
V _L 型	7.5	7.0	6.4	6.0	5.7	5.2	4.8																																																																																																																									
VI _L 型	6.3	5.9	5.5	5.2	5.0	4.6	4.3																																																																																																																									
II _w 型	14	13	11	—	—	—	—																																																																																																																									
III _w 型	12	10	9.2	8.4	7.4	6.6	6.2																																																																																																																									
IV _w 型	8.6	7.9	7.2	6.7	6.0	5.5	5.2																																																																																																																									
10H型	7.8	7.2	6.5	—	—	—	—																																																																																																																									
25H型	6.2	5.8	5.3	5.0	4.6	4.2	4.0																																																																																																																									
45H型	5.6	5.3	4.9	4.6	4.3	3.9	3.7																																																																																																																									
50H型	4.9	4.7	4.4	4.1	3.9	3.6	3.4																																																																																																																									
積算上の注意事項			(控え頁) 7/16																																																																																																																													

改 正 理 由	一部改正	改 正	
		現 行	

現	行	改	正	備 考
---	---	---	---	-----

2) 圧入継施工 (Nmax ≤ 50)

表3.14 日当り継施工枚数(N) (枚/日)

鋼矢板型式	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下
II型	14 (15)	12 (13)	11 (12)	—	—	—	—
III型	12 (13)	11 (11)	9.6 (10)	8.4 (9.2)	7.5 (8.4)	—	—
IV型	11 (11)	9.7 (10)	8.9 (9.5)	7.9 (8.6)	7.1 (7.9)	6.2 (7.1)	—
V型	7.0 (7.1)	6.4 (6.7)	5.8 (6.2)	5.5 (5.8)	5.0 (5.5)	4.4 (5.0)	4.4 (4.7)
VI型	5.9 (6.1)	5.5 (5.7)	5.1 (5.3)	4.8 (5.1)	4.4 (4.8)	4.0 (4.4)	4.0 (4.2)
IIw型	13 (13)	11 (12)	9.4 (10)	8.5 (9.4)	—	—	—
IIIw型	11 (11)	9.5 (10)	8.2 (8.9)	7.5 (8.2)	6.7 (7.1)	5.7 (6.7)	5.2 (6.2)
IVw型	8.3 (8.6)	7.5 (7.9)	6.7 (7.2)	6.2 (6.7)	5.7 (6.0)	5.0 (5.7)	4.6 (5.3)
10H型	7.6 (7.9)	6.9 (7.4)	6.2 (6.7)	5.7 (6.0)	—	—	—
25H型	6.3 (6.5)	5.8 (6.1)	5.3 (5.6)	5.0 (5.1)	4.5 (4.7)	3.9 (4.5)	3.9 (4.2)

- (注) 1. 圧入 (Nmax ≤ 50) は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。
 2. 圧入長とは、地表面よりの鋼矢板の圧入長であり、鋼矢板長とは異なる。
 3. 鋼矢板型式毎の適用範囲は、表 1. 1による。
 4. 最小圧入長は、4.0m以上を標準とする。
 5. 上 段: 25 < Nmax ≤ 50
 下段()書き: Nmax ≤ 25で、転石等により、やむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要がある場合。
 6. 日当り継施工枚数には、敷鉄板の施工手間が含まれている。

3) 鋼矢板 1 枚当り継施工箇所数による補正

表3.15 補正係数(F)(鋼矢板 1 枚当り2箇所以上継施工を行う場合)

鋼矢板 1 枚当り継施工箇所数 (X)	2箇所	3箇所	4箇所	5箇所
補正係数 (F)	0.66	0.50	0.40	0.34

(3) 継施工費
 継施工が必要な場合の費用は、「第II編第5章仮設工②-1パイプロハンマ工3. 施工歩掛 3-3日当り施工枚 (本) 数 (3) 継施工費」により別途計上する。

(4) 鋼矢板の引抜き・切断
 鋼矢板を鉛直に吊上げた状態で、鋼矢板を切断する場合については、別途計上する。

II-5-②-46

2) 圧入継施工 (Nmax ≤ 50)

表3.14 日当り継施工枚数(N) (枚/日)

鋼矢板型式	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下
II型	13 (14)	12 (13)	10 (11)	—	—	—	—
III型	12 (12)	10 (11)	9.1 (9.8)	8.3 (8.7)	7.4 (7.9)	—	—
IV型	10 (11)	9.5 (10)	8.4 (9.0)	7.7 (8.1)	7.0 (7.4)	6.1 (6.6)	—
V型	6.9 (7.1)	6.3 (6.7)	5.8 (6.2)	5.5 (5.7)	4.9 (5.2)	4.5 (4.9)	4.2 (4.6)
VI型	5.9 (6.0)	5.4 (5.7)	5.1 (5.3)	4.8 (5.0)	4.4 (4.6)	4.0 (4.4)	3.8 (4.1)
IIw型	12 (13)	11 (11)	9.3 (10)	7.9 (8.9)	—	—	—
IIIw型	10 (11)	9.0 (9.5)	8.1 (8.7)	7.0 (7.7)	6.3 (7.0)	5.6 (6.3)	5.2 (5.9)
IVw型	7.8 (8.0)	7.0 (7.4)	6.5 (6.9)	5.7 (6.2)	5.3 (5.7)	4.8 (5.3)	4.5 (5.0)
10H型	7.1 (7.4)	6.5 (6.8)	5.7 (6.2)	5.2 (5.7)	—	—	—
25H型	5.7 (5.9)	5.3 (5.5)	4.8 (5.1)	4.4 (4.8)	4.1 (4.4)	3.8 (4.1)	3.5 (3.9)
45H型	5.2 (5.4)	4.9 (5.0)	4.4 (4.7)	4.1 (4.4)	3.8 (4.1)	3.5 (3.8)	3.3 (3.6)
50H型	4.6 (4.8)	4.4 (4.5)	4.0 (4.2)	3.8 (4.0)	3.5 (3.8)	3.3 (3.5)	3.1 (3.4)

- (注) 1. 圧入 (Nmax ≤ 50) は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。
 2. 圧入長とは、地表面よりの鋼矢板の圧入長であり、鋼矢板長とは異なる。
 3. 鋼矢板型式毎の適用範囲は、表 1. 1による。
 4. 最小圧入長は、4.0m以上を標準とする。
 5. 上 段: 25 < Nmax ≤ 50
 下段()書き: Nmax ≤ 25で、転石等により、やむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要がある場合。
 6. 日当り継施工枚数には、敷鉄板の施工手間が含まれている。

3) 鋼矢板 1 枚当り継施工箇所数による補正

表3.15 補正係数(F)(鋼矢板 1 枚当り2箇所以上継施工を行う場合)

鋼矢板 1 枚当り継施工箇所数 (X)	2箇所	3箇所	4箇所	5箇所
補正係数 (F)	0.65	0.49	0.39	0.32

現行どおり

改正理由	一部改正	改 正 現 行	
------	------	------------	--

現 行	改 正																																																																																																																																																																																																																							
<p>(5) 油圧式杭圧入引抜き機の据付け・解体歩掛 据付け・解体は、施工前の準備としての施工機械の配置、試運転調整等と施工後の施工機械の解体・撤去作業であり、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.16 据付け・解体歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業の種類</th> <th colspan="3">労務(人/回)</th> <th colspan="3">組合せ機械運転時間(日/回)</th> </tr> <tr> <th>土木一般世話役</th> <th>特殊作業員</th> <th>とび工</th> <th>油圧式ラフテレーン杭圧入引抜き機</th> <th>ラフテレーン</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>圧入(Nmax≦25)</td> <td>0.29</td> <td>0.29</td> <td>0.58</td> <td>0.25</td> <td>0.30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧入(Nmax≦50)</td> <td>0.50</td> <td>0.50</td> <td>1.00</td> <td>0.29</td> <td>0.45</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧入(50<Nmax≦600)</td> <td>1.10</td> <td>1.10</td> <td>2.19</td> <td>0.59</td> <td>0.90</td> <td></td> </tr> <tr> <td>引抜き</td> <td>0.19</td> <td>0.19</td> <td>0.39</td> <td>0.13</td> <td>0.19</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 圧入 (Nmax≦50) は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。 2. 本歩掛は、既設鋼矢板、反力架がいずれを使用する場合も適用出来る。 3. 本表は、据付け・解体1回当りの歩掛である。したがって、1工事で機械1組につき、工事着工時には1回、現場内移動時には移動回数分計上する。 4. 水上施工等で反力架が設置出来ない場合には、初期鋼矢板の施工は、パイロハンマ工により別途計上する。また、引抜きにおいても既設鋼矢板の施工はパイロハンマ工により別途計上する。 (初期又は既設鋼矢板：Ⅱ～Ⅳ型4枚、V₁～V₆型及びⅡw～Ⅳw型3枚、10H・25H型4枚) なお、クレーン付台船及び引船の運転日数は、土木一般世話役の歩掛を「日/回」と読み替えて適用するものとし、回航費用は別途計上する。</p> <p>3-4 諸雑費 圧入 (Nmax≦25)、圧入 (Nmax≦50) 及び引抜きにおける諸雑費は、共下がり防止用の溶接棒及び電気溶接機損料、施工機械足場用の敷鉄板賃料、ウォータージェット併用施工用付属機器に関する経費 (配管バンド、溶接棒、電気溶接機損料、工事用水中モータポンプ損料、水槽及び配管損料)、現場内小運搬に関する経費、電力に関する経費等の費用 (雑施工に関する経費は除く) であり、労務費、機械損料及び機械運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。 圧入 (50<Nmax≦600) における諸雑費は、溶接棒、施工機械足場用の敷鉄板賃料、電気溶接機損料、現場内小運搬に関する経費、排土処理用のバックホウ運転に関する経費、オーガスクリュ及びオーガヘッド並びにケーシング損料等の費用であり、労務費、機械損料及び機械運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。 なお、上記諸雑費に含まれるもの以外で施工に際し、オーガスクリュ及びオーガヘッド等へ附着した土等を除去するための高圧洗浄機やエアコンプレッサーを用いる必要が生じた場合は、別途考慮すること。</p> <p style="text-align: center;">表3.17 諸雑費率 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業の種類</th> <th colspan="4">陸上施工</th> <th colspan="4">水上施工</th> </tr> <tr> <th colspan="2">継施工なし</th> <th colspan="2">継施工あり</th> <th colspan="2">継施工なし</th> <th colspan="2">継施工あり</th> </tr> <tr> <th></th> <th>普通・広幅鋼矢板</th> <th>ハット形鋼矢板</th> <th>普通・広幅鋼矢板</th> <th>ハット形鋼矢板</th> <th>普通・広幅鋼矢板</th> <th>ハット形鋼矢板</th> <th>普通・広幅鋼矢板</th> <th>ハット形鋼矢板</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>圧入(Nmax≦25)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>圧入(Nmax≦50)</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>圧入(50<Nmax≦600)</td> <td colspan="4">16</td> <td colspan="4">—</td> </tr> <tr> <td>引抜き</td> <td colspan="2">0.2 (注)2</td> <td colspan="2">—</td> <td colspan="4">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 圧入 (Nmax≦50) は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。 2. 引抜きの諸雑費率は、広幅鋼矢板には適用しない。</p> <p style="text-align: center;">Ⅱ-5-②-17</p>	作業の種類	労務(人/回)			組合せ機械運転時間(日/回)			土木一般世話役	特殊作業員	とび工	油圧式ラフテレーン杭圧入引抜き機	ラフテレーン		圧入(Nmax≦25)	0.29	0.29	0.58	0.25	0.30		圧入(Nmax≦50)	0.50	0.50	1.00	0.29	0.45		圧入(50<Nmax≦600)	1.10	1.10	2.19	0.59	0.90		引抜き	0.19	0.19	0.39	0.13	0.19		作業の種類	陸上施工				水上施工				継施工なし		継施工あり		継施工なし		継施工あり			普通・広幅鋼矢板	ハット形鋼矢板	普通・広幅鋼矢板	ハット形鋼矢板	普通・広幅鋼矢板	ハット形鋼矢板	普通・広幅鋼矢板	ハット形鋼矢板	圧入(Nmax≦25)	1	1	2	2	1	1	3	2	圧入(Nmax≦50)	8	6	8	7	6	5	8	7	圧入(50<Nmax≦600)	16				—				引抜き	0.2 (注)2		—		—				<p>(5) 油圧式杭圧入引抜き機の据付け・解体歩掛 据付け・解体は、施工前の準備としての施工機械の配置、試運転調整等と施工後の施工機械の解体・撤去作業であり、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.16 据付け・解体歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業の種類</th> <th colspan="3">労務(人/回)</th> <th colspan="3">組合せ機械運転時間(日/回)</th> </tr> <tr> <th>土木一般世話役</th> <th>特殊作業員</th> <th>とび工</th> <th>油圧式ラフテレーン杭圧入引抜き機</th> <th>ラフテレーン</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>圧入(Nmax≦25)</td> <td>0.29</td> <td>0.29</td> <td>0.58</td> <td>0.25</td> <td>0.30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧入(Nmax≦50)</td> <td>0.50</td> <td>0.50</td> <td>1.00</td> <td>0.29</td> <td>0.45</td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧入(50<Nmax≦600)</td> <td>1.10</td> <td>1.10</td> <td>2.19</td> <td>0.59</td> <td>0.90</td> <td></td> </tr> <tr> <td>引抜き</td> <td>0.19</td> <td>0.19</td> <td>0.39</td> <td>0.13</td> <td>0.19</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 圧入 (Nmax≦50) は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。 2. 本歩掛は、既設鋼矢板、反力架がいずれを使用する場合も適用出来る。 3. 本表は、据付け・解体1回当りの歩掛である。したがって、1工事で機械1組につき、工事着工時には1回、現場内移動時には移動回数分計上する。 4. 水上施工等で反力架が設置出来ない場合には、初期鋼矢板の施工は、パイロハンマ工により別途計上する。また、引抜きにおいても既設鋼矢板の施工はパイロハンマ工により別途計上する。 (初期又は既設鋼矢板：Ⅱ～Ⅳ型4枚、V₁～V₆型及びⅡw～Ⅳw型3枚、10H・25H・45H・50H型4枚) なお、クレーン付台船及び引船の運転日数は、土木一般世話役の歩掛を「日/回」と読み替えて適用するものとし、回航費用は別途計上する。</p> <p>3-4 諸雑費 圧入 (Nmax≦25)、圧入 (Nmax≦50) 及び引抜きにおける諸雑費は、共下がり防止用の溶接棒及び電気溶接機損料、施工機械足場用の敷鉄板賃料、ウォータージェット併用施工用付属機器に関する経費 (配管バンド、溶接棒、電気溶接機損料、工事用水中モータポンプ損料、水槽及び配管損料)、付属機材等の現場内小運搬に関する経費、電力に関する経費等の費用 (雑施工に関する経費は除く) であり、労務費、機械損料及び機械運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。 圧入 (50<Nmax≦600) における諸雑費は、溶接棒、施工機械足場用の敷鉄板賃料、電気溶接機損料、付属機材等の現場内小運搬に関する経費、排土処理用のバックホウ運転に関する経費、オーガスクリュ及びオーガヘッド並びにケーシング損料等の費用であり、労務費、機械損料及び機械運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。 なお、上記諸雑費に含まれるもの以外で施工に際し、オーガスクリュ及びオーガヘッド等へ附着した土等を除去するための高圧洗浄機やエアコンプレッサーを用いる必要が生じた場合は、別途考慮すること。</p> <p style="text-align: center;">表3.17 諸雑費率 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業の種類</th> <th colspan="4">陸上施工</th> <th colspan="4">水上施工</th> </tr> <tr> <th colspan="2">継施工なし</th> <th colspan="2">継施工あり</th> <th colspan="2">継施工なし</th> <th colspan="2">継施工あり</th> </tr> <tr> <th></th> <th>普通・広幅鋼矢板</th> <th>ハット形鋼矢板</th> <th>普通・広幅鋼矢板</th> <th>ハット形鋼矢板</th> <th>普通・広幅鋼矢板</th> <th>ハット形鋼矢板</th> <th>普通・広幅鋼矢板</th> <th>ハット形鋼矢板</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>圧入(Nmax≦25)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>圧入(Nmax≦50)</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>圧入(50<Nmax≦180)</td> <td>18</td> <td>19</td> <td colspan="2">—</td> <td colspan="4">—</td> </tr> <tr> <td>圧入(180<Nmax≦600)</td> <td colspan="2">18</td> <td colspan="2">—</td> <td colspan="4">—</td> </tr> <tr> <td>引抜き</td> <td colspan="2">0.1 (注)2</td> <td colspan="2">—</td> <td colspan="4">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 圧入 (Nmax≦50) は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。 2. 引抜きの諸雑費率は、広幅鋼矢板には適用しない。</p>	作業の種類	労務(人/回)			組合せ機械運転時間(日/回)			土木一般世話役	特殊作業員	とび工	油圧式ラフテレーン杭圧入引抜き機	ラフテレーン		圧入(Nmax≦25)	0.29	0.29	0.58	0.25	0.30		圧入(Nmax≦50)	0.50	0.50	1.00	0.29	0.45		圧入(50<Nmax≦600)	1.10	1.10	2.19	0.59	0.90		引抜き	0.19	0.19	0.39	0.13	0.19		作業の種類	陸上施工				水上施工				継施工なし		継施工あり		継施工なし		継施工あり			普通・広幅鋼矢板	ハット形鋼矢板	普通・広幅鋼矢板	ハット形鋼矢板	普通・広幅鋼矢板	ハット形鋼矢板	普通・広幅鋼矢板	ハット形鋼矢板	圧入(Nmax≦25)	1	1	4	4	1	1	3	3	圧入(Nmax≦50)	7	6	9	8	5	5	7	7	圧入(50<Nmax≦180)	18	19	—		—				圧入(180<Nmax≦600)	18		—		—				引抜き	0.1 (注)2		—		—			
作業の種類		労務(人/回)			組合せ機械運転時間(日/回)																																																																																																																																																																																																																			
	土木一般世話役	特殊作業員	とび工	油圧式ラフテレーン杭圧入引抜き機	ラフテレーン																																																																																																																																																																																																																			
圧入(Nmax≦25)	0.29	0.29	0.58	0.25	0.30																																																																																																																																																																																																																			
圧入(Nmax≦50)	0.50	0.50	1.00	0.29	0.45																																																																																																																																																																																																																			
圧入(50<Nmax≦600)	1.10	1.10	2.19	0.59	0.90																																																																																																																																																																																																																			
引抜き	0.19	0.19	0.39	0.13	0.19																																																																																																																																																																																																																			
作業の種類	陸上施工				水上施工																																																																																																																																																																																																																			
	継施工なし		継施工あり		継施工なし		継施工あり																																																																																																																																																																																																																	
	普通・広幅鋼矢板	ハット形鋼矢板	普通・広幅鋼矢板	ハット形鋼矢板	普通・広幅鋼矢板	ハット形鋼矢板	普通・広幅鋼矢板	ハット形鋼矢板																																																																																																																																																																																																																
圧入(Nmax≦25)	1	1	2	2	1	1	3	2																																																																																																																																																																																																																
圧入(Nmax≦50)	8	6	8	7	6	5	8	7																																																																																																																																																																																																																
圧入(50<Nmax≦600)	16				—																																																																																																																																																																																																																			
引抜き	0.2 (注)2		—		—																																																																																																																																																																																																																			
作業の種類	労務(人/回)			組合せ機械運転時間(日/回)																																																																																																																																																																																																																				
	土木一般世話役	特殊作業員	とび工	油圧式ラフテレーン杭圧入引抜き機	ラフテレーン																																																																																																																																																																																																																			
圧入(Nmax≦25)	0.29	0.29	0.58	0.25	0.30																																																																																																																																																																																																																			
圧入(Nmax≦50)	0.50	0.50	1.00	0.29	0.45																																																																																																																																																																																																																			
圧入(50<Nmax≦600)	1.10	1.10	2.19	0.59	0.90																																																																																																																																																																																																																			
引抜き	0.19	0.19	0.39	0.13	0.19																																																																																																																																																																																																																			
作業の種類	陸上施工				水上施工																																																																																																																																																																																																																			
	継施工なし		継施工あり		継施工なし		継施工あり																																																																																																																																																																																																																	
	普通・広幅鋼矢板	ハット形鋼矢板	普通・広幅鋼矢板	ハット形鋼矢板	普通・広幅鋼矢板	ハット形鋼矢板	普通・広幅鋼矢板	ハット形鋼矢板																																																																																																																																																																																																																
圧入(Nmax≦25)	1	1	4	4	1	1	3	3																																																																																																																																																																																																																
圧入(Nmax≦50)	7	6	9	8	5	5	7	7																																																																																																																																																																																																																
圧入(50<Nmax≦180)	18	19	—		—																																																																																																																																																																																																																			
圧入(180<Nmax≦600)	18		—		—																																																																																																																																																																																																																			
引抜き	0.1 (注)2		—		—																																																																																																																																																																																																																			

記載の修正
(歩掛改定に伴う)

記載の修正

記載の修正
(歩掛改定に伴う)

積算上の注意事項			(控え頁) 9/16
----------	--	--	---------------

改正理由	一部改正	改 正	
		現 行	

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

(8) 機械運転準備表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
油圧式杭圧入引抜き機	エンジン式ユニット・排出ガス対策型(2014年規制) 圧入力 800kN 引抜き力 900kN	機-24	燃料消費量 →132 機械損料数量→1.46
油圧式杭圧入引抜き機	エンジン式ユニット・排出ガス対策型(第3次基準値)広幅鋼矢板用 圧入力 1,000kN 引抜き力 1,100kN	機-24	燃料消費量 →151 機械損料数量→1.46
油圧式杭圧入引抜き機	エンジン式ユニット・排出ガス対策型(2014年規制) ハット形鋼矢板900mm用 圧入力 1,000kN 引抜き力 1,200kN	機-24	燃料消費量 →176 機械損料数量→1.46
油圧式杭圧入引抜き機(鋼矢板 II・III・IV型用)	エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・排出ガス対策型(第3次基準値)普通鋼矢板用 圧入力 800kN 引抜き力 900kN	機-24	燃料消費量 →176 機械損料数量→1.46
油圧式杭圧入引抜き機(鋼矢板V ₁ ・VI ₁ ・IIw・IIIw・IVw型用)	エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・排出ガス対策型(第3次基準値)広幅鋼矢板用 圧入力 800kN 引抜き力1,000kN	機-24	燃料消費量 →176 機械損料数量→1.46
杭 打 ち 用 ウオータージェット	エンジン式・排出ガス対策型(第3次基準値) 圧力 14.7MPa 吐出量 325ℓ/min	機-24	燃料消費量 →139 機械損料数量→1.46
ラ フ テ レ ン ク レ ー ン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 25 t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →95 機械損料数量→1.46
ラ フ テ レ ン ク レ ー ン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2011年規制) 50～51 t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →132 機械損料数量→1.46
ク レ ー ン 付 台 船	(クローラクレーン) 35～40 t 吊 (台船) 300 t 積	機-11	運転1日当り準備表 船員名称 →高級船員 運転労務数量→1.00 (クローラクレーン) 燃料消費量 →45 機械損料数量→1.46 機械損料単位→供用日 (台船) 機械損料数量→1.46
引 船	鋼製 D 100PS型 4.9GT	機-11	運転1日当り準備表 船員名称 →高級船員 運転労務数量→1.00 主燃料 →重油 燃料消費量 →57 機械損料数量→1.22 機械損料単位→供用日

II-5-②-54

(8) 機械運転準備表

機 械 名	規 格	適用単価	指 定 事 項
油 圧 式 杭 圧 入 引 抜 機	エンジン式ユニット・排出ガス対策型(2014年規制) 圧入力 800kN 引抜き力 900kN	機-24	燃料消費量 →128 機械損料数量→1.49
油 圧 式 杭 圧 入 引 抜 機	エンジン式ユニット・排出ガス対策型(第3次基準値)広幅鋼矢板用 圧入力 1,000kN 引抜き力 1,100kN	機-24	燃料消費量 →146 機械損料数量→1.49
油 圧 式 杭 圧 入 引 抜 機	エンジン式ユニット・排出ガス対策型(2014年規制) ハット形鋼矢板900mm用 圧入力 1,000kN 引抜き力 1,200kN	機-24	燃料消費量 →171 機械損料数量→1.49
油 圧 式 杭 圧 入 引 抜 機 (鋼矢板 II・III・IV型用)	エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・排出ガス対策型(第3次基準値)普通鋼矢板用 圧入力 800kN 引抜き力 900kN	機-24	燃料消費量 →171 機械損料数量→1.49
油 圧 式 杭 圧 入 引 抜 機 (鋼矢板 V ₁ ・VI ₁ ・IIw・IIIw・IVw型用)	エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・排出ガス対策型(第3次基準値)広幅鋼矢板用 圧入力 800kN 引抜き力 1,000kN	機-24	燃料消費量 →171 機械損料数量→1.49
油 圧 式 杭 圧 入 引 抜 機 (鋼矢板 10H・25H型用)	エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・排出ガス対策型(2014年規制) ハット形鋼矢板900mm用 圧入力 800kN 引抜き力 900kN	機-24	燃料消費量 →201 機械損料数量→1.49
杭 打 ち 用 ウオータージェット	エンジン式・排出ガス対策型(第3次基準値) 圧力 14.7MPa 吐出量 325ℓ/min	機-24	燃料消費量 →134 機械損料数量→1.49
ラ フ テ レ ン ク レ ー ン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 25 t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →92 機械損料数量→1.49
ラ フ テ レ ン ク レ ー ン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2011年規制) 50～51 t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →128 機械損料数量→1.49
ク レ ー ン 付 台 船	(クローラクレーン) 35～40 t 吊 (台船) 300 t 積	機-11	運転1日当り準備表 船員名称 →高級船員 運転労務数量→1.00 (クローラクレーン) 燃料消費量 →43 機械損料数量→1.49 機械損料単位→供用日 (台船) 機械損料数量→1.49

次頁へ移動

記載の修正
(歩掛改定に伴う)

積算上の注意事項			(控え頁) 10/16
----------	--	--	----------------

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

5. 施工単価入力基準表
(1) 圧入 (Nmax≦25)

施工歩掛コード	WB251330	施工単位	枚
施工区分	入 力 条 件		
各種	J 1	J 2	J 3
	施工場所	鋼矢板型式	圧入長
	①陸上 ②水上	(表5.1)	(表5.2)

前項から移動

(注) 1. J 1 条件で②を選択した場合は、必要に応じて繋船費及び回航費用を共通仮設費に計上する。
2. 鋼矢板の賃料又は、材料費については「第II編第5章仮設工②-1パイプロハンマ工WB250150、WB250160、WB250170」により別途計上すること。

表5.1 鋼矢板型式

鋼矢板型式	入力番号
II型	①
III型	②
IV型	③
VI型	④
VI _L 型	⑤
IIw型	⑥
IIIw型	⑦
IVw型	⑧
10H型	⑨
25H型	⑩

表5.2 圧入長 (Nmax≦25)

鋼矢板型式	圧入長 (m)								
	6以下	9以下	10以下	12以下	15以下	19以下	20以下	23以下	25以下
	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号
II型	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
III型	○	○	○	○	○	○	○	○	○
IV型	○	○	○	○	○	○	○	○	○
VI・VI _L 型	○	○	○	○	○	○	○	○	○
IIw型	○	○	○	○	○	○	○	○	○
IIIw・IVw型	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10H型	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25H型	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(注) 1. ○印は、鋼矢板型式毎の選択可能な圧入長を示したものである。
2. 圧入長とは、地表面よりの圧入長であり、鋼矢板長とは異なる。

II-5-②-55

5. 施工単価入力基準表
(1) 圧入 (Nmax≦25)

施工歩掛コード	WB251330	施工単位	枚
施工区分	入 力 条 件		
各種	J 1	J 2	J 3
	施工場所	鋼矢板型式	圧入長
	①陸上 ②水上	(表5.1)	(表5.2)

次頁へ移動

(注) 1. J 1 条件で②を選択した場合は、必要に応じて繋船費及び回航・えい航費用を共通仮設費に計上する。
2. 鋼矢板の賃料又は、材料費については「第II編第5章仮設工②-1パイプロハンマ工WB250150、WB250160、WB250170」により別途計上すること。

表5.1 鋼矢板型式

鋼矢板型式	入力番号
II型	①
III型	②
IV型	③
VI型	④
VI _L 型	⑤
IIw型	⑥
IIIw型	⑦
IVw型	⑧
10H型	⑨
25H型	⑩
45H型	⑪
50H型	⑫

(つづき)

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
引 船	鋼製 D 100PS型 4.9GT	機-11	運転1日当り単価表 船員名称 →高級船員 運転労務数量→1.00 主燃料 →重油 燃料消費量 →57 機械損料数量→1.22 機械損料単位→供用日

備考	記載の修正 (歩掛改定に伴う)
	記載の修正 (歩掛改定に伴う)
積算上の注意事項	(控え頁) 11/16

工 種	油圧圧入引抜工
-----	---------

改正理由	一部改正	改 正 現 行																																																																																																																																															
現 行	改 正		備 考																																																																																																																																														
	<p>前項から移動 →</p> <table border="1"> <caption>表5. 2 圧入長(Nmax≤25)</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">鋼矢板 型 式</th> <th colspan="10">圧入長 (m)</th> </tr> <tr> <th>6 以下</th> <th>9 以下</th> <th>10 以下</th> <th>12 以下</th> <th>15 以下</th> <th>19 以下</th> <th>20 以下</th> <th>23 以下</th> <th>25 以下</th> <th></th> </tr> <tr> <td></td> <th>入力 番号</th> </tr> <tr> <td></td> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> <th>⑤</th> <th>⑥</th> <th>⑦</th> <th>⑧</th> <th>⑨</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>II型</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>III型</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>IV型</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>V_L・VI_L型</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>IIw型</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>IIIw・IVw型</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>10H型</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>25H型</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>45H型・50H型</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ○印は、鋼矢板型式毎の選択可能な圧入長を示したものである。 2. 圧入長とは、地表面よりの圧入長であり、鋼矢板長とは異なる。</p>	鋼矢板 型 式	圧入長 (m)										6 以下	9 以下	10 以下	12 以下	15 以下	19 以下	20 以下	23 以下	25 以下			入力 番号		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		II型	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	III型	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—	IV型	○	○	—	○	○	○	○	—	—	—	V _L ・VI _L 型	○	○	—	○	○	○	—	○	○	—	IIw型	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—	IIIw・IVw型	○	○	—	○	○	○	—	○	○	—	10H型	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—	25H型	○	○	—	○	○	○	—	○	○	—	45H型・50H型	○	○	—	○	○	○	—	○	○	—		記載の修正 (歩掛改定に伴う)									
鋼矢板 型 式	圧入長 (m)																																																																																																																																																
	6 以下	9 以下	10 以下	12 以下	15 以下	19 以下	20 以下	23 以下	25 以下																																																																																																																																								
	入力 番号	入力 番号	入力 番号	入力 番号	入力 番号	入力 番号	入力 番号	入力 番号	入力 番号	入力 番号																																																																																																																																							
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨																																																																																																																																								
II型	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																							
III型	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—																																																																																																																																							
IV型	○	○	—	○	○	○	○	—	—	—																																																																																																																																							
V _L ・VI _L 型	○	○	—	○	○	○	—	○	○	—																																																																																																																																							
IIw型	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																							
IIIw・IVw型	○	○	—	○	○	○	—	○	○	—																																																																																																																																							
10H型	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																							
25H型	○	○	—	○	○	○	—	○	○	—																																																																																																																																							
45H型・50H型	○	○	—	○	○	○	—	○	○	—																																																																																																																																							
積算上の注意事項			(控え頁) 12/16																																																																																																																																														

改正理由	一部改正	改 正 現 行	
------	------	------------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

表5.4 圧入長(50<Nmax≤600)

鋼矢板型式	圧入長 (m)									
	6以下	9以下	10以下	12以下	15以下	19以下	20以下	23以下	25以下	
	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
II型	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—
III型	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—
IV型	○	○	—	○	○	○	○	—	—	—
V _L ・VI _L 型	○	○	—	○	○	○	—	○	○	○
IIw型	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—
IIIw・IVw型	○	○	—	○	○	○	—	○	○	○

(注) 1. ○印は、鋼矢板型式毎の選択可能な圧入長を示したものである。
2. 圧入長とは、地表面よりの圧入長であり、鋼矢板長とは異なる。

(4) 圧入継施工 (Nmax≤25)

施工歩掛コード	WB251350		施工単位	枚
施工区分	入 力 条 件			
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4
	施工場所	鋼矢板型式	圧入長	鋼矢板1枚当り継施工箇所数
	①陸上 ②水上	(表5.1)	(表5.5)	(表5.6)

(注) 1. J 1条件で②を選択した場合は、必要に応じて繋船費及び回航費用を共通仮設費に計上する。
2. 本コードは、J 4条件で入力した箇所数分の継施工費が計上される。
3. 鋼矢板の賃料又は、材料費については「第II編第5章仮設工②-1パイプロハンマ工WB250150、WB250160、WB250170」により別途計上すること。

表5.5 圧入長(継施工 Nmax≤25)

鋼矢板型式	圧入長 (m)									
	6以下	9以下	10以下	12以下	15以下	19以下	20以下	23以下	25以下	
	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
II型	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—
III型	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—
IV型	○	○	—	○	○	○	○	—	—	—
V _L ・VI _L 型	○	○	—	○	○	○	—	○	○	○
IIw型	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—
IIIw・IVw型	○	○	—	○	○	○	—	○	○	○
10H型	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—
25H型	○	○	—	○	○	○	—	○	○	○

(注) 1. ○印は、鋼矢板型式毎の選択可能な圧入長を示したものである。
2. 圧入長とは、地表面よりの圧入長であり、鋼矢板長とは異なる。

II-5-②-57

表5.4 圧入長(50<Nmax≤600)

鋼矢板型式	圧入長 (m)									
	6以下	9以下	10以下	12以下	15以下	19以下	20以下	23以下	25以下	
	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
II型	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—
III型	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—
IV型	○	○	—	○	○	○	○	—	—	—
V _L ・VI _L 型	○	○	—	○	○	○	—	○	○	○
IIw型	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—
IIIw・IVw型	○	○	—	○	○	○	—	○	○	○
10H型	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—
25H型	○	○	—	○	○	○	—	○	○	○

(注) 1. ○印は、鋼矢板型式毎の選択可能な圧入長を示したものである。
2. 圧入長とは、地表面よりの圧入長であり、鋼矢板長とは異なる。

(4) 圧入継施工 (Nmax≤25)

施工歩掛コード	WB251350		施工単位	枚
施工区分	入 力 条 件			
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4
	施工場所	鋼矢板型式	圧入長	鋼矢板1枚当り継施工箇所数
	①陸上 ②水上	(表5.1)	(表5.5)	(表5.6)

(注) 1. J 1条件で②を選択した場合は、必要に応じて繋船費及び回航・**えい航**費用を共通仮設費に計上する。
2. 本コードは、J 4条件で入力した箇所数分の継施工費が計上される。
3. 鋼矢板の賃料又は、材料費については「第II編第5章仮設工②-1パイプロハンマ工WB250150、WB250160、WB250170」により別途計上すること。

表5.5 圧入長(継施工 Nmax≤25)

鋼矢板型式	圧入長 (m)									
	6以下	9以下	10以下	12以下	15以下	19以下	20以下	23以下	25以下	
	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
II型	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—
III型	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—
IV型	○	○	—	○	○	○	○	—	—	—
V _L ・VI _L 型	○	○	—	○	○	○	—	○	○	○
IIw型	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—
IIIw・IVw型	○	○	—	○	○	○	—	○	○	○
10H型	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—
25H型	○	○	—	○	○	○	—	○	○	○
45H型・50H型	○	○	—	○	○	○	—	○	○	○

(注) 1. ○印は、鋼矢板型式毎の選択可能な圧入長を示したものである。
2. 圧入長とは、地表面よりの圧入長であり、鋼矢板長とは異なる。

積算上の注意事項

(控え頁)
14/16

改 正 理 由	一部改正	改 正	備 考
		現 行	

現 行		改 正																																																																																																																																																																																																																																						
<p>表5.6 鋼矢板1枚当り継施工箇所数</p> <table border="1"> <tr> <td>鋼矢板1枚当り継施工箇所数(X)</td> <td>標準(1)</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>人 力 番 号</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td>④</td> <td>⑤</td> </tr> </table> <p>(5) 圧入継施工 (Nmax≤50)</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB251360</td> <td>施工単位</td> <td>枚</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> </tr> <tr> <td>施工場所</td> <td>最大N値</td> <td>鋼矢板型式</td> <td>圧入長</td> <td>鋼矢板1枚当り継施工箇所数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>①陸上 ②水上</td> <td>①25<Nmax≤50 ②Nmax≤25 (ウオータージェット使用時)</td> <td>(表5.1)</td> <td>(表5.7)</td> <td>(表5.6)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 1条件で②を選択した場合は、必要に応じて繋船費及び回航費用を共通仮設費に計上する。 2. J 2条件②は、Nmax≤25で、転石等により、やむを得ず杭打ち用ウオータージェットを使用する必要がある場合のみ選択する。 3. 鋼矢板の賃料又は、材料費については「第Ⅱ編第5章仮設工②-1パイプロハンマ工WB250150、WB250160、WB250170」により別途計上すること。</p>		鋼矢板1枚当り継施工箇所数(X)	標準(1)	2	3	4	5	人 力 番 号	①	②	③	④	⑤	施工歩掛コード	WB251360	施工単位	枚	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	施工場所	最大N値	鋼矢板型式	圧入長	鋼矢板1枚当り継施工箇所数		①陸上 ②水上	①25<Nmax≤50 ②Nmax≤25 (ウオータージェット使用時)	(表5.1)	(表5.7)	(表5.6)	<p>表5.6 鋼矢板1枚当り継施工箇所数</p> <table border="1"> <tr> <td>鋼矢板1枚当り継施工箇所数(X)</td> <td>標準(1)</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>人 力 番 号</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td>④</td> <td>⑤</td> </tr> </table> <p>(5) 圧入継施工 (Nmax≤50)</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB251360</td> <td>施工単位</td> <td>枚</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> </tr> <tr> <td>施工場所</td> <td>最大N値</td> <td>鋼矢板型式</td> <td>圧入長</td> <td>鋼矢板1枚当り継施工箇所数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>①陸上 ②水上</td> <td>①25<Nmax≤50 ②Nmax≤25 (ウオータージェット使用時)</td> <td>(表5.1)</td> <td>(表5.7)</td> <td>(表5.6)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 1条件で②を選択した場合は、必要に応じて繋船費及び回航・えい航費用を共通仮設費に計上する。 2. J 2条件②は、Nmax≤25で、転石等により、やむを得ず杭打ち用ウオータージェットを使用する必要がある場合のみ選択する。 3. 鋼矢板の賃料又は、材料費については「第Ⅱ編第5章仮設工②-1パイプロハンマ工WB250150、WB250160、WB250170」により別途計上すること。</p>		鋼矢板1枚当り継施工箇所数(X)	標準(1)	2	3	4	5	人 力 番 号	①	②	③	④	⑤	施工歩掛コード	WB251360	施工単位	枚	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	施工場所	最大N値	鋼矢板型式	圧入長	鋼矢板1枚当り継施工箇所数		①陸上 ②水上	①25<Nmax≤50 ②Nmax≤25 (ウオータージェット使用時)	(表5.1)	(表5.7)	(表5.6)																																																																																																																																																											
鋼矢板1枚当り継施工箇所数(X)	標準(1)	2	3	4	5																																																																																																																																																																																																																																			
人 力 番 号	①	②	③	④	⑤																																																																																																																																																																																																																																			
施工歩掛コード	WB251360	施工単位	枚																																																																																																																																																																																																																																					
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																																																																																																																							
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																																																																																																																																																																																																																			
	施工場所	最大N値	鋼矢板型式	圧入長	鋼矢板1枚当り継施工箇所数																																																																																																																																																																																																																																			
	①陸上 ②水上	①25<Nmax≤50 ②Nmax≤25 (ウオータージェット使用時)	(表5.1)	(表5.7)	(表5.6)																																																																																																																																																																																																																																			
鋼矢板1枚当り継施工箇所数(X)	標準(1)	2	3	4	5																																																																																																																																																																																																																																			
人 力 番 号	①	②	③	④	⑤																																																																																																																																																																																																																																			
施工歩掛コード	WB251360	施工単位	枚																																																																																																																																																																																																																																					
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																																																																																																																							
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																																																																																																																																																																																																																			
	施工場所	最大N値	鋼矢板型式	圧入長	鋼矢板1枚当り継施工箇所数																																																																																																																																																																																																																																			
	①陸上 ②水上	①25<Nmax≤50 ②Nmax≤25 (ウオータージェット使用時)	(表5.1)	(表5.7)	(表5.6)																																																																																																																																																																																																																																			
<p>表5.7 圧入長(継施工 Nmax≤50)</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">鋼矢板型式</td> <td>6以下</td> <td>9以下</td> <td>12以下</td> <td>14以下</td> <td>15以下</td> <td>18以下</td> <td>19以下</td> <td>20以下</td> <td>23以下</td> <td>25以下</td> </tr> <tr> <td>入力番号</td> </tr> <tr> <td>II型</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>III型</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>IV型</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>VI・VII型</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>IIw型</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>IIIw・IVw型</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>10H型</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>25H型</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>(注) 1. ○印は、鋼矢板型式毎の選択可能な圧入長を示したものである。 2. 圧入長とは、地表面よりの圧入長であり、鋼矢板長とは異なる。</p>		鋼矢板型式	6以下	9以下	12以下	14以下	15以下	18以下	19以下	20以下	23以下	25以下	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	II型	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	III型	○	○	○	-	○	○	-	-	-	-	IV型	○	○	○	-	○	-	○	○	-	-	VI・VII型	○	○	○	-	○	-	○	-	○	○	IIw型	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	IIIw・IVw型	○	○	○	-	○	-	○	-	○	○	10H型	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	25H型	○	○	○	-	○	-	○	-	○	○	<p>表5.7 圧入長(継施工 Nmax≤50)</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">鋼矢板型式</td> <td>6以下</td> <td>9以下</td> <td>12以下</td> <td>14以下</td> <td>15以下</td> <td>18以下</td> <td>19以下</td> <td>20以下</td> <td>23以下</td> <td>25以下</td> </tr> <tr> <td>入力番号</td> </tr> <tr> <td>II型</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>III型</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>IV型</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>VI・VII型</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>IIw型</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>IIIw・IVw型</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>10H型</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>25H型</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>45H型・50H型</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>(注) 1. ○印は、鋼矢板型式毎の選択可能な圧入長を示したものである。 2. 圧入長とは、地表面よりの圧入長であり、鋼矢板長とは異なる。</p>		鋼矢板型式	6以下	9以下	12以下	14以下	15以下	18以下	19以下	20以下	23以下	25以下	入力番号	II型	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	III型	○	○	○	-	○	○	-	-	-	-	IV型	○	○	○	-	○	-	○	○	-	-	VI・VII型	○	○	○	-	○	-	○	-	○	○	IIw型	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	IIIw・IVw型	○	○	○	-	○	-	○	-	○	○	10H型	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	25H型	○	○	○	-	○	-	○	-	○	○	45H型・50H型	○	○	○	-	○	-	○	-	○	○									
鋼矢板型式	6以下		9以下	12以下	14以下	15以下	18以下	19以下	20以下	23以下	25以下																																																																																																																																																																																																																													
	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号																																																																																																																																																																																																																														
II型	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																														
III型	○	○	○	-	○	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																														
IV型	○	○	○	-	○	-	○	○	-	-																																																																																																																																																																																																																														
VI・VII型	○	○	○	-	○	-	○	-	○	○																																																																																																																																																																																																																														
IIw型	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																														
IIIw・IVw型	○	○	○	-	○	-	○	-	○	○																																																																																																																																																																																																																														
10H型	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																														
25H型	○	○	○	-	○	-	○	-	○	○																																																																																																																																																																																																																														
鋼矢板型式	6以下	9以下	12以下	14以下	15以下	18以下	19以下	20以下	23以下	25以下																																																																																																																																																																																																																														
	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号	入力番号																																																																																																																																																																																																																														
II型	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																														
III型	○	○	○	-	○	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																														
IV型	○	○	○	-	○	-	○	○	-	-																																																																																																																																																																																																																														
VI・VII型	○	○	○	-	○	-	○	-	○	○																																																																																																																																																																																																																														
IIw型	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																														
IIIw・IVw型	○	○	○	-	○	-	○	-	○	○																																																																																																																																																																																																																														
10H型	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																														
25H型	○	○	○	-	○	-	○	-	○	○																																																																																																																																																																																																																														
45H型・50H型	○	○	○	-	○	-	○	-	○	○																																																																																																																																																																																																																														

II-5-②-58

記載の修正
(歩掛改定に伴う)

記載の修正
(歩掛改定に伴う)

積算上の注意事項

(控え頁)

改正理由	一部改正	改正 <hr/> 現行	
------	------	----------------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

(6) 引抜き

施工歩掛コード	WB251370	施工単位	枚
施工区分	入 力 条 件		
	J 1	J 2	J 3
各 種	施工場所	鋼矢板型式	引抜き長
	①陸上 ②水上	(表5.1)	(表5.8)

(注) 1. J 1条件で②を選択した場合は、必要に応じて繋船費及び回航費用を共通仮設費に計上する。
2. J 2条件での⑥～⑩は、選択することが出来ない。

表5.8 引抜き長

引抜き長 (m)	6 以下	9 以下	12 以下	15 以下	18 以下	19 以下	20 以下	23 以下	25 以下
	入力 番号								
鋼矢板 型 式	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
II型	○	○	○	-	-	-	-	-	-
III型	○	○	○	○	○	-	-	-	-
IV型	○	○	○	○	-	○	○	-	-
V ₁ ・VI ₁ 型	○	○	○	○	-	○	-	○	○

(注) 1. ○印は、鋼矢板型式毎の選択可能な引抜き長を示したものである。
2. 引抜き長とは、地表面よりの鋼矢板の引抜き長であり、鋼矢板長とは異なる。

(7) 油圧式杭圧入引抜き機据付・解体

施工歩掛コード	WB251380	施工単位	回
施工区分	入 力 条 件		
	J 1	J 2	J 3
各 種	作業区分	鋼矢板型式	施工場所
	①圧入 (Nmax ≤ 25) ②圧入 (Nmax ≤ 50) ③圧入 (50 < Nmax ≤ 600) ④引抜き	(表5.1)	①陸上 ②水上

(注) 1. J 1条件で③を選択した場合は、J 2条件で⑨、⑩を選択することが出来ない。
2. J 1条件で④を選択した場合は、J 2条件で⑥～⑩を選択することが出来ない。
3. J 3条件で②を選択した場合は、必要に応じて繋船費及び回航費用を共通仮設費に計上する。
4. 施工数量は据付・解体を1回として入力し、1工事で機械1組につき、工事着手時には1回、現場内移動時には移動回数分計上する。
5. 水上施工等で反力架台が設置出来ない場合には、初期矢板(残矢板)の施工を「第II編第5章仮設工②-1パイロハンマ工」により別途計上する。

II-5-②-59

(6) 引抜き

施工歩掛コード	WB251370	施工単位	枚
施工区分	入 力 条 件		
	J 1	J 2	J 3
各 種	施工場所	鋼矢板型式	引抜き長
	①陸上 ②水上	(表5.1)	(表5.8)

(注) 1. J 1条件で②を選択した場合は、必要に応じて繋船費及び回航・えい航費用を共通仮設費に計上する。
2. J 2条件での⑥～⑩は、選択することが出来ない。

現行どおり

(7) 油圧式杭圧入引抜き機据付・解体

施工歩掛コード	WB251380	施工単位	回
施工区分	入 力 条 件		
	J 1	J 2	J 3
各 種	作業区分	鋼矢板型式	施工場所
	①圧入 (Nmax ≤ 25) ②圧入 (Nmax ≤ 50) ③圧入 (50 < Nmax ≤ 180) ④圧入 (180 < Nmax ≤ 600) ⑤引抜き	(表5.1)	①陸上 ②水上

(注) 1. J 1条件で③を選択した場合は、J 2条件で⑨、⑩を選択することが出来ない。
2. J 1条件で④を選択した場合は、J 2条件の⑥～⑩は選択することが出来ない。
3. J 1条件で⑤を選択した場合は、J 2条件で⑥～⑩を選択することが出来ない。
4. J 3条件で②を選択した場合は、必要に応じて繋船費及び回航・えい航費用を共通仮設費に計上する。
5. 施工数量は据付・解体を1回として入力し、1工事で機械1組につき、工事着手時には1回、現場内移動時には移動回数分計上する。
6. 水上施工等で反力架台が設置出来ない場合には、初期矢板(残矢板)の施工を「第II編第5章仮設工②-1パイロハンマ工」により別途計上する。

積算上の注意事項

(控え頁)
16/16

改正理由	一部改正	改 正 現 行	
------	------	------------	--

		現 行				改 正						
<p>⑤ 鋼矢板施工法選定表(参考)</p> <p>⑤-1 鋼矢板打込施工法選定表(参考)</p> <p>鋼矢板打込施工法選定表は、陸上での一般的な施工条件(鋼矢板型式、環境条件、N値及び継施工の有無)を基として経済性を考慮した参考の選定表である。なお、現場施工条件等により本表により難い場合は、比較検討すること。</p>												
鋼矢板型式	環境対策	打込長	継施工無し				継施工有り					
			N値				N値					
			Nmax≦25 ※1	25<Nmax≦50 ※1.2	50<Nmax≦100 ※2	≦400	Nmax≦25 ※1	25<Nmax≦50 ※1.2	50<Nmax≦100 ※2	≦400		
I A型	無し	L≦6m	電動式バイプロハンマ		—		—		—			
II型	無し	L<4m	電動式バイプロハンマ		—		電動式バイプロハンマ		—			
		4m≦L≦6m	油圧式軌圧入引換機		電動式バイプロハンマ ウォータージェット併用		—		油圧式軌圧入引換機			
		6m<L≦9m	—		—		—		—			
		9m<L≦15m	—		—		—		—			
III型	低振動	L<4m	油圧式バイプロハンマ		—		油圧式バイプロハンマ		—			
		4m≦L≦10m	油圧式軌圧入引換機		油圧式バイプロハンマ ウォータージェット併用		—		油圧式軌圧入引換機			
		10m<L≦15m	—		—		—		—			
IV型	無振動	4m≦L≦10m	油圧式軌圧入引換機	油圧式軌圧入引換機 ウォータージェット併用	50<Nmax≦80 油圧式軌圧入引換機 (緩費地盤専用)	油圧式軌圧入引換機	油圧式軌圧入引換機 ウォータージェット併用	—	—	—		
		10m<L≦12m	—	—	—	—	—	—	—	—		
III型	無し	L<4m	電動式バイプロハンマ		—		電動式バイプロハンマ		—			
		4m≦L≦9m	油圧式軌圧入引換機		電動式バイプロハンマ ウォータージェット併用		—		油圧式軌圧入引換機			
		9m<L≦12m	—		—		—		—			
		12m<L≦19m	—		—		—		—			
III型	低振動	L<4m	油圧式バイプロハンマ		—		油圧式バイプロハンマ		—			
		4m≦L≦15m	油圧式軌圧入引換機		油圧式バイプロハンマ ウォータージェット併用		—		油圧式軌圧入引換機			
		15m<L≦19m	—		—		—		—			
IV型	無振動	4m≦L≦15m	油圧式軌圧入引換機	油圧式軌圧入引換機 ウォータージェット併用	50<Nmax≦80 油圧式軌圧入引換機 (緩費地盤専用)	油圧式軌圧入引換機	油圧式軌圧入引換機 ウォータージェット併用	—	—	—		
		15m<L≦18m	—	—	—	—	—	—	—	—		

II-5-⑤-1

		現 行				改 正						
<p>⑤ 鋼矢板施工法選定表(参考)</p> <p>⑤-1 鋼矢板打込施工法選定表(参考)</p> <p>鋼矢板打込施工法選定表は、陸上での一般的な施工条件(鋼矢板型式、環境条件、N値及び継施工の有無)を基として経済性を考慮した参考の選定表である。なお、現場施工条件等により本表により難い場合は、比較検討すること。</p>												
鋼矢板型式	環境対策	打込長	継施工無し				継施工有り					
			N値				N値					
			Nmax≦25 ※1	25<Nmax≦50 ※1.2	50<Nmax≦100 ※2	≦400	Nmax≦25 ※1	25<Nmax≦50 ※1.2	50<Nmax≦100 ※2	≦400		
I A型	無し	L≦6m	電動式バイプロハンマ		—		—		—			
II型	無し	L<4m	電動式バイプロハンマ		—		電動式バイプロハンマ		—			
		4m≦L≦9m	油圧式軌圧入引換機		電動式バイプロハンマ ウォータージェット併用		—		油圧式軌圧入引換機			
		9m<L≦15m	—		—		—		—			
		15m<L≦19m	—		—		—		—			
III型	低振動	L<4m	油圧式バイプロハンマ		—		油圧式バイプロハンマ		—			
		4m≦L≦10m	油圧式軌圧入引換機		油圧式バイプロハンマ ウォータージェット併用		—		油圧式軌圧入引換機			
		10m<L≦15m	—		—		—		—			
IV型	無振動	4m≦L≦10m	油圧式軌圧入引換機	油圧式軌圧入引換機 ウォータージェット併用	50<Nmax≦80 油圧式軌圧入引換機 (緩費地盤専用)	油圧式軌圧入引換機	油圧式軌圧入引換機 ウォータージェット併用	—	—	—		
		10m<L≦12m	—	—	—	—	—	—	—	—		
III型	無し	L<4m	電動式バイプロハンマ		—		電動式バイプロハンマ		—			
		4m≦L≦6m	油圧式軌圧入引換機		電動式バイプロハンマ ウォータージェット併用		—		油圧式軌圧入引換機			
		6m<L≦12m	—		—		—		—			
		12m<L≦19m	—		—		—		—			
III型	低振動	L<4m	油圧式バイプロハンマ		—		油圧式バイプロハンマ		—			
		4m≦L≦15m	油圧式軌圧入引換機		油圧式バイプロハンマ ウォータージェット併用		—		油圧式軌圧入引換機			
		15m<L≦19m	—		—		—		—			
IV型	無振動	4m≦L≦15m	油圧式軌圧入引換機	油圧式軌圧入引換機 ウォータージェット併用	50<Nmax≦80 油圧式軌圧入引換機 (緩費地盤専用)	油圧式軌圧入引換機	油圧式軌圧入引換機 ウォータージェット併用	—	—	—		
		15m<L≦18m	—	—	—	—	—	—	—	—		

記載の修正
(歩掛改定に伴う)

積算上の注意事項

(控え頁)
1/4

改正理由	一部改正	改 正 現 行	
------	------	------------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

鋼矢板型式	埋込対象	打込長	継続工無し				継続工有り				
			N値				N値				
			Nmax≦25 ※1	25<Nmax≦50 ※1.2	50<Nmax≦100 ※2	≦600	Nmax≦25 ※1	25<Nmax≦50 ※1.2	50<Nmax≦100 ※2	≦600	
IV型	無し	L<4m	電動式バイプロハンマ		電動式バイプロハンマ		電動式バイプロハンマ		電動式バイプロハンマ		
		4m≦L≦9m	油圧式杭圧入引抜機		電動式バイプロハンマ ウォータージェット併用		油圧式杭圧入引抜機		電動式バイプロハンマ ウォータージェット併用		
		9m<L≦15m									
		15m<L≦25m									
IV型	低振動	L<4m	油圧式バイプロハンマ		油圧式バイプロハンマ		油圧式バイプロハンマ		油圧式バイプロハンマ		
		4m≦L≦20m	油圧式杭圧入引抜機		油圧式バイプロハンマ ウォータージェット併用		油圧式杭圧入引抜機		油圧式バイプロハンマ ウォータージェット併用		
		20m<L≦25m									
IV型	無振動	4m≦L≦20m	油圧式杭圧入引抜機	油圧式杭圧入引抜機 ウォータージェット併用	50<Nmax≦100 油圧式杭圧入引抜機 (積算地盤専用)	油圧式杭圧入引抜機	油圧式杭圧入引抜機 ウォータージェット併用	—			
VII型	無し	L<4m	電動式バイプロハンマ		電動式バイプロハンマ		電動式バイプロハンマ		電動式バイプロハンマ		
		4m≦L≦15m	油圧式杭圧入引抜機		電動式バイプロハンマ ウォータージェット併用		電動式バイプロハンマ		電動式バイプロハンマ ウォータージェット併用		
		15m<L≦25m									
	VII型	低振動	L<4m	油圧式バイプロハンマ		油圧式バイプロハンマ		油圧式バイプロハンマ		油圧式バイプロハンマ	
			4m≦L≦25m	油圧式杭圧入引抜機		油圧式バイプロハンマ ウォータージェット併用		油圧式杭圧入引抜機		油圧式バイプロハンマ ウォータージェット併用	
	VII型	無振動	L<4m	—	—	50<Nmax≦100 電動式アースオー ガフ併用圧入 引抜機	—	—	—	—	
4m≦L≦20m			油圧式杭圧入引抜機	油圧式杭圧入引抜機 ウォータージェット併用	50<Nmax≦100 油圧式杭圧入引抜機 (積算地盤専用)	油圧式杭圧入引抜機	油圧式杭圧入引抜機 ウォータージェット併用	—			
20m<L≦25m											
VII型	無振動	4m≦L≦25m	油圧式杭圧入引抜機	油圧式杭圧入引抜機 ウォータージェット併用	50<Nmax≦100 油圧式杭圧入引抜機 (積算地盤専用)	油圧式杭圧入引抜機	油圧式杭圧入引抜機 ウォータージェット併用	—			



鋼矢板型式	埋込対象	打込長	継続工無し				継続工有り				
			N値				N値				
			Nmax≦25 ※1	25<Nmax≦50 ※1.2	50<Nmax≦100 ※2	≦600	Nmax≦25 ※1	25<Nmax≦50 ※1.2	50<Nmax≦100 ※2	≦600	
IV型	無し	L<4m	電動式バイプロハンマ		電動式バイプロハンマ		電動式バイプロハンマ		電動式バイプロハンマ		
		4m≦L≦15m	油圧式杭圧入引抜機		電動式バイプロハンマ ウォータージェット併用		油圧式杭圧入引抜機		電動式バイプロハンマ ウォータージェット併用		
		15m<L≦25m									
		15m<L≦25m									
IV型	低振動	L<4m	油圧式バイプロハンマ		油圧式バイプロハンマ		油圧式バイプロハンマ		油圧式バイプロハンマ		
		4m≦L≦20m	油圧式杭圧入引抜機		油圧式バイプロハンマ ウォータージェット併用		油圧式杭圧入引抜機		油圧式バイプロハンマ ウォータージェット併用		
		20m<L≦25m									
IV型	無振動	4m≦L≦20m	油圧式杭圧入引抜機	油圧式杭圧入引抜機 ウォータージェット併用	50<Nmax≦100 油圧式杭圧入引抜機 (積算地盤専用)	油圧式杭圧入引抜機	油圧式杭圧入引抜機 ウォータージェット併用	—			
VII型	無し	L<4m	電動式バイプロハンマ		電動式バイプロハンマ		電動式バイプロハンマ		電動式バイプロハンマ		
		4m≦L≦12m	油圧式杭圧入引抜機		電動式バイプロハンマ ウォータージェット併用		電動式バイプロハンマ		電動式バイプロハンマ ウォータージェット併用		
		12m<L≦25m									
	VII型	低振動	L<4m	油圧式バイプロハンマ		油圧式バイプロハンマ		油圧式バイプロハンマ		油圧式バイプロハンマ	
			4m≦L≦25m	油圧式杭圧入引抜機		油圧式バイプロハンマ ウォータージェット併用		油圧式杭圧入引抜機		油圧式バイプロハンマ ウォータージェット併用	
	VII型	無振動	L<4m	—	—	50<Nmax≦100 電動式アースオー ガフ併用圧入 引抜機	—	—	—	—	
4m≦L≦20m			油圧式杭圧入引抜機	油圧式杭圧入引抜機 ウォータージェット併用	50<Nmax≦100 油圧式杭圧入引抜機 (積算地盤専用)	油圧式杭圧入引抜機	油圧式杭圧入引抜機 ウォータージェット併用	—			
20m<L≦25m											
VII型	無振動	4m≦L≦25m	油圧式杭圧入引抜機	油圧式杭圧入引抜機 ウォータージェット併用	50<Nmax≦100 油圧式杭圧入引抜機 (積算地盤専用)	油圧式杭圧入引抜機	油圧式杭圧入引抜機 ウォータージェット併用	—			

記載の修正
(歩掛改定に伴う)

積算上の注意事項		(控え頁)	2/4
----------	--	-------	-----

改正理由	一部改正	改 正 現 行	
------	------	------------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

鋼矢板型式	埋設対象	打込長	継接工無し				継接工有り			
			N線				N線			
			Nmax≦25 ※1	25<Nmax≦50 ※1.2	50<Nmax≦100 ※2	≦600	Nmax≦25 ※1	25<Nmax≦50 ※1.2	50<Nmax≦100 ※2	≦600
IIw型	無し	L<4m	電動式バイプロハンマ		電動式バイプロハンマ ウォータージェット併用	—	電動式バイプロハンマ		電動式バイプロハンマ ウォータージェット併用	
		4m≦L≦9m	油圧式杭圧入引抜機				油圧式杭圧入引抜機			
		9m<L≦15m	—				—			
	低振動	L<4m	油圧式バイプロハンマ		油圧式バイプロハンマ ウォータージェット併用	—	油圧式バイプロハンマ		油圧式バイプロハンマ ウォータージェット併用	
		4m≦L≦12m	油圧式杭圧入引抜機				油圧式杭圧入引抜機			
		12m<L≦15m	—				—			
無振動	4m≦L≦12m	油圧式杭圧入引抜機	油圧式杭圧入引抜機 ウォータージェット併用	50<Nmax≦600 油圧式杭圧入引抜機 (硬質地層専用)	油圧式杭圧入引抜機	油圧式杭圧入引抜機 ウォータージェット併用	—	—		
	12m<L≦14m	—	—	—	—	—	—	—		

鋼矢板型式	埋設対象	打込長	継接工無し				継接工有り			
			N線				N線			
			Nmax≦25 ※1	25<Nmax≦50 ※1.2	50<Nmax≦100 ※2	≦600	Nmax≦25 ※1	25<Nmax≦50 ※1.2	50<Nmax≦100 ※2	≦600
IIw型	無し	L<4m	電動式バイプロハンマ		電動式バイプロハンマ ウォータージェット併用	—	電動式バイプロハンマ		電動式バイプロハンマ ウォータージェット併用	
		4m≦L≦9m	油圧式杭圧入引抜機				油圧式杭圧入引抜機			
		9m<L≦15m	—				—			
	低振動	L<4m	油圧式バイプロハンマ		油圧式バイプロハンマ ウォータージェット併用	—	油圧式バイプロハンマ		油圧式バイプロハンマ ウォータージェット併用	
		4m≦L≦12m	油圧式杭圧入引抜機				油圧式杭圧入引抜機			
		12m<L≦15m	—				—			
無振動	4m≦L≦12m	油圧式杭圧入引抜機	油圧式杭圧入引抜機 ウォータージェット併用	50<Nmax≦600 油圧式杭圧入引抜機 (硬質地層専用)	油圧式杭圧入引抜機	油圧式杭圧入引抜機 ウォータージェット併用	—	—		
	12m<L≦14m	—	—	—	—	—	—	—		

--	--	--	--

--	--	--	--

記載の修正
(歩掛改定に伴う)

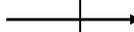
積算上の注意事項			(控え頁) 3/4
----------	--	--	--------------

改正理由	一部改正	改 正 現 行	
------	------	------------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

鋼矢板型式	環境 分類	打込長	建設工無し				建設工有り			
			N値				N値			
			Nmax≦25 ※1	25<Nmax≦50 ※1.2	50<Nmax≦100 ※2	≧600	Nmax≦25 ※1	25<Nmax≦50 ※1.2	50<Nmax≦100 ※2	≧600
25H型	無L	≦4m	電動式バイプロハンマ		電動式バイプロハンマ ウォータージェット併用	—	電動式バイプロハンマ		電動式バイプロハンマ ウォータージェット併用	
		4m<L≦9m	油圧式杭圧入引抜機				—			
		9m<L≦19m	—				—			
		19m<L≦25m	—				—			
低振動	無L	≦4m	油圧式バイプロハンマ		油圧式バイプロハンマ ウォータージェット併用	—	油圧式バイプロハンマ		油圧式バイプロハンマ ウォータージェット併用	
		4m<L≦9m	油圧式杭圧入引抜機				—			
		9m<L≦19m	—				—			
		19m<L≦25m	—				—			
無振動	無L	4m≦L≦25m	油圧式杭圧入引抜機	油圧式杭圧入引抜機 ウォータージェット併用	—	油圧式杭圧入引抜機	油圧式杭圧入引抜機 ウォータージェット併用	—		

※1. 以下の条件において、現場条件（転石等）により、やむを得ずウォータージェット併用施工とする場合は、別途考慮する。
 ただし、低振動条件の油圧式杭圧入引抜機施工区分については、油圧式バイプロハンマ・ウォータージェット併用とする。
 ・N値条件（電動式バイプロハンマ、油圧式バイプロハンマ）：Nmax<50
 ・N値条件（油圧式杭圧入引抜機）：Nmax≦25
 ※2. バイプロハンマ工におけるN値区分については、25<Nmax<50、50≦Nmax≦100と読み替える。



鋼矢板型式	環境 分類	打込長	建設工無し				建設工有り			
			N値				N値			
			Nmax≦25 ※1	25<Nmax≦50 ※1.2	50<Nmax≦100 ※2	≧600	Nmax≦25 ※1	25<Nmax≦50 ※1.2	50<Nmax≦100 ※2	≧600
25H型	無L	≦4m	電動式バイプロハンマ		電動式バイプロハンマ ウォータージェット併用	—	電動式バイプロハンマ		電動式バイプロハンマ ウォータージェット併用	
		4m<L≦9m	油圧式杭圧入引抜機				—			
		9m<L≦19m	—				—			
		19m<L≦25m	—				—			
低振動	無L	≦4m	油圧式バイプロハンマ		油圧式バイプロハンマ ウォータージェット併用	—	油圧式バイプロハンマ		油圧式バイプロハンマ ウォータージェット併用	
		4m<L≦6m	油圧式杭圧入引抜機				—			
		6m<L≦10m	油圧式杭圧入引抜機				—			
		10m<L≦19m	—				—			
無振動	無L	4m≦L≦25m	油圧式杭圧入引抜機	油圧式杭圧入引抜機 ウォータージェット併用	油圧式杭圧入引抜機 (硬質地層専用)	—	油圧式杭圧入引抜機	油圧式杭圧入引抜機 ウォータージェット併用	—	

※1. 以下の条件において、現場条件（転石等）により、やむを得ずウォータージェット併用施工とする場合は、別途考慮する。
 ただし、低振動条件の油圧式杭圧入引抜機施工区分については、油圧式バイプロハンマ・ウォータージェット併用とする。
 ・N値条件（電動式バイプロハンマ、油圧式バイプロハンマ）：Nmax<50
 ・N値条件（油圧式杭圧入引抜機）：Nmax≦25
 ※2. バイプロハンマ工におけるN値区分については、25<Nmax<50、50≦Nmax≦100と読み替える。

記載の修正
(歩掛改定に伴う)

積算上の注意事項			(控え頁) 4/4
----------	--	--	--------------

改正理由	一部改正	改 正	
		現 行	

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

3. 施 工 歩 掛

足場材の設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。

表3.1 足場材設置・撤去歩掛 (100掛m²当り)

名 称	規 格	単 位	手摺先行型 組足場	単管足場	単管傾斜足場
土木一般世話役		人	1.6	1.9	1.5
と び 工		〃	7.0(8.5)	6.9(8.4)	4.5(6.1)
普 通 作 業 員		〃	1.3	1.8	2.7
ラフテレーン クレーン運転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 25t吊 低騒音型	日	1.4	0.8	0.8
諸 雑 費 率		%	34(31)	29(27)	33(28)

- (注) 1. 安全ネットが必要な場合は、()内の数値を計上する。
 2. 諸雑費は、足場工仮設材(賃料)等の費用であり、労務費及び機械賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
 なお、諸雑費には、供用中の足場材賃料を含み、現場内での段取り替えに伴うすべての費用を含むものとする。
 ・手摺先行型枠組足場における仮設材内訳は、壁つなぎ、敷板、建枠、筋違、板付布枠、連結ピン、アームロック、ジャッキベース、手摺柱、手摺、手摺枠(二段手摺の機能を有する)、幅木、階段、養生ネット(メッシュシート)等である。また、安全ネットを設置した場合の安全ネットである。
 ・単管足場における仮設材内訳は、丸パイプ、直交クランプ、自在クランプ、直線ジョイント、固定ベース、足場板、敷板、壁つなぎ、階段、養生ネット(メッシュシート)等である。また、安全ネットを設置した場合の安全ネットである。
 ・単管傾斜足場における仮設材内訳は、丸パイプ、直交クランプ、自在クランプ、直線ジョイント、足場板、固定ベース、養生ネット(メッシュシート)等である。また、安全ネットを設置した場合の安全ネットである。
 3. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。

4. 単 価 表

(1) 手摺先行型枠組足場・単管足場・単管傾斜足場100掛m²当り単価表

施工歩掛コード	WB252110
---------	----------

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人		表3.1
と び 工		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
ラフテレーンクレーン 運 転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 25 t 吊 低騒音型	日		表3.1 機械賃料
諸 雑 費		式	1	表3.1
計				

II-5-⑦-2

現行どおり

- (注) 1. 足場材の歩掛には、部材の一時的な取外し・復旧のための作業等を含むものとする。
 2. 安全ネットが必要な場合は、()内の数値を計上する。
 3. 諸雑費は、足場工仮設材(賃料)等の費用であり、労務費及び機械賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
 なお、諸雑費には、供用中の以下に示す足場材賃料を含むものとする。~~み、現場内での段取り替えに伴うすべての費用を含むものとする。~~
 ・手摺先行型枠組足場における仮設材内訳は、壁つなぎ、敷板、建枠、筋違、板付布枠、連結ピン、アームロック、ジャッキベース、手摺柱、手摺、手摺枠(二段手摺の機能を有する)、幅木、階段、養生ネット(メッシュシート)等である。また、安全ネットを設置した場合の安全ネットである。
 ・単管足場における仮設材内訳は、丸パイプ、直交クランプ、自在クランプ、直線ジョイント、固定ベース、足場板、敷板、壁つなぎ、階段、養生ネット(メッシュシート)等である。また、安全ネットを設置した場合の安全ネットである。
 ・単管傾斜足場における仮設材内訳は、丸パイプ、直交クランプ、自在クランプ、直線ジョイント、足場板、固定ベース、養生ネット(メッシュシート)等である。また、安全ネットを設置した場合の安全ネットである。
 4. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。

現行どおり

記載の変更

積算上の注意事項

(控え頁)

1/1

改正理由	一部改正	改 正 — 現 行	
------	------	-----------------	--

現 行	改 正	備 考																																																													
<p>⑧ 締切排水工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、仮設工のうち河川、道路、砂防工事などの水中締切、地中締切の排水工事で、全揚程が15m以下の場合に適用するものとし、ダム本体工事などの大規模工事の排水工事には適用しない。</p> <p>2. 施工概要 2-1 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <p>機材投入 → ポンプ設置 → ポンプ運転 → ポンプ撤去 → 機材搬出</p> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分である。</p> <p>図2-1 施工フロー</p> </div> <p>2-2 排水方法の選定 排水方法は、作業時排水又は常時排水とする。 (1) 作業時排水とは、作業前(1～3時間)から排水し始めて、作業終了後には排水を中止する方法をいう。 なお、作業時排水には、コンクリート打設前後の型枠組立・養生などのための一時的に昼夜排水するものも含む。 (2) 常時排水とは、昼夜連続的に排水する方法をいう。</p> <p>3. 施工歩掛 3-1 機種選定の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種選定の選定(ポンプ運転)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">機 械 名</th> <th rowspan="3">規 格</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="4">数 量</th> <th rowspan="3">摘 要</th> </tr> <tr> <th colspan="4">排 水 量 (m³/h)</th> </tr> <tr> <th>0以上 40未満</th> <th>40以上 120未満</th> <th>120以上 450未満</th> <th>450以上 1,300未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">工 事 用 水 中 モータポンプ</td> <td>普通型(潜水ポンプ) 口径150mm、全揚程15m以下</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通型(潜水ポンプ) 口径200mm、全揚程15m以下</td> <td>台</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">発 動 発 電 機</td> <td rowspan="4">ディーゼル エンジン 駆動 排出ガス対策型 (第2次基準値)</td> <td>定格容量 2 5kVA</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>定格容量 3 5kVA</td> <td>台</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>定格容量 6 0kVA</td> <td>台</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>定格容量 1 0kVA</td> <td>台</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 工事中水モータポンプの動力源は、発動発電機を標準とする。 2. 全揚程が15m以下の場合、工事中水モータポンプの規格は全揚程10mを標準とする。 3. 工事中水モータポンプ及び発動発電機は、資料とする。 4. 現場状況等により上表により難い場合は、別途考慮する。 5. 現場条件により、工事中水モータポンプの動力源が商用電源の場合は、別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">II-5-⑧-1</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量				摘 要	排 水 量 (m ³ /h)				0以上 40未満	40以上 120未満	120以上 450未満	450以上 1,300未満	工 事 用 水 中 モータポンプ	普通型(潜水ポンプ) 口径150mm、全揚程15m以下	台	1	—	1	—		普通型(潜水ポンプ) 口径200mm、全揚程15m以下	台	—	1	2	5		発 動 発 電 機	ディーゼル エンジン 駆動 排出ガス対策型 (第2次基準値)	定格容量 2 5kVA	台	1	—	—	—		定格容量 3 5kVA	台	—	1	—	—		定格容量 6 0kVA	台	—	—	1	—		定格容量 1 0kVA	台	—	—	—	1		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>2-2 排水方法の選定 排水方法は、作業時排水又は常時排水とする。 (1) 作業時排水とは、作業前(1～3時間)から排水し始めて、作業終了後には排水を中止する方法をいう。 なお、作業時排水には、コンクリート打設前後の型枠組立・養生などのための一時的に昼夜排水するものも含む。ポンプ稼働時間は8時間を標準とする。 (2) 常時排水とは、昼夜連続的に排水する方法をいう。ポンプ稼働時間は24時間を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">次頁へ移動</p>	<p>記載の修正 (歩掛改定に伴う)</p>
機 械 名				規 格	単 位	数 量				摘 要																																																					
						排 水 量 (m ³ /h)																																																									
	0以上 40未満	40以上 120未満	120以上 450未満			450以上 1,300未満																																																									
工 事 用 水 中 モータポンプ	普通型(潜水ポンプ) 口径150mm、全揚程15m以下	台	1	—	1	—																																																									
	普通型(潜水ポンプ) 口径200mm、全揚程15m以下	台	—	1	2	5																																																									
発 動 発 電 機	ディーゼル エンジン 駆動 排出ガス対策型 (第2次基準値)	定格容量 2 5kVA	台	1	—	—	—																																																								
		定格容量 3 5kVA	台	—	1	—	—																																																								
		定格容量 6 0kVA	台	—	—	1	—																																																								
		定格容量 1 0kVA	台	—	—	—	1																																																								

積算上の注意事項		(控え頁)	1/6
----------	--	-------	-----